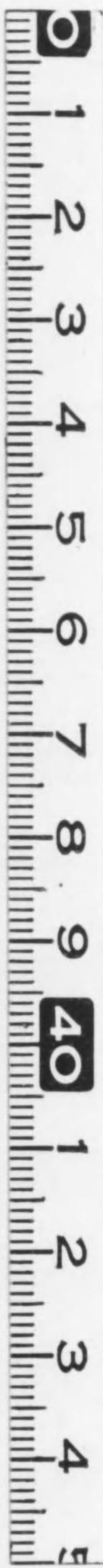


特23-559



1200800151622



始



特23 特23
559 550



那然氏小學教育論

緒言

此ノ書原本ハ西曆一千八百五十三年米國チャールレス、ノルゼントノ著
ス所ニ系ル一チャールス、エンドセ、パーレント「教師及父母」又「コンモ
ンスクリル、エヂュケーション」(小學教育)ト稱スル世ノ教師及父母タ
ル者ニ在リテ實察ノ心得トナルヘキコトヲ記セシ書ナリ今西曆一千
八百六十七年第八次山板ノ原本ニ就キ譯シテ以テ教育ヲ事トスル者
ノ覽閱ニ供ス

明治十年一月

原序

予ノ此書ヲ著ハス所以ノモノハ、汎ク學校ノ教師タル者ヲシテ其職務ノ眞面目ヲ解セシメ、其誠意ヲ獎勵シ又傍ラ實際ノ要訣ヲ掲ケ、此重任ヲ負フ者ノタメニ少シク裨益ヲ爲サント欲スルノ微意ナリ、是ヲ以テ諸家ノ論スル所偶予ガ意見ト符合スル者アレバ、何人ノ説ナルヲ擇ハズ、直チニ其數句若クハ數章ヲ引用スルモノ多シ、然レドモ必其出處ヲ明カニシ以テ予ガ創意ニ出ルモノト區別セリ、但シ引書ノ多キハ此書ノ用ヲ減セザルベシ

予公學校ノ教員トナリテ其職ニ在ルコト幾ノト二十年ナリ自ラ思フニ稍ク教師タル職務ノ情態ト、此職ニ勝フベキ人品トヲ辨別スルコトヲ得、而シテ又此職務ノ艱難ト其苦樂トヲ嘗メタリト、此ニ於テ此業ヲ起シテ教師ノ職分及ビ教授ノ方法ヲ論述セントス、然レドモ業ハ大ニシ

テ而シテ力微ナリ此書果シテ余ガ期望ニ副フヤ否ヤハ、看官請フ之ヲ決セヨ。

余嘗テ之ヲ聞ク、事果シテ實ナラバ、縱ヒ平易凡庸ノ辭ヲ以テ之ヲ述ブレモ、必人心ヲ感動スルニ足ルト、是ニ於テ文章ノ拙キヲ忘レ此書ヲ編シテ、人ノ教師父母タルモノ、高覽ニ供ス、若シ教育論ノ一トナルコトヲ得テ學校教育ノ大事業ニ一分ノ裨益ヲ爲スコトアラバ幸甚ナリ、
一千八百五十三年五月一日

那然氏小學教育論目次

第一篇

葉數

第一節

小學校ヲ論ス

一

第二節

教師ヲ論ス

七

第三節

博識ニシテ教師ノ才アル事

二二

耐忍及ヒ堅志

第四節

質直ナルベキ事

二八

恭敬

第五節

工夫ヲ用ヰテ趣意ヲ明ニスベキ事
自己ノ流派ヲ存スベキ事

三五

第六節

慈仁寛裕ナルベキ事
快活ナルベキ事

四二

第七節

事理ト性情トヲ知ルベキ事
世事ヲ通知スベキ事
善行ヲ志シ遠大ノ功ヲ期スベキ事

四八

第八節

五六

四

第九節

道誼ノ事ニ就テ定説アルベキ事
慣習風標ヲ正クシ生徒ノ模範トナルベキ事
専心勉強スベキ事

六一

清潔整齊ノ風アルベキ事

懲怒ノ力ヲ養フベキ事

第十節

七五

剛精氣力及ヒ熱心ヲ要スル事

第十一節

八一

事ニ臨ミ思慮決斷ナカルベカラザル事
教授ノ結構ヲ定メ堅ク期限ヲ守ルベキ事
獨立ノ見識ナカルベカラザル事

五

第十二節

職業ノ爲メニ勉勵盡力スベキ事
事業ニ意ヲ用非ル深切ナルベキ事

八八

第十三節

教師自ラ其業ヲ修スルノ方法ヲ論ス

九四

第十四節

教授ヲ論ス

一〇九

第十五節

控御ヲ論ス

一三〇

第十六節

生徒及雙親ヲシテ意ヲ用非シムルノ方法ヲ論ス

一五一

第十七節

一六六

教

第十八節

道德ニ關スル教訓ヲ論ス

一九〇

第十九節

競争ト褒賞トヲ論ス

二〇一

第二十節

下等小學ヲ論ス

二一四

第二十一節

教課ト暗誦トヲ論ス

二三八

第二十二節

試業ト旌表トヲ論ス

二四三

第二十三節

學科ノ多端ヲ論ス

二四九

讀方ヲ論ス 二六一

綴字ヲ論ス 二七一

習字ヲ論ス 二八〇

地學ヲ論ス 二九四

第二十七節 文法ヲ論ス 三〇二

第二十八節 作文及ヒ書牘ヲ論ス 三〇七

第二十九節

算術ヲ論ス 三一九

第三十節 牒合法及演說ヲ論ス 三二四

第三十一節 唱歌ヲ論ス 三三〇

第三十二節 雜論 三三七

第二篇 雙親ヲ論ス 全

第一節 緒言 三四五

第二節 蠶舍ノ事 三五

第三節

三五

兒童ノ入學ヲシテ早キニ過キシム可カラサル事

第四節

三六〇

適當有實ノ教師ヲ選ムハ父母ノ任ナル事

第五節

三六七

學校監督ノ良法ヲ設クルハ父母ノ任ナル事

第六節

三七七

雙親タル者教師ヲ獎勵セザル可カラザル事

第七節

三八三

雙親タル者ノ諸職務ノ事

第八節

四二〇

雙親ハ廉直仁慈ナルヲ要スル事

第九節

四三一

事ヲ行フニ純良高尚ナル趣旨ヲ以テスベキ事

目次畢

小學教育論

小泉信吉

四屋純三郎

譯

第一篇

第一節

小學校ヲ論ス

小學校ノ設立及び其學費ノ供給ハ吾ガ共和國ニ於テイカニモ大切要
 ノ事ナレバ何人ヲ問ハズ之ガ爲メニハ錢財ヲ惜マザル筈ナリ。大切要
 トハ何ツヤ、國家ノ盛衰蓋シ此ニ係レバナリ。凡ソ國家眞ノ盛大ニ至ル
 ノ基礎ハ人民同等ノ通義ト同等ノ幸福トヲ享受シテ永ク之ヲ保存ス
 ルニ在リ。其之ヲ享受保存セシムル所以ノ原由一ナラズト雖モ、小學校
 ノ力ニ由ルモノ居多ナリ。夫レ小學ハ恰モ國民ノ精神ヲ養育スル所ノ

乳房ト謂フベク、又共和政治ノ善徳義氣ノ燦爛トシテ最モ映輝スルモノト謂フベク、而シテ又頑愚姦邪ヨリ生ズル禍害ノ最モ堅牢ナル堤防ト謂フベシ、此物ナケレハ共和ノ政治モ久シカラズシテ滅絶スベク、此物アレバ暴君汚吏モ其地位ヲ保存スルコト能ハズ、又頑見僻説モ自カラ解散スベシ、是ヲ以テ凡ソ愛國ノ心アラシ者ハ、心力ヲ竭シテ吾ガ一般教育ノ全体ヲ維持シ、又之ガ善美ヲ盡サンコトヲ務メザル可ラズ、小學校ヲ邦家ノ教育場ト名ツケタルハ善ク其情態ヲ盡セリト謂フベシ、其故ハ邦家全体ノ知愚邪正ハ此小學ノ課業ヲ卒ヘテ世ニ出ツル者ノ人品ニ由テ定ルモノナリ、蓋シ大學及ビ中學ノ高科ナル學術ヲ研究シテ能ク人ヲ誘掖感化スルノ功力極メテ廣大ナル者ナキニアラズ、然レトモ如何ンセン、國民中十ノ八九ハ此等ノ學校ニ入りテ其徳澤ヲ受クルコト能ハズ貧賤ノ人ニシテ容易ニ教育ヲ受クヘキモノハ獨此小

學校アルノモ是ヲ以テ教育其方ヲ得レハ、猶邦家ノ疾病ヲ治シ其健全ヲ保護スヘキ眞樂泉アリテ治ク國中ニ流注スルガ如ク、其貴重ナルコト固ヨリ共ニ比スベキモノナシ、凡ソ小學校ハ必シモ一科ノ學術又ハ一人ノ事務ニノミ關カルモノヲ教フルニアラズ、唯其生徒ニ汎ク初步ノ教課ヲ授ケ、他日成長シテ何ノ事業ニ従フトモ、必其事ニ勝ヘ其身ヲ辱カシムルコト無ラシムルヲ要ス、畢竟小學ハ少年輩ヲシテ其知能ヲ煉磨シ其風致ヲ高尚ニシ其習慣ヲ矯正シ且ツ百科ノ通論ヲ授ケテ以テ一般事物ノ理ヲ知ラシメ、又其言語文章ヲシテ雅馴ニシテ又分明ナラシムルニ在ルノモ、但シ少年輩果シテ能ク此ノ如クナラバ、將來ノ地位遭際ヲ論セズ、其言行共ニ高尚ニシテ卑陋ノ幣ヲ免ルベシ、今設シ國中ノ教師タル者能ク其大任ニ當ルノ才幹ヲ具シ、ソノ父母タ

ル者モ亦皆甘ンシテ教場ノ勤勞ヲ助ケトスルノ厚意アラハ小學ノ國ニ及ボス功益ハ必ズ熱心ニ知識及ビ自由ヲ仰望スル者ノ素願ニ充ツルニ足ルベシ

世ノ賢人善士ト稱スベキダロエト云フモ吾ガ小學校ヲ讀セル詞ニ云子ヲトヒ兒女多キコト往昔ノアリヤムノ傳ニ云大古トロ昔國最後メリノ如クナラシムルモ予ハ悉ク之ヲ小學校ニ送ルベシトサレバ何人クリトモ此小學ニ就テ能ク自ラ脩ムルトキハ必ズ有用顯榮ノ人トナルコトヲ得ベシ予ガ此書ヲ獻セシ所ノシヲシビイボザイ君ノ事ヲ揭ケテ尙之ヲ證明スベシビイボザイ君ハ初メ合衆國ニ生レ後ニ英國ニ住ス特リ勇往不屈ノ勤勞ニ由リテ豪富貴顯ノ地位ニ昇レリ且ツ義ノ爲メニハ錢財ヲ擲テ曾テ顧惜ノ色ナシ故ニ東西ノ大洲ニ於テ衆人ニナ之ヲ證稱セリ實ニ兩國ノ光榮ト謂フベシ近エロ其舊里亞國マサツセツト

邦ノダンベルトニ書テ送テ云余輩自ラ年少ノ時チ願ミルゴトニ未ダ云ヘル都邑ナリニ書テ送テ云余輩自ラ年少ノ時チ願ミルゴトニ未ダ嘗テ吾ガ舊里チ思ハズンバアラズ諸君尙多ク記憶セラレハナラソ余ハ正ト南區ノ一矮屋ニ生レタリ一千八百三年ヨリ同ク七年ニ至ル比ヒマデハ同區ノ學校未ダ今日ノ盛ソナルガ如クナラズ且吾家モ貧窶ナリケレバ専ラ學問ニ従事スベキノ間暇少ナクシテ僅ニ限アル教育ヲ受ケシノミ然レトモ余ガ久シキ營業ノ際ニ天ノ與フル所ノ成功利達ヲ保存セシ所以ノモノハ他ナシ概チ此小學校ノ教ニ由レリ云々近エロ合衆國ニテハ民口夥シク増加シ通商モ亦盛大ヲ極メ内國貨財ノ開發民間ノ盛學實ニ枚擧スルニ暇アラズ今日歐亞兩洲ノ交際日ニ親密ナルコトヲ得シモ其基ハ畢竟此ニ係レリサレハ尙シ此交情ヲシテ實此兩洲ノミナラズ廣シ世界萬國ノ間ニ永存スルヲ得セシメ且ツ古今ニ卓越セル新英蘭士ノ小學ノ法ヲ據メテニスビイ湖畔ニ群居ス

ル所ノ移住ノ人民中ニ及ボシナバ、余輩將來ノ幸福ハ必限界ナカレベ
 右ノ高論ニ左ノ嘉言ヲ加ヘテ之ヲ送り、復タ之ニ申スルニ厚キ賜ヲ以
 テセリ、其詞ハ宜シク金字ヲ以テ國中學校ノ壁ニ揭示スベク、其賜ハ以
 テ其詞ノ誠意ニ出ルヲ表スベシ。
 教育ハ、當代人ノ負フタル債金ニシテ當世ニ後代人ニ償還スベキモノ
 ナリ。
 余常ニ吾ガダンヘルノ先人ヨリ此教育ノ負債アルコトヲ認知シ、久シ
 ク之ヲ償ハシコトヲ思ヒ、今銀二万、ドルヲダンベルノ住民ニ送ル。若シ
 此ヲ以テ其住民開知脩徳ノ費用ヲ助クルコトアラハ、則吾ガ重債ヲ償
 フノ一端トナラン。
 余竊ニ謂ヘラク、倘シ此小冊子幸ニ小學ノ教師ヲ獎勵シテ、愈其職業ヲ

樂ニ其心思ヲ專ラニセシメ、以テ其勤勞ノ功ヲ助ケ、及世ノ父母タル者
 ヲ提醒シテ、其小學ニ應スル所ノ職分ヲ領解シ能ク之ヲ守ルニ至ラシ
 メバ、余モ亦シテ君ノ所謂負債ノ一分ヲ償ヒ聊カ小學ノ勢力ヲ補フ
 モノニ庶幾カラシカ

第二節

教師ヲ論ス

幼童教育ノ職務タルヤ、其緊要ナルハ言語ノ盡ス所ニ非ス、而シテ此職
 任ニ當レル者モ亦其責ノ重大ナルヲ知ラザル可ラズ、凡テ事業ヲ興サ
 シト欲スレバ、先ツ其品性ヲ辨シ、其輕重ヲ察セザルベカラズ、何トナレ
 バ其品性輕重ヲ辨別セザルトキハ、自己ノ力ヨリ之ニ應スルニ足ルヤ
 否ヤヲ知リガタク、又到底其功ヲ奏スベキヤ否ヤヲ量ルベカラザレバ
 ナリ、今一箇ノ器物ヲ作ルニモ、其制作ノ法ヲ知ル者ニアラザレバ手ヲ

下スコトナカルベシ蓋シ起手ヨリ卒業ニ至ルマデ少シクモ錯誤スル
コトアルトキハ、數月ノ力作全ク無用ニ屬スレバナリ、又家屋ヲ造
ントスルニモ、建築ノ理木工ノ術ヲ解スル者ニアラザレバ漫コ之ニ關
カル者ナカレベシ蓋シ徒ラニ材ヲ費シテ其功ヲ完フスベカラザレバ
ナリ高價ノ貨物及ビ旅客ヲ乗セタル艦舶ハ、航海術ニ明カナ者ニ非
ザレバ其船長ノ任ヲ引受ザルベシ蓋シ海路少シク差ルトキハ數千万
ノ貨財ヲ失ヒ、甚シキハ買フベカラザル所ノ人命ヲ損スルニ至レバナ
リ、若カキ驚馬ハ、馬性ヲ詳カニシテ控馭ノ法ヲ知ル者ニアラザレバ之ヲ
馴御セント欲スル者ナカルベシ蓋シ適宜ノ馴御ヲ得レバ名馬ト爲
ベキモ、其法ヲ錯ルトキハ全ク無用ノ廢物ト爲ルベケレバナリ、
右等ハ固ヨリ一箇ノ細事件ナレドモ、其功ヲ成サント欲スレバ尙斯ノ
如ク思慮分別ヲ費サ、トヘカラズ、况ノヤ少カキ不死ノ精神ヲ養育訓

練セントスル者ヲヤ、高才卓識ノ者ニアラザレバ其功ヲ完フスルコト
能ハザルナリ、且ツ彼ノ玉工ノ極メテ細心ニ意匠ヲ用キルモノハ、玉石
ノ貴重ナルガ爲メナラズヤ、今吾ガ教化ヲ委託セラレタルハ價スベカ
ラザル不死ノ玉石ナリ、之ヲ彫琢スルニ當リテ豈細心用意ヲ極メザル
可ケンヤ、ロード、プロツセル嘗テ内外教育會社ニ向フテ教師ノ職務ヲ
論シテ云、「余輩 年ヲ閱シ一事ヲ經ルゴトニ、愈々少年ヲ教誨シテ其心
志ニ高尙ニシ、深ク敬神脩身ノ道ヲ其心ニ銘シ、學校ヲ出ルノ後何如ナ
ル地位ニ在ルモ、一箇ノ人民トナリテ能ク自立スルコトヲ得セムル
ハ、人間事業ノ最モ貴ク、又最モ難キモノナルヲ知レリト、
夫レ教師ノ業タルヤ、其教導ヲ受クル生徒ニ於テ終身ノ福祉ニ關ス、
ルノミナラズ、來世ノ福祉モ亦大ニ之ニ係レリ、故ニ其教育ヲ受ル者ヨ
リシテ之ヲ視レバ實ニ容易ナラザル者ナリ、幸ニシテ教師其職務ノ品

性ヲ解シ、謹テ之ヲ守ルトキハ、教師生徒相共ニ進ンテ高尙ノ域ニ昇ルベシ。若シ之ニ反シテ偶其當務ヲ識別セザルカ、或ハ之ヲ識別スルモ之ヲ遵守スルノ誠意ナキトキハ、其缺處ノ多少ニ從ヒ必ズ深ク賤劣ノ地位ニ墮没スベシ。竊ニ思フニ、我國中小學ニ入ルベキ年齡ニ當ルモノ數十万ニ下ラズ、此數十万人後日ニ至ツテ、各福祉利達ヲ得テ有用ノ人トナルベキト否ラザルトハ、即今學校ノ教育及ビ其風化ノ淺深ニ準ズルモノナリ、而シテ此數十万人ヲ委託セラレ專ラ其訓練教育ヲ掌ルモノハ、僅ニ二三萬ノ教師アルノミ、其關係スル所ノ大ナル豈ニ漫然トシテ之ヲ輕視スベケンヤ、

右ノ次第ナレバ、教師タル者ノ持場ハ甚ダ切要ノ地位ナルコト明白ニシテ疑ヲ容ルベカラズ、サテ教師タル者此章ヲ讀テ之ヲ省覺シタラシムハ、其職任ノ重大ナルニ畏縮シ、所詮何人モ此責ニ應スルコト能ハズ

ト爲シテ或ハ望洋ノ歎ヲ起スヘキナレトモ、志一タビ至ラバ天必之ヲ助クトノ言ヲ信シ勇往シテ回顧スルコトナカレ、常ニ短所ヲ補ヒ益長所ヲ進メ、竟ニ十全圓滿ノ地位ニ倒ランコトヲ務ムベシ。彼ノ農夫ノ田園ニ注意スルヲ見ズヤ、野草ノ障碍トナルベキモノハ速ニ之ヲ芟夷シ、葡萄及ビ果樹ノ如キモノハ懇ニ之ヲ培養シテ其成實ヲ収メ、徒生空憂シテ以テ其土地ヲ曠フスルコト無カラシム。夫レ草木ハ時アツテ凋落瘁枯スルモノナレドモ、事理ヲ知ル者ハ尙之ニ注意スルコト此ノ如シ。況ンヤ永世不死ノ樹園ヲ耕ス者ヲヤ、熱心ヲ以テ焦思盡力スベキハ言ヲ俟タズ、必彼ノ農夫ノ如ク惡草及ビ其他ノ障碍ヲ除キ去リ、此ノ不死ノ綠樹ヲシテ鬱然繁茂、竟ニ全園ヲ蔽ハシメ、又其枝ノ弱キモノハ之ヲ支ヘ強キモノハ之ヲ抑ヘ、花ヲ開キ實ヲ結ンデ以テ其生ヲ遂クシメザル可ラズ、且ツ此綠樹ヤ適宜ニ培養ヲ加フルトキハ我田園ノ美觀トナ

リテ無量ノ福祉ヲ増スベキ者ナルモ、若シ之ヲ等閑ニ遺却スルカ或ハ
 之ヲ殘害スルトキハ、其生スル所ノ園ト共同シク空氣ヲ共ニスル所ノ
 モノト、之ヲ正明ノ路ニ導カスシテ暗黒ノ中ニ陷レ以テ頑愚邪惡ノ汚
 穢ニ沾染セシメシ者ト皆俱ニ醜辱ヲ蒙ルベシ、サテ此比倫ナキ天與ノ
 養樹園ニ耕スモノ、中ニ就テ教師ハ其第一ナレバ若シ其職務ヲ輕忽
 ニシ或ハ其時間若クハ心思ヲ他事ニ消費シテ其看守ヲ託セラレタル
 モノヲ虧缺シ、或ハ既ニ生シタル瑕疵ヲ漸長セシメテ早ク之カ所ヲ爲
 サズンバ、天人共ニ容サ、ルノ罪ニ陷ラン

且ツ夫レ教師ノ言語進退ハ勿論、一時顔色ノ變動モ亦多少兒童ノ腔裏
 ニ感シテ善惡ノ驗ヲノコスベシ、且ツ一旦コレヲ其心ニ印スルトキハ、
 其記憶ノアラソカキリハイツマテモ肺腑ニ存シテ復タ拭フベカラズ、
 サスレバ生徒將來ノ禍福ハ幾ント教師ノ掌中ニ在リト謂フベシ、但シ

感化ノ利害ハ永遠ニ及ンデ泯滅セズト云ハ、聽者ヲシテ悚然タラシ
 ムベケレドモ何如セシ是乃チ得テ換フベカラザル人性ノ定理ナリ、是
 チ以テ苟モ教師ノ職ニ任スル者ハ之ガ爲メニ寒心シテ奮勵努力其委
 託セラレタル少年ノ才力ヲ養ヒ知識ヲ開キ、且ク善良正明ノ域ニ導ク
 コトヲ務メサルベケンヤ、

或人云ハルコトアリ、世人ハ只各科ノ試験ヲ經シ者ハ皆學校ヲ掌ルニ
 足レリト思ヘリ、是レ認見ノ甚シキモノト謂フベシ、真正ノ教師トナル
 ニハ必一種ノ人物ヲ要ス、此人物ヲ成就スル所ノ分子ハ甚ダ多類ニシ
 テ、藥舗ニ就キテ買ヒ得ベキ者ニアラズ、第一其精神ハ噴泉ノ如クナル
 ヘクシテ澗水ノ如クナルベカラズ、知識自カラ内ヨリ全量ニテ縋縋ノ
 汲取ヲ俟ツベカラズ、且新奇ノ工夫活動ノ才氣ニ富ムベク決シテ習慣
 ニ束縛セラレテ恰モ磨礪ニ駕セル馬ノ日々舊轍ヲ脱スルコト能ハザ

ルカ如クナル可カラズ又精神ノ趣ハ其活潑ナルヲ欲シ耐忍ノ氣ハ其剛毅ナルヲ欲シ愛隣ノ情ハ其懇篤ナルヲ欲ス而シテ又愛隣ノ心ハ頗ル敏捷ナルベク必メシユカ（古昔ノ鬼神ノ名ナリ其面ノ兇惡ナルコトナラシムノ柱石ノ如クナルベカラズ其胸裏ハ何如ニモ活潑ニシテ小兒ノ如ク其頭ハ禿テエリシヤ）エリシヤハ昔ノ前知者ノ名ナリ（西洋頂ヲ以テ智ノ如クナルベク勇敢ニシテ撓マザルコトハ）チツケンノ鳥ノ如ク必死セズト呼鳴セザル可ラズ

且ツ教師タル者ハ學者ナラザルベカラズ亦俗人ナラザルベカラズミチエルノ地理書ト日用ノ人事ト兩ナガラ精熟セザルベカラズ又其學識ハ深クシテ且ツ博キヲ要ス日常一定ノ謀業ハ諳ンシタリトモ其他何ノ知識モナキトキハ其胸中ノ空虚ナルコト枯豆ノ莢中ニ鳴ルカ如クナルベシ故ニ其教場ニ在テ遽ニ話柄ニ竭クルトキハ己ムコトヲ得

ズシテ去年ノ新聞紙若クハ父祖ノ陳談等ヨリ譬論ヲ借ルコト至ラン尙シ斯ノ如キヲ免レント欲セバ焉（ツ博覽強記ニシテ胸中百般ノ事物ヲ疊積セザルコトヲ得ンヤ）

サテ右ノ如ク才智ト知識トヲ備具スルノ外ニ其人品誠實廉潔ニシテ光明ノ氣象アリ之ニ加フルニ敬天ノ心其文學ヲ照シテ之ガ光輝ヲ増スコトアラバ其狀況恰モ白玉ノ瓶子ヲ以テ燈火ヲ蓋フガ如ク其上ニ彫刻セシ花紋ハ粲然トシテ愈明白ナルベシ嗟此ノ如ク教師ノ品性ヲ備具セル者ハ全國ノ徳誼ヲ一新スルコト於テソレ何ノ難キコトカ之レ有ラン

小兒ヲ教フル者ハ蒸氣機械ノ免許役所ノ如ク新奇ナル巧思ヲ聚積セザルベカラズ蓋シ小兒ノ性ハ舊チ厭テ新チ好ムモノナリ故ニ其能倦スルコトナキヲ欲セバ一週ノ間何ノ日トナク一日ノ間何ノ時トナク

常ニ新奇ナル者ヲ以テ其耳目ニ投セザル可ラズ、以上或
 然ルニ教師ヲ以テ庸人ノナスベキ職業ト看做スハ、蓋シ世間ノ通弊ナ
 リ、此弊風行ハル、ヲ以テ未ダ童年ヲ免レズ或ハ年長スレドモ一定ノ
 見識ナキ者ニシテ、妄ニ此職ニ昇リ既ニ自ラ教ヲ受ケズシテ人ニ教ヲ
 授ケント欲シ、自ラ練磨セスシテ人ヲ練磨セント欲ス、是ヲ以テ教師愈
 多クシテ而シテ眞教師愈少ナシ、此ノ如クニシテ生徒中知識才學教師
 ノ用ニ供スベキモノヲ求メント欲スルモ豈ニ得可ケンヤ、
 デンダニ獨逸ノ學校總裁ノ職ニ在リシトキ一ノ有名ナル戰將來リ強
 テ其恩顧ノ廢卒ヲ以テ教官ニ擧用センコトヲ乞ヒケレバ、デンダニ常
 例ノ試業ヲ受ナハト答ヘタリ彼ノ戰將之ヲ聽テ驚テ云、嗚呼此卒ハ固
 ヲリ文學ノ事ヲ知ルニアラズ、サレドモ其天性正直ニシテ恒アリ、願ク
 ハ余ガ爲メニ之ヲ小學ニ薦メヨト、デンダニ又答テ云余モ亦一ノ願望

アリ、君若シ予ガ爲メニ之ヲ許サハ余モ亦君ノ求ニ從ハシ、將軍問フ、君
 ハ何ヲ欲スルヤ、デンダニ云、乞フ余ヲシテ君ガ附屬ノ樂隊長トナラシ
 メヨ、余固ヨリ打鼓吹笛ノ伎ヲ解セズ、サレドモ正直ニシテ恒アルコト
 ハ敢テ尋常ノ人ニ譲ラズト
 サレバ教師タル者ハ、タ、老實方正ナルノミヲ以テ未ダ足レリトスベ
 カラス、其性行必ス純良ニシテ一々法則トスベキ十全ノ模範ナラザル
 ベカラズ、倘シ其言行ヲシテ活動スル書翰ノ如クナラシメハ、兒童輩皆
 能ク之ヲ讀ミ之ヲ解スベクシテ、而シテ容易ニ達德ノ道ニ進ムベシ、且
 ツ教師ハ身ヲ以テ生徒ヲ率キルベキモノナレバ、其坐作進退一點ノ陋
 習ヲ帶アベカラス、凡ソ人ヲ教ヘテ躬自ラ先ツ之ニ背クトキハ、其弊或
 ハ其益ヨリモ大ナルコトアラン、是ヲ以テ教師タル者若シ子弟ノ傲慢
 不遜ノ心ヲ制セント欲セハ、先ツ自ラ此心ヲ制スベシ、忠直潔白ノ行ヲ

獎勵セント欲セバ、自ラ狡猾曖昧ノ行ヲ禁セザルベカラズ、整齊ノ習慣ヲ起シテ、器物必ズ其定處アリ、其定處必ス其器物アリト云フニ至ラシメント欲セバ、自ラ先ツ亂雜ノ風ヲ脱スベシ、衣服身体ノ清潔ヲ務メント欲セバ、己レ先ツ此ニ注意シテ、則ルベキノ摸型ヲ示スベシ、約束ヲ守リ、時期ヲ愆ラザルノ風ヲ興サント欲セバ、言行ノ二者ヲ以テ之ヲ導クベシ、概シテ之ヲ言ヘバ、其動作言語容貌悉ク其平日訓誨スル所ノ者ト相反スルコト無ク、生徒ヲシテ其教ノ深切緊要ナルコトヲ信セシメザルベカラズ、此ノ如ク言フトキハ、小學教師ヲ責ムル或ハ苛刻ニ過グルガ如クナルベキナレドモ、決シテ然ラズ、教師タル者宜ク其職掌ノ品性ト其輕重トヲ考ヘ、量リ心ヲ此ニ竭シテ、間斷アルベカラズ、古語ニ云種子ヲ播ク者ハ、半途ニシテ自ラ棄ツルニ非レハ、必其成實ヲ収ムト、縱令ヒ艱厄ノ前路ヲ塞グコトアルモ、之カ爲ニ或ハ屈撓スルコトナカ

レ、善ク之ヲ考思スレハ、艱厄ハ却テ人智ヲ研クノ砥礪トナルモノナリ、是ヲ以テ心身ノ力ヲ盡シ、生徒ノ利益ヲ計テ、或ハ情ルヲナケレバ、爭テカ豊實ノ報賞ヲ受ザルベケンヤ、此報賞ヤ金ニアラズ、銀ニアラズ、一等超越セル貴重ナルモノニシテ、且ツ之ヲ外人ヨリ受クルニアラズ、我が心内ヨリ湧出スルモノナリ、蓋シ不死ノ生靈ヲシテ、其心目ヲ開キ、其氣象ヲ高クシ、各其位地ニ從テ、善良ノ行ヲ成サシメントスルノ盛舉ニ於テ、少シク裨益セリト思ハ、中心ノ快樂豈ニ之ニ勝サルモノアラシヤ、十全ヲ以テ教師ヲ責ルハ固ヨリ世人ノ未ダ及ハザル所ヲ求メテ、實ニ今世ノ到ルベカラザル所ヲ待ツ者ナリ、其故ニ縱令ヒ今日十全ト見做セシコトモ、其位地ニ達シナハ、眼境モ亦從ツテ開ケ、必ズ之ヲ以テ満足ト爲サシ、其時立ッ所ノ位地ト望ム所ノ位地ト相距ルコトハ、尙前日ニ異ナルコトナカズ、故ニ余輩進歩スルニ、路程ハ、今日ノ人智ト

無上ノ聖智ノ間ニ在ル不測ノ距離ナリ、路程ノ遠キ實ニ其極ヲ量ルベカラズ、サレドモ人間進歩ノ力モ亦其際限ヲ知ルベカラズ、畢竟十全ヲ逐フテ一步ヲ進ムルゴトニ必ズ此距離ヲ減スルナリ日耳曼ノ寓言ニ巧ミニ此情態ヲ寫シタルモノアリ、云、一童子アリテ平野ニ遊ビ居タリシガ、一星ノ東方ニ昇レルヲ見テ默然トシテ、思フ所アルガ如ク、暫クシテ聲ヲ發シテ云、ア、美麗ナルカナ直チニ彼ノ陵上ニ在リ、疾ク馳セテ之ヲ捉メテ我が有トナサント、欽慕ノ心切ナルヲ以テ馳セテ陵上ニ抵レバ星ハ忽然トシテ此處ヲ去リ、更ニ前頭ノ山頂ニ坐スルカ如シ、サレドモ小童少シクモ失望ノ色ナク、陵ヲ下リテ趨進シ、蒿薇ノ園ヲ越エ、荆棘ノ中ヲ跋リ、纒ニ山嶺ニ登レバ、星ハ又早ク此處ヲ去リテ遠ク天ノ中心ニ懸レリ、蓋シ此童子星ヲ捉ヘントシテ其目的ヲ達スルコト能ハズト雖モ、然ルニ其地位ハ、則遂ニ層々進歩シテ而シテ徒勞ヲラザルナリ、

夫レ教師モ亦此ノ如ク、必ズ高ク其旌標ヲ掲ケ常ニ之ニ屬目シテ其地ニ至ラノコトヲ務ムベシ、方向一タビ定マレハ遂ニ其功ヲ奏セザルノ難ナシ、且ツ此ノ如キハ十全教師ヲ造化ノ好ミスル所ナレバ、又更ニ一倍ノ勢力ヲ賜與シ、一等高尙顯榮ノ事業ヲ成サシムヘシ、右ハ教師ノ職分ヲ論シ、傍ラ世人ノ平心冷腸ヲ以テ此職ヲ視ルノ甚シキコトヲ揭示スルナリ、但シ吾カ意ハ、今後學校教師タル者ヲシテ、至當ノ眼ヲ以テ其職ノ大小ヲ量リ重大ノ任ヲ荷ヘリト云フコトヲ省覺セシメンカ爲メナリ、

次篇ハ善良有功ノ教師トナルニ闕クヘカラザル所ノ條目ヲ掲ケテ、聊カ幼童教育ノ大事業ニ關カル者ノ堅忍不拔ノ志ヲ扶ケント欲ス

第三節
博識ニシテ教授ノオアル事

教師ハ博識ニシテ教授ノ才アルベキコトハ甚ダ明白ニシテ、今更ニ辨論スルヲ俟テズト雖モ、近世全ク適當ノ器量ナキ者其甚シキハ或ハ初歩ノ學ニ通セザル者、妄ニ教師ノ職ヲ企望シ往々此職ニ昇ル者ナキニアラズ、是レ余ガ默シテ論セザルヲ得ザル所以ナリ、凡ソ教師タル者ハ生徒ノ信服ヲ得又永ク之ヲ保ダザルベカラズ、蓋シ此信服ヲ得ント欲セバ、何時何事ヲ問ハズ凡ソ之ヲ教ヘテ害ナキモノハ、疑問ノ發スル毎ニ立地ニ之ヲ解明シ以テ明亮確實ノ知識其胸中ニ充滿セルヲ知ラシムベキナリ、故ニ自ラ其事理ヲ解スルノミナラス、又生徒ヲシテ分明ニ之ヲ解得セシメザルベカラズ、之ヲ詳言スレバ、自ラ知識ニ富ムノ外又此ノ知識ヲ以テ人ニ授クルノ才力ナカルベカラズ、教師設シ其疑問ニ答フレコト能ハザルカ、或ハ遲疑シテ之ヲ答フレコト能ハザルガ如クナルトキハ、生徒忽チ狐疑不服ノ心ヲ生シ、其教育ノ勞全ク無用ニ屬セ

ザルモ、大ニ其功益ヲ損スベシ、是ヲ以テ教師ヲラント欲スル者ハ、當ニ課程ノ書冊ヲ講スルニ足ルノミナラス、凡ソ生徒ノ心頭ニ浮フ所ノ疑問ハ逐一之ヲ釋明スルノ知識ヲ蓄積シ生徒ヲシテ源々ノ泉淵ニ汲ムノ想ヲナサシムベシ、且ツ疑問ニ答フルハ敏快ニシテ分明ナルヲ要ス、假令ヒ博識ナリト雖モ之ヲ教フルノ才幹ナキトキハ、宛モ斛桶ヲ以テ蓋フ所ノ燈火ノ如ク光輝外ニ發顯シテ其用ヲナスコトナシ、必ヤ山頂ノ火ノ四邊ヲ照ラスガ如クナルニアラザレハ、其功益ヲ以テ人ニ及ボスコト能ハズ

精細詳明ナルベキ事

凡ソ人幼少ノ時ヨリ一旦其手ヲ着ケル事ハ、何事ニヨラズ細ニ意ヲ用テテ必ズ精密詳明ナルヲ要スルノ風ニ慣習スルトキハ、終身ノ利益甚ダ大ナルベシ、若シ之ニ反シテ、万事ヲ粗畧ニ處置スルノ慣習ニ陥イル

トキハ、生涯其身ニ不都合ヲ招クベシ故ニ兒童ヲ導クニハ綿密分明ナ
 ルノ貴キコトヲ教ヘザル可ラズ此ノ習慣ヲ培養スルモ亦教師ノ職分
 ナリ今日世間ニ粗漏ノ風ヲ免レザル者幾ント希ナリ、トトヘハ往復ノ
 翰牘及ビ其他ノ書類ニ於テ、字句ノ脱誤スルヨリ、其意義通ゼズシテ忠
 害ヲ生スルモノ甚ダ多ク、是ガクメ種々ノ奇談アリ、今其一ニ掲クベシ
 或人印度ニ在留セル一友人ヲ印度會社ノ役人ニ推舉セシメ、竟ニ任職
 スルコトヲ得タリ、此ニ於テ此ノ周旋ヲ受ケシ人書翰ヲ贈テ右ノ厚情
 ヲ謝シ、翰端ニ近日「エレハント」ハ象ナリトテ送ルベシト記シタリ、主人
 ハ之ヲ見テ竊ニ謂ヘラク、「エレハント」ハ象ノ事ナリ、不日必ズ此巨大ノ
 獸ヲ送り來ルベシト、遽ニ人ヲ命シ金ヲ費ヤシテ此巨獸ヲ容ル、ノ檻ヲ
 造作セシメ、日々其到着スルヲ俟ナシコト豈ニ計ランヤ、エレハント」トハ到
 來セズ、エクトイバレント」謝物トトシテ一壺ノ糖菓ヲ送り來シ、主人ハ

且ツ驚キ且ツ恠ミ之ヲ熟視スルコト恰モ近世人ノ具象ヲ見ルガ如ク
 ナリト云フ、是レ實ニ眞象ニモ劣ラザル奇觀ト謂フベシ、
 又今チ距ルコト百餘年前ニ、マサツセツト州ノ一僧議事院ニ書ヲ贈リ
 テ、當時專ラ評議アリケル緊要ノ事件ヲ論シタリ、書記官公會ノ席ニ於
 テ之ヲ讀ミシコ、書中不可思議ノ一句アリ、云ク「此書ハ公ケニ官人ニ告
 クルニアラス、インヂアソデウル」ニ告グルナリ、インヂアソデウルハ印度
 ノ惡鬼ト言フ字ナリ、
 此ニ於テ書記官暫ク猶豫シタリシカ、篤ト考察シテ復ク聲ヲ揚ケ、然リ
 「インヂアソデウル」ニ告グルナリト讀ミケレハ、列坐ノ人々之ヲ聽テ怒
 ニ堪ヘズ、速ニ此ノ僧ヲ招キ其非禮ノ罪ヲ糺スベシト衆議乍一決シ
 タリ、サテモク々々之ヲ査究シケレハ、全ク惡意アルニ非ス、公ケニ告グ
 ルニアラス唯「インヂアソデウル」字ニ當ルニ告グルナリト言フヲ謀
 書セシナリトシタリ

耐忍及堅志

善士ヲオブ大古教父ノ名ナリ、嘗テ大ナル艱難ニ遭ヒケレドモ、ヨリ以
 來今日ニ至ル迄人ミナ耐忍ヲ以テ我宗旨ノ一美德ト爲セリ、此ノ徳タ
 ルヤ、其位地職業ヲ論ゼズ、凡ソ人タル者ハ一日モ之ヲ忘ル可カラズト
 雖モ、教師タル者ハ殊ニ十分ノ耐忍ヲ脩メザルベカラズ、若シ少シクモ
 此徳ヲ缺クトキハ其害甚ク著クシテ、大ニ其勤勞ノ功ヲ破ルニ足ル
 蓋シ生徒ヲ教フルニ當ツテハ、其父母及ビ其本人ノ意思所業ノ己ニ於
 テ快ヨカラザルコトアルモ、毫モ之ニ懸念スルコトナク、脱然トシテ憤
 怒怨恨ノ情ヲ遣レザルベカラズ、タトヘハ數日精力ヲ費シテ教誨セシ
 事モ、或ハ父母ノ一夕茶話ノ爲メニ水泡ニ歸シ、或ハ市街ノ弊風ニ遭テ
 全ク其形迹ヲ失ヒ、同マ教訓ヲ幾回トナク反復セザルコトヲ得ズ宛モ
 海遊ヲ歩行スルトキ波濤ノ乍ナ來テ吾カ足迹ヲ洗ヒ去ルガ如ク、兒童

纒ニ感悟スル所アルモ、家ニ歸リ市街ニ遊フ間ニ其幣風ニ化セラレテ
 之ヲ忘却スルコト往々之レ有リ、然ルニ尙其力ヲ竭シ其教訓ヲ心中ニ
 固着セシメシコトヲ務ムルハ、尋常ノ耐忍堅志ニテハ決シテ爲シ得ベ
 カラズ、

前章ニ於テ、教師ハ常ニ兒童ノ家眷及ビ市街ノ弊風トニ力爭セザル
 ヲ得サルコトヲ論セリ、是レ只汎ク把握スベカラザル大体ノ効驗ノミ
 ナ言フニアラズ、眼前指點スベキコト、雖モ亦此弊ヲ免レズ、今近ク其
 一例ヲ舉ゲシメ、童子若シ教師ノ前ニ於テ著ク文法ニ違ヘル言語ヲ
 用キルトキハ、教師必ズ之ヲ正スベシ、サレドモ之ヲ正スコト五十回ニ
 及フモ、尙或ハ此誤ヲ改メサルカ如キノ一種僻言錯音ニ至リテハ、之ヲ
 除カント欲シテ力及ハス幾ンド失望スルニ至ルコトアリ、其斯ノ如キ
 ハ何故ゾヤ、唯兒童ノ家ニ歸リ市街ニ遊ブノ際其謬ヲ聽クコト正ヲ聽

クニ十倍スレバナリ、
其他万事ミナ右ノ次第ナレバ教師ニ幾回トナク一事ヲ反復セザルヲ
得ズ其耐忍ヲ措ラレテ堪ヘガタキニ至ルベシ然レモ是ニ由テ其望ヲ
絶ツベカラズ九十九回ノ教訓徒爾ニ屬スルモ百回ノ教誨安ソフ其功
ナキヲ保センヤ古語ニ云ク種子ヲ抱キ繁盛シテ家ヲ出ル者ハ必禾稼
ヲ荷ヒ眉ヲ開キテ歸ルト是レ結業ハ必然ニシテ期スベキヲ言フナリ

第四節

質直ナルベキ事

近世ノ人心ハ專ラ奇異ヲ好ムノ風ニ流レタトヒ其言理ニ當レルモ文
飾ヲ加ヘテ語ヲザレバ之ヲ感シ之ヲ喜ブ者甚ダ少シ是ニ於テ事歴ヲ
説キ事情ヲ演ブル等一切ノ談話ニモ相競フテ誇大ノ言ヲ用キル事ニ
ナリ行キタリ故ニ其言ヲ聽クニ初ノハ或ハ驚歎スベキガ如クナルモ

其裝飾ヲ除キ去リテ靜カニ之ヲ考フレバ恰モ毛羽ヲ剝取セル孔雀ノ
如ク終始全ク其趣ヲ異コスルモノアリ、
慣習漸ク性ヲ成シ今日已ニ雅正ノ辭ヲ以テ道理ヲ説クコト能ハズ常
ニ荒唐過實ノ言ヲ濫用シテ世人ヲ誑惑スル者多キニ至レリ是ヲ以テ
辨佞侈言ノ徒ハ人ノ錢囊ヲ空フスレドモ宗旨ノ教師及ヒ正直ナル貧
人ノ爲メコハ人ヲシテ一錢ヲ出サシムルモ甚ダ難ク又妄言虚喝ニ煽
動セラレ數十「ドル」ヲ抛ナテ一朝ノ快ヲ買フ者ハ多シト雖モ學校及ヒ
其他ノ美事ニ就テ之ヲ促サルトキハ數日ノ間苦情ヲ訴ヘザル者絶
テ少シ此弊風ヲ矯メテ質直ノ風ヲ興サント欲セバ教師タル者豈ニ其
手段ヲ盡シテ之ヲ務メザルベケンヤ

恭敬

往昔ハ新英勳士ニ於テモ旅人ヲ待スルコト甚厚ク兒童ハ必ス帽子ヲ

脱キ腰ヲ屈メテ之ヲ禮シ、婦女子ハ其禮貌男兒ノ如クナラズト雖モ均
 シク丁寧ナル挨拶ヲナセシガ、今日ニ至リテハ全ク此風俗ノ行ハル、
 子見フ、忘ラクハ我國暴カニ繁昌ニ趣キ從テ來住ノ他邦人モ日々多キ
 ナ、以テ一々如此禮ヲナスコト能ハザルナラン、人口稠密ナル都府村落
 ニ於テハ、兒童ノ此ノ如キ風俗ヲ失ヘルモ強ヒテ罪スベキニアラズ、若
 シ之ヲ守ラント欲セハ途中帽子ヲ着ルノ暇ナク又腰ヲ伸ラルノ時ナ
 カルヘシ、サレドモ帽子ヲ脱カス腰ヲ屈メザルモ人ヲ禮スルノ法ナキ
 ニアラサレハ畢竟恭敬ノ心昔ヨリ薄ラキシモノナランカ
 今日ノ少年輩ハ總テ禮法ヲ守ルコト甚ダ十分ナラス、長者ヲ敬シ貴人
 ナ尊ヒ天理人法ヲ重ゾズルコト大ニ至ラサル者アリ是レ君子ノ深ク
 憂フル所ナリ、畢竟此弊ハ童子ノ速ニ大人ト成レリト心得ルヨリ出ル
 者ニシテ、其心中ニ子弟モ或ハ父兄ヨリ優レリト思ヒ生徒モ或ハ教師

ヨリ知識アリト思フニ至リ、猶童形ニシテ既ニ成人ノ心情ヲ爲セシガ
 故ニ童子ニアラス成人ニアラス、一箇別種ノ人物トナルニ至レナリ、
 此等ノ弊風ヲ矯正スルコトハ、實ニ父母教師ノ本分ナレハ、必身ヲ以テ
 之ヲ導ヒキ言ヲ以テ之ヲ誨ヘ、少年輩ノ心思所業ヲ一變セザルベカラ
 ス、且ツ人トシテ恭敬ノ行ヒアルトキハ、終身快樂多クシテ其人品モ亦
 高尚ナルモノナリ、之ヲ詳言スレハ、此ノ行アルトキハ、良友ヲ得ベク凌
 辱ニ遠ザカルベク厚遇ヲ受クベク、交情ヲ密ニシ人ニ尊敬セラレベク、
 ア、童子ナル者心中苟モ一ノ恭敬ノ念ヲ存セハ、造次頓沛モ禮儀ニ背
 クコトナク、坐作進退ヨク其度ニ合フベシ、
 禮儀ノ細目ニ至リテハ常ニ之ニ違フ者多キヲ以テ、童子輩或ハ自ラ知
 ラズシテ不敬ニ陷ル者アラシ、今其一例ヲ舉ゲン、或人近頃此國ニ來レ
 ル一僧ノ許ニ物ヲ贈ランガ爲メニ其兒子ヲ遣リシガ、師ニ及テ何心

ナク問テ云ク、汝此度ノ僧ヲ如何ナル人ト思ヘルヤト、童子答テ云ク、彼人容貌秀美ニシテ且温和深切ナレバ兒ハ甚ク之ヲ愛セリ、兒ノ彼家ニ至リントキ直ニ招キ入レテ其書室ニ延キ種々ノ書籍ヲ出シテ之ヲ展覽セシメ、而シテ其際ニ答書ヲ作レリ、彼人ハ實ニ長者ナリ恐ラクハ最第一ナラント、既ニコレヲ又低聲ニシテ云ク「サレトモ惜ムヘキハ盲目ナラント、其父驚テ問フ何ノ謂ソヤ」曰ク兒ノ彼家ヲ去ラントスルトキ、彼人兒ニ問フ前刻ヨリ帽子ヲ着ケタリシヤト、兒ハ固ヨリ彼家ニ在ル間始終帽子ヲ脱セサリシ、彼人果シテ眼光明カナラハ何ソ之ヲ知ラザルコトアラソヤ、西洋ニテハ家ニ入ルトキ帽子ヲ脱クヲ以テ禮トス、直正ノ教育ハ胸中ニ十分ノ好情ヲ培養スルヲ要ス、好情内ニ發育スルトキハ其徳自カラ外ニ顯ハレ、其容儀モ亦温良端正ナルコトヲ得ベキナリ、是レ普ク人ノ知ル所ニシテ、人モ亦其外貌及ヒ應接ヲ以テ其心術

ヲ相セント欲スタトヘバ此ニ人アリ、其舉動甚ク粗暴ニシテ其應接モ亦傲慢ナルトキハ、衆人直チニ之ヲ厭ヒ誠實ノ意ナクシテ與ニ交ハルベカラザル者ト看做シ、其人決シテ賞讃スヘキノ美德アルベシトハ思ハサルヘシ、サテ斯ノ如ク初ニ深ク忌ミ疏マルトキハ或ハ採ルベキノ長處アルモ敢テ之ヲ稱スル者ナク、ダトヒ之ヲ稱スルモ敢テ之ヲ信スル者ナカルヘシ、若シ其威儀進退温良寛裕ニシテ禮節ニ合フトキハ人ニナ仰望ノ心ヲ起シ、明カニ其教育ノ美ナルト人ニ接スルノ深情トナ想像シテ、眞ニ世人ノ模範ナリトナシ、人必其姦曲鄙劣ノ行狀ナキヲ信スベシ、故ニ容儀ノ和順ナル人ハ、其接スル所ノ人ニ尊敬セラレテ、衆人ハ愛慕スル所トナルヘキナリ、サテ右ニ論スルカ如ク、禮儀アル者ハ自然人心ノ慕フ所ニシテ、鄉黨朋友ニ重シセラレ、又大ニ其名聲福祉ヲモ増スヘキナレハ、少年ヲシテ夙

ク其言語進退ニ於テ禮節ヲ守ルノ風ニ習ハシムヘキコトハ言テ俟タ
スレテ明カナリ、且ツ日常朋友間ノ應接問答及ヒ諸般ノ交際ニ於テ眞
ノ恭敬ヲ盡スルハ、幾許ノ煩勞モナキコトナリ、タトヘバ此ニ二人ノ童
子アリ、旅客ノ路ヲ問フニ當リテ、一人ノ童子ハ只スゲナク知ラズトノ
キ答テ其狀我レハ關係セスト答ヘシニ異ナラス又一人ノ童子ハ、兒ハ
之ヲ知ラサレトモ人ニ問フテ教フヘシ、君暫ラク俟タレヨト云ヒツ、
走り去リ、良々アリテ面ニ笑ヲ含ミテ歸リ來リ、其間ク所ヲ以テ之ニ告
クナハ、旅客ハ此小兒ノ容貌所業ニ感悅シ、乍ナ旅情ヲ忘レテ郷里ニ歸
ルノ想ヲナスヘシ、サテ前後二人ノ童子ヲ較フルトキハ孰レカ前者ヲ
惡ンテ而シテ後レヲ好ミセサランヤ、然レトモ途上或ハ店舗ニ於テ如
此接待ニ遭ハサル者ハ殆ント少ナシ、商賈ノ若キ其使用スル所ノ伴頭
及ヒ小厮ノスゲナク不敬ナシ言語ヲ用シカ爲メニ、好客ヲ失フコト

往々之レ有リ、凡テ少童ヲシテ粗暴ノ所業ヲ制シテ容儀温和ナラシム
ルハ唯其恭敬ノ心ヲ養フニ在ルノミ、故ニ教師ハ務メテ生徒及ビ自己
ノ胸中ニ此心ヲ培養スヘシ、殊ニ生徒ニ接スルノ際ハ、更ニ之ヲ慎ミ其
模倣スヘキノ典型ヲ示サ、ルヘカラス、

第五節

工夫ヲ用シテ趣意ヲ明カニスベキ事

學校ノ課業ハ尋常平凡ニシテ、甚ク快活ナラザルコトハ、人ノヨク知ル
所ナリ、故ニ比論注釋ヲ加ヘテ、以テ其氣勢ヲ補ヒ其趣味ヲ添フルハ教
師ノ一大要務ナリ、必シモ書冊ノ字面ノミニ拘泥セズ、自己ノ言辭ヲ用
シテ或ハ之カ例ヲ舉ケ、或ハ之ヲ日用ノ實事ニ較シ、其日ノ課業ヲシテ
樂シク且解シ易カラシムベキナリ、此ニ注意セサルトキハ、生徒能ク其
字句ヲ諳誦スレトモ全ク其趣意ヲ解セサルノ弊ヲ免レサルヘシ、今其

一例ヲ舉ケンコ。或人今年十六歳ニナリケル其姪女ニ向ヒ、林檎ヲ把テ之ヲ地球ニ比シ、其形狀運行ノ事ヲ教ヘシガ此姪女ハ數年ノ間既ニ地理學ヲ學ヒシコ、今之ヲ見テ大ニ怪シ、伯父ノ面ヲ熟視スルコト良久、フシテ貌ヲ改メ問テ云ク、伯父ハ果シテ地球ノ旋轉スルヲ以テ實事ト爲スヤ、但シ妄言ナルヤト、伯父驚テ云ク、確然是レ實事ナリ、汝數年前既ニ之ヲ學ハスヤ、曰ク此事ハ學ビタレドモ、今日マデハ其意味ヲ知ラザリシト答ヘタリ、按スルニ、此少女ハ久シク地學ヲ學ビタレドモ、譬論ヲ以テ地球ノ旋轉スルコトヲ會得セシメザリシガ故、數年勤學ノ間竟ニ暗夜ニ物ヲ探ルカ如キヲ免レザリシナラン。

右ノ次第ナレバ、教師タル者當ニ自ラ事ヲ理會スルノミナラズ、又ヨク人ヲシテ之ヲ會得セシムルノ才力ナカルベカラズ、譬ヘバ地ノ珠球ニシテ旋轉スルヲ教ヘントスルニ當リテ之ヲ解明スルニハ一種ノ簡易

ナリ、方法ヲ工夫スヘシ、心アル教師ハ幾多ノ心思ヲモ費サズ、適宜ノ比論ヲ設ケテ之ヲ教フルカ故ニ、聽ク者ヲシテ渙然復ク餘蘊ナカラシム。

余嘗テ一ノ學校ニ於テ、一人ノ教師新奇ナル方法ヲ以テ行星運行ノ模様ヲ教フルヲ見タリ、其体裁ハ、教師先ツ生徒中ノ肥大ナキ者一人ヲ撰ヒ、大陽ト看做シテ室ノ中央ニ立タシメ、其周圍ノ地板上ニ衆行星ノ軌道ヲ畫キ、又最小ニシテ頭髮ノ赤キ者一人ヲ撰ミ金星トシ、又少シク大ニシテ眼ノ清瑩ナル少女ヲ水星トシ、又少シク大ナキ者ヲ火星トシ、其次ヲ木星トシ、其次ヲ地球トシ、其他諸行星ニ代ハルヘキ者ヲ撰ミテ、各々其軌道ニ立タシメ、布置全ク備ハルヲ俟テ、一同ニ足ヲ起シテ其軌道ヲ回馳セシメタリ、其有様ヲ觀レバ三尺ノ童子モ略々大陽統系ニ於テ、衆星運行ノ形狀ヲ會得スルニ足レリ、是レ實ニ錯綜艱澁ノ學科ヲ遊嬉運動ノ中ニ教フルモノト謂フヘシ、然レトモ余ハ固ヨリ之ヲ以テ釋明シ

最上法ナリト爲スニハアラサレトモ、一ノ方法無キ者ニ比スレハ、其優
 ノルコト遠シ、惣テ未ダ最良ノ方法ヲ得ストテ何ノ方法ヲモ用非サル
 ハ實ニ徒然ト謂フヘシ、其最モ明白ニシテ簡易ナルモノヲ撰ミ、兒童ヲ
 シテ解シ易カラシムルヲ務メサルヘカラス、但シ釋明ノ細密ニシテ巧
 ニ過ルモノハ、却テ其本趣意ヲシテ幽微ナラシムルノ弊アリ、是モ亦謹
 テ避ケサル可ラス、

自己ノ流派ヲ存スヘキ事

教師タル者、其教授ノ方法ニ於テ専ラ、他人ノ經驗ニ依頼シ、一々之ニ倣
 ハント欲セハ、世ノ教育法竟ニ精妙ノ域ニ進ムコトナカルヘシ、殊ニ壯
 年ノ人ハ未ダ事ニ熟練セサルガ故ニ、動モスレハ數年此業ニ心力ヲ勞
 セシ人ヲ索メテ、其足迹ヲ踏マント欲スル者多シ、然レトモ盡ク他人ニ
 拘泥シテ自己ノ流派ヲ喪フニ至ラサレハ、必シモ不可ナリト云フニア

ラス、教師タル者ハ其老練ト不老練トヲ論セス、均シク常ニ學フコトヲ
 好ミ其見聞ヲ開カサレハ、遂ニ自ラ足レリトスルノ知者ニ陷ルヘシ、サ
 レトモ見聞ヲ開クノ際、事々盡ク他人ニ心酔スルノ弊ヲ謹シムヘキナ
 リ、タトヘハ或ル學校ニ於テ一種ノ教授法ノ何如ニモ善ク行ハル、チ
 見テ、其儘其法ヲ採用シテ自己ノ學校ニ施シナハ、必ス成功十全ナルベ
 シト思フヘカラス、二人ノ教師性行全ク相同シク、二ヶ所ノ學校情体少
 シクモ相異ナルコト無キニ非サルヨリハ、決シテ同一ノ功效ヲ顯ハス
 モノニアラス、而シテ世上豈ニ二人ノ教師二ヶ所ノ學校全ク相同シキ
 者アラノヤ、故ニ一定シテ活動セサルノ法ヲ舉ケテ、到ル處一樣ニ行ハ
 レシメノスルハ甚ク難シ、
 何種ノ學校ニモ必ス各、其法制アリ、教師ノ其事ヲ處スルモ亦略ク其法ニ
 依リテ終始一ノ如クナラサレハ、其功ヲ完フスヘカラス、サレドモ此法

ヲ設ケテ之ヲ施行シ、又時宜ニ應シテ之ヲ斟酌スルコトハ、獨リ教師一己ノ工夫ニ出テ必ス他人ヲ襲踏スヘカラス、若シ之ヲ能クセサレハ決シテ卓絶ノ地ニ進ムコト能ハサルナリ、其故ハ人ニ倣フトキハ、其倣フ所ノ人ニ超ユヘカラザレハナリ、然レトモ是レ其見聞スル所ニ就テ一事モヲ採用スベカラズト謂フニアラズ、唯目下ノ事情ニ應シテ、或ハ之ヲ取捨シ或ハ之ヲ改正シ、或ハ之ヲ裁制スルノ斷決巧思ナカクヘカラサルヲ言フノミ、

有識ノ教師ハ、諸方ノ學校ニ至リ或ハ教師集會ノ坐ニ出テ、或ハ學校ニ關スル所ノ議論ヲ聞キ、或ハ教育ノ事ニ關係セル者ニ接スルコトニ見聞ニ由テ其胸中大ニ發明スル所アルベシ、然レトモ其之ヲ見聞ニ得ルモノハ唯我思慮ノ端ヲ發ラクノミト、心得之ヲ折衷シ之ヲ増減スルコアラサレハ、便チ之ヲ採用スヘカラス、若シ其見聞スル所ニ心醉シテ必

悉ク之ヲ摸寫セント欲セハ、終ニ失望ヲ免レカダシ、蓋シ事情ノ同一ナル者ハ、只其事情ノ同一ナルカダメニ實地ニ行ハルベキナレトモ、其同シカラサルモノニ遭ハ、忽チ扞格スルニ至ルヘシ夫ノ醫藥ヲ見スヤ、同一ノ醫藥ニシテ、患者ノ様体ニ某ノ分量ヲ投スルトキハ、効驗甚ダ著シキモ、分量及ヒ患者ノ様体同シカラサルトキハ、音ニ功能ナキノミナラス却テ大害ヲ醸スヘシ、故ニ教師ハ種々ノ知識ヲ聚メテ其勤勞ノ裨益トナスヘキナレトモ、之ヲ實地ニ施スニ當リテ、獨立ノ流派ヲ定メサレハ決シテ進歩ノ功ナカルヘシ、ホワルド曰ク縱令自身ノ工夫ニ出ルコトタリトモ、履ク之ニ摸倣スルコト勿レ、語ヲ換テ之ヲ言ヘハ、教授ノ方法ハ時々少シク變革スヘシ、凡テ變化ハ人事ノ文彩ナリ、殊ニ學校教課ノ如キ朝暮同一様ニシテ變化ナキ者ニ於テハ、教師生徒ノ其活潑ノ氣ヲ減セサルカ爲メニ、多少此文彩ヲ加ヘサルヘカラス、或人云フ馬

終日曠平ノ野ヲ行クトキハ、其疲勞スルコト丘陵溪谷ノ險路ヲ行クヨ
リモ甚シ之ニ乗ル者モ亦山川ノ致趣アルヲ好キ、平野ノ變化ナキヲ厭
フト、教場ニ於ケルモ亦猶此ノ如シ、時々少シク方法ヲ變スルトキハ、大
ニ教師生徒ノ氣勢ヲ増スヘシ、是ヲ以テ必陳述ニ膠漆スルコトナク、又
人ヲ摸倣スルコト勿レ、凡ソ時ト地トヲ論セスシテ最良トスヘキ一定
ノ方法ハアルヘキノ理ナシ、只自身ノ工夫ニ出タルモノ、其人ノ地位ニ
於テ最モ適合セル法ナルヘシ、故ニ他人ノ經驗及ビ忠告ハ、以テ此法ヲ
造リ此法ヲ施スノ一補助ヲナスノミ。

第六節

慈仁寛裕ナルベキ事

夫レ生徒ハ何事ニヨラフ、常ニ其教師ヲ以テ標準トナシ、只管之ニ摸倣
セントスル者ナリ、故ニ雙親ヲ除クノ外其尊重スル所ハ曾テ教師ニ若

ク者ナカレヘシ、又教師ナル者ハ實ニ雙親ノ名代ナレバ、童子ノ愛情ヲ
懷クモ亦眞父母ノ如シ、故ニ深切ニシテ温和ナル教師ノ、其生徒ノ心ヲ
得ルコト眞父母モ尙及ハサレ、至レリ、今假リコト斯ル樂境ニハ至リ難
シトスルモ慈仁寛裕ノ心ノ緊要ニシテ、一言一行之ニ外ナル可カラサ
ルノ由縁アリ、蓋シ好時機ノアル毎ニ、其寛仁ノ心ヲ養フハ、教師クル者
ノ第一ノ職分ナリ、タトヒ言語ヲ以テ之ヲ教訓スルモ、時ニ應シ事ニ隨
ヒ、生徒ニ對シテ自ラ懇切ヲ竭スコト能ハサレハ、事實ニ於テ其効驗ナ
ク、畢竟之ヲ教ヘサルト異ナルコト無ケレハナリ、諺ニ云同類相求ムト、
仁恕ナル教師ノ門ニハ、必温和順ナル者多ク、苛虐ナル教師ノ下ニハ
必暴戾姦曲ノ生徒輻湊スベシ、
且ツ温和ナル言語ハ、之ヲ爲ス者ニ於テサノミ損亡ヲ生スルコト無ク、
之カ爲メニ殊更ニ舌モ唇モ寒キコアラヌ、又心ニ煩惱ヲ覺ユト謂フニ

モ非ス、其費ス所ハ斯ノ如ク少シト雖モ其得ル所ハ甚タ大ナリ、第一己ノ良性ヲ養フノ益アリ、蓋シ温和ナル言語ヲ用ザルトキハ其心モ亦自カラ和ラキ、怒聲ヲ發スルトキハ其心ノ怒儀益熾ンニシテ、愈其本心ヲ賊ナフコト至ラン、第二ニ温言ハ他人ヲ善ニ感化スルノ益アリ、凡テ冷言ハ人ヲ冷ニシ熟言ハ人ヲ熱セシメ、苦言ハ苦シメ、怒言ハ怒ラシム、其他尙漫言、間言、虛言、怨言、誣言、暴言等アリ、此數言者皆聽者ノ心ヲ動カシテ各種ノ効驗ヲ生ス、而シテ温言ノ應効ハ純良粹美、聽者ヲシテ心ヲ慰メ、氣ヲ暢ヘ、何如ナル暴戾不仁ノ人モ自カラ其非ヲ省ルコト至ラシムルヒノナリ、然ルニ他ノ諸言ハ盛ンニ世ニ行レテ、而シテ温言ハ僅々數フ可シ、豈ニ歎スヘキノ甚シキナラスヤ、

温言ハ能ク暴怒ヲ制ストハ古今ノ確言ニシテ和氣温言ノ人ヲ感動スルヤ、其効極メテ大ナリ、今其確證ヲ掲ケテ予カ説ノ妄ナラザルコトヲ

徴セシ、龍動ノ一商人トシテ、新教ノ一派宗徒某トノ間ニ爭論起リシニ、商人ハ只管之ヲ裁判所ニ訴ヘント欲セリ、彼ノ人ハ甚タ訟庭ニ出ツルコトヲ決トセズ、種々力ヲ竭ンテ其誤認ナルコトヲ論シケレトモ、商人肯テ之ヲ聽カザリシカ、今一度説得セント、明日商人ノ家ニ到リ、其僕ニ就テ主人ノ在否ヲ探問セシメ、主人ハ樓上ニ在リテ早ク己ニ此聲ヲ聽キ、對手ナルコトヲ悟リ、大聲ヲ發シテ云ク、彼ノ好賊ニ謂ヘ、主人ハ他適セリト、彼ノ人ノ之ヲ聞キ、主人ヲ仰キ視テ、怡然トシテ云ク、嗟君ハ未タ反省セザルヤ、ト、商人此言ノ遜順ナルカ爲メニ、氣鋒頓ニ挫ケテ、爭論ノ事ヲ再三熟思シケルニ、竟ニ己ノ非コシテ、彼レノ是ナルコトヲ悟リ得タリ、是ニ於テ速ニ之ヲ邀ヘテ室内ニ伴ヒ、先ツ其罪ヲ謝シ、且ツ問テ云ク、頃日來余ノ禮ヲ失ヘルコトソノ幾回ナルヲ知ラス、然ルニ君自若トシテ少シクモ忿怒ノ色ヲ見ハサス、知ラス、何ヲ以テ斯ク耐忍ノ志ヲ堅

フスルヤ、願クハ其説ヲ聞カフ、彼ノ人答テ云ク予モ亦壯年ノ時ハ君ノ如ク性質頗ル過激ナリシカ、忿怒ハ天ノ好ミセサレモノニシテ且ツ其身ヲ危フス可キヲ悟リ、常ニ之ヲ制センコトヲ思ヒ居タルニ不圖發明セルコトアリ、竊ニ謂ヘラク、凡ソ忿レル者ハ必ス高聲ヲ發ス、故ニ音聲ノ調ヲ制セハ、我情ハ自然縱肆ナルコトヲ得ヘカラスト、是ニ於テ音聲ノ調ヲ定メ、誓フテ定度ヲ過キシメサリシニ、之ヲ久フシテ心氣果シテ和平トナリ、今日幸ニ天然火烈ナリシ情ヲシテ退聽セムルコトヲ得タリト、此説甚ク道理ニ合ヘリ、世人若シ此例ニ倣ハ、裨益必多カラシ。

快活ナルヘキ事

前章ニ論セシ所ヲ能ク循守セハ、何人モ自然心ニ快活ノ氣象ヲ生スヘシ、夫レ教師ニ快活ノ氣象アルハ、畜ニ生徒ノ爲メノミナラス、教師ノ爲メニ謀ルモ亦大ニ冀望スヘキ事ナリ、蓋シ快活和順ノ氣象ハ、恰モ日光

ノ万物ヲ照曜シテ其生機ヲ遂ケシムルカ如ク、大ニ兒童ノ神意ヲシテ舒暢活潑ナラシムルモノナリ、故ニ教師タル者兒童ノ晨ニ學校ニ來リ、雙眼玲瓏トシテ愉色面ニ溢ル、ヲ見ルトキハ、教師モ亦宜ク欣然タル容色ヲ以テ之ニ應スヘシ、サテ兒童朝間ニ教師ノ愉色ヲ見ルトキハ、終日其快キヲ覺エ、又憂鬱ナル容ヲ見ルトキハ、穎敏ナル童心忽チ之ニ感シ、神氣閉塞シテ終日樂マサルヘシ、夫レ兒童ノ常ニ其家ニ居ルヲ樂シトスルモ畢竟父母若シクハ兄弟姉妹ノ快活柔和ナル言語動作ト其懇切ニ慰撫鞠養トニ由ルノミ、サレバ教師タル者苟モ其生徒ヲシテ學校ニ來ルヲ樂マシメント欲セハ、其容貌ヲ快活ニシ其言語ヲ温和ニシテ、我カ懇切ナル意中ヲ表ハサ、ル可ラス、然リ而シテ、近世ノ教師ハ何ソ嚴格ニ過ルノ甚キヤ、或人之ヲ論シテ云ク、彼等ノ顔面ヲ見ルニ恰モ農曆書ノ語ノ今ヤ烈風暴雨ヲ預防ス可シト云フモノ、如シト、サテ

校中ノ生徒ヲシテ快樂ナラシメント欲スル者ハ先ツ自ラ快活ノ氣象ヲ養ヒ時々興コ乗シテ大笑ヲ發シ又一座ヲシテ笑ハシムベシ蓋シ和氣ノ兒童ノ精神ニ通スルハ恰モ日光ノ蒿藪ノ苔蘚ニ入り漸々其發生ヲ助ケテ竟ニ活潑艶麗ノ花ヲ開カシムルカ如シ

第七節

事理ト性情トヲ知ル可キ事

夫レ數萬卷ノ書ヲ看破スルモ其知識ヲ實地ニ施スニ當ツテ之ヲ斟酌取捨スルノ才ナク又人ノ性情ヲ察シテ此知識ヲ事ニ施スノ機會ト順序トヲ知ルコト能ハサレバ到底知識ヲ有セザルト異ナルコト無シ是ヲ以テ教師タル者ハ先ツ現在ノ事情ヲ熟察シ當時ノ景況ニ應シテ徐ロニ之ヲ高尙ノ地ニ導クノ處置無カレ可カラズ世間往々一己ノ想像ニ任セ述ニ高遠ノ妙處ニ到ラシメント欲スル者アリサレドモ此ノ如

キハ目今ノ位地ヲ距ルコト甚タ遠ク其勢力必ス中途ニ盡シテ結局ノ効ヲ奏スルコト能ハス故ニ何ホド望ミナク厭フヘキモノナルモ能ク今日ノ情態ニ注目シ進歩ヲ謀ルノ前ニ當リ預メソノ超越除却スベキノ障礙及ヒ困難ノ在ル所ヲ審カコシテ之ニ從事スベシ苟モ然ラスニテ漫ニ高遠ヲ謀リ生徒ヲ率キテ述ニ山頂ニ跳上セント欲シ其脚下ニ聚ル所ノ障礙ノ大小輕重ヲ察セザルハ是レ所詣躡等ナル者ナリ此ニ一物アリ之ヲ他地ニ移サント欲シ數十丈ノ繩ヲ縛シテ俄ニ之ヲ拽掣セハ壯夫力ヲ盡スモ亦之ヲ動かスコトヲ得ス何ソヤ種々ノ障礙其根柢ヲ支フレバナリ若シ之ニ近ツキ其障礙ヲ除去シテ之ヲ移サノ力ヲ勞スルコト少フシテ而シテ功ヲ收ムルコト速カナランサテ生徒ノ父兄ハ教師ト共ニ協力セザルヲ得サ者ナリ故ニ教師タル者先ツ其父兄ノ習慣ト其氣象ト其平生ノ持論トヲ審カニシ其現在ノ狀態ニ隨ヒ

適宜ノ方法ヲ設ケ、漸チ追ヒ序ヲ踏テ竟ニ其心思行狀チ一變セシコトヲ務ムベシ、然レドモ是チナスノ際ニ當ツテ、一片ノ激烈心チ生スヘカラス、勤勞チ憚ルコト勿レ、速成チ欲スルコト勿レ、右ニ論スル所ノ性情ト時機トヲ審カニシ、之ニ應シテ其方ヲ設クハ、獨リ父兄ヲ待遇スルニ緊要ナルノミナラス、其生徒ヲ誘掖スルニモ亦必ス闕ク可カラサル者ナリ、夫レ二人ノ生徒天資全ク同一ナル者ナレ、若シ生徒各箇ノ人品、氣質、習慣、及ヒ其心情ノ偏スル所ヲ察セズシテ、一定不靈ノ教授方ヲ固執セハ、遂ニ大ナキ弊害チ生スベシ、故ニ生徒ノ天資ニ就テ、其強弱長短ヲ察シ、適宜ノ處方チ思惟スルコト、猶醫師ノ病者ニ遇フテ、其病性ト治法ト將來ノ變形トヲ、診斷セントスルニ、先ツ逐一ニ各部ノ證候チ查究スルカ如クニシテ、初テ眞教師ト謂フ可キノミ、

世事チ通知スベキ事

或云ク、今世ノ教師ハ世間ヲ疏絶シテ固陋ノ見ニ安ンシ、而シテ又甚ク怒リ易ク喜ヒ易ク、概シテ之ヲ言ヘハ、人事ニ迂遠ニシテ現ニ周圍ノ世情ニ通セズト、又云ク、若シ某先生チシテ廣ク衆人ニ交リ、一般普通ノ事情ヲ知ラシメハ、必ス不群有用ノ教師ト爲ラント、ア、今日ノ教師チ通觀スルニ、此說ニ切當スル者モ亦多シ、夫レ功名チ此世ニ成サント欲スル者、此世ノ事情ニ迂濶ニシテ、何ソ能ク其志チ達スルチ得ヤ、トハハ、商人ノ情態ニ通曉シ、其間ニ行ハル、所ノ詐偽術數ニ至ルマテ、盡ク之ヲ解得スルノ後、始テ能ク生徒チシテ謹慎實着ノ風チ養ヒ、以テ後日繁劇ノ世務チ執ルニ及ンテ、必ス避ケカクキノ誘惑及ヒ欺罔ニ抵當スルノ預備チナスノ緊要ナルチ知ラシムルチ得ベシ、又其地方ノ風俗チ審カニシテ、其言語動作チ檢制セバ、大ニ生徒チ感化シ、之チシテ、有用チシテ愛スベキノ一人トナルニ、至ルチ得セシムベシ、又政治教法文學等

一就テ世上ノ動靜ヲ知ラサレバ、教授ノ方法或ハ其宜キヲ失ヒ、又其
 父兄ノ信心ヲ失フベシ、或ハ其職ヲ失フベシ、或ハ其職ヲ失フベシ、
 人或ハ曰ハシ、昔子ノ説ク所一應ハ當然ニシテ、余モ亦其緊要ナルヲ知
 ラサルコアラズ、サレドモ今世ノ教師ノ地位ヲ顧ミレハ、何ニ由テ斯ノ
 如クノ知識補益ヲ得ベクンヤ、夫レ起レ大ニ然リ、凡テ教師ハ其光陰モ氣
 力モ、専ラ教場ノ爲メニ、苦慮勞心セテ消費シ、縱ヒ少許ノ餘暇ヲ得ルモ、
 之ヲ用テ世間ノ交接若クハ遊嬉ニ與カレ、コトヲ得カクヤ、蓋シ其職業
 然ルナリ、或ハ晨夜ノ餘暇ヲ偷シテ、爲スベキノ事業ヲ圖ルモ、其教場ニ
 於テ終日其心ヲ勞シ、又不潔ノ空氣ヲ吸収スルカ故ニ、神竭キ体疲レテ
 復ク餘業ニ就クノ氣力ナシ、或ハ其職ヲ失フベシ、或ハ其職ヲ失フベシ、
 又曰ク、且ツ今日教師ノ職ニ在ル者多分ハ、必當時ノ交際文學及ヒ政事
 等ニ關係セル事ニ與カレ、テ得ルカラザラン、其故ハ若シ弱年ナレバ、其

職ニ從ラコト必ス久シカラズ、故ニ其給料甚ク些少ニシテ、僅ニ一身ノ
 衣食ニ充ツルニ足ルシ、況ヤ己ノ勤勞ト家産トニ依頼スル少家族ア
 レトキハ、尙更眞ニ其職業ニ關係セル事件ヲ除ク外、何ヲ以テ其錢財
 若クハ其時間ヲ他事ニ委ヌルノ餘力アルコトヲ得ンヤ、予ハ之ニ繼
 テ曰ク、從來教師ハ何ノ方法ヲ問ハズ、一旦其可ナルヲ知ラハ、其意ニ
 之ヲ實事ニ旅サシ、ルヲ得ルモ、コトナリ、故ニ縱令ヒ時勢ノ或ハ不利ナ
 レトモ、決シテ一旦ノ横逆ヲ以テ中コト止ムベキコアラズ、且ツ所謂時
 勢ナルモノモ亦教師ノ勤勞ニ由リテハ、必ス其挽回スルカヲサレモ
 ノニアラザルチヤ、或ハ其職ヲ失フベシ、或ハ其職ヲ失フベシ、
 善行ヲ志シ遠大ノ功ヲ期スルキ事ニ、或ハ其職ヲ失フベシ、
 凡テ教師ハ其志ヲ眞ニ公益ヲ爲シ、且ツ其職業ヲ辱カレザラシム欲

事者、專ラ一時ノ利害ニ拘ハル可カラス、又目前ノ毀譽ニ役セラレ
 ベカラズ、譬ヘハ春秋試業ノ預備ノ爲メニ心思ヲ勞スルガ如キ、徒ラニ
 衆人ノ見ヲ飾ルニ屑々タル者ハ一時或ハ名譽ヲ得ベシト雖モ、此心若
 シ善業ヲ欲スルノ誠意ニ勝テ其生徒ヲ異ニ一人前ノ人トラシム
 ルノ預備ヲ怠ルコトアラバ、假令名望ヲ立ツルモ、恰モ基礎ナキノ高
 樓ヲ建築スルカ如シ、其頓覆傾廢スルコト立テ而シテ俟ツベシ。
 是ヲ以テ若シ真正不朽ノ令名ヲ得メト欲セハ、倦ムコトナキノ熱心勉
 力ヲ以テ其託セラレタル所ノ生徒ヲ教導訓練シ、後日繁劇ノ世務ヲ執
 ルニ及テ、大ニ邦家ヲ益シ、又其國民ノ模範トラシムルヲ務メザル可カ
 ラス、教師ノ職任ノ重大ニシテ、嚴肅ナル情態ヲ熟考スルニ凡ソ其訓練
 看護ヲ託セラレタル小兒ハ、時々日々ニ甚ク外部ノ色ニ染ヒ易ク、若シ
 一旦之ニ染ヒトキハ復拭ヒ去ルヘカラズ、永ク其色ヲ改メズ、遂ニ

其人ノ幸不幸ヲ來スモノナリ、故ニ成ル可キ丈ケ迅速忠實ニ其職掌ヲ
 盡シテ、後日必小兒ノ利益トナルベキ色ノモノニ染マシムルコトヲ務ム
 可シ、小兒ナリトシテ之ヲ輕忽ニスベカラズ、今日ハ我カ坐側ニ相處レ
 快暢ナル嬉遊ニ吾ヲ忘レ、浮虛ノ娛樂ヲ索メテ餘念ナキ小兒モ、僅ニ數
 年ヲ出スルテ、或ハ邦家ノ廟議ヲ動スニ至ルモ亦計ルベカラズ、故ニ其
 成立セテ事ヲ執ルノ日ニ當リ、能ク世ヲ益シ、又其職ヲ辱セザルヲ欲
 セハ、其父母及ヒ其父母ニ代レル者、力ヲ極メテ預メ、之ヲ訓誨ヲ爲サ
 ハ、ル可カラズ、且ツコトヒ金盤ノ破レ、銀緒ノ絶ユルヲ、若シクハ生命ノ
 蒼漸ク開クノ先ニ在ラシムルモ、若シクハ、已ニ蝴蝶ヲ厭フノ後ニ至ラ
 シムルモ、空ク生涯ヲ消スルノ遺憾ナク、且ツ能ク職分ヲ盡セルノ快
 心アラシムルモノハ、豈望ムベキノ甚キキニアラズヤ、此ニ於テ教師ハ
 其看護ヲ託セラレタル者ノ爲メニ、能ク其誠意ヲ竭セルヲ覺テ、生徒ハ

其光陰ヲ空クセテ、又其好機會ヲ失ハズ、テ修身開知ノ功ヲ収メ、
 思フベシ、果シテ然ラハ其心中ノ快樂ハ、身ハ猶人世ニ在テ已ニ天上
 ノ樂ヲ享スルガ如クナルベシ、

第八節

道誼ノ事ニ就テ定説アルベキ事、
 凡ソ教師タル者ハ、徳誼ノ道ニ於テ確乎トシテ定説ナカレハ、カラス、然レ
 モ徒ニ他宗ヲ排シ、一派ノ宗説ヲ炫耀スルモノトシテ、トコアラヌ、總テ我
 カ小學ニ來ル生徒ハ、其家ノ貧富固ヨリ同シカラヌ、其父兄ノ奉ヌル所
 ノ宗説モ亦一様ナラサレハ、一派ノ宗説ニ偏スルノ教ハ、教場ニ於テ之
 ヲ説クベカラザルニ有識者ノ皆能ク知ル所ナリ、然ラハ之ヲ爲メ、脩
 徳ノ教ハ全ク廢シテ可ナラシト曰ラニ、是レ亦大ニ然ラヌ、凡ソ宗旨ノ
 黨派ニ從テ、其殊異ナル條自ニ甚ク少クシテ、而シテ諸宗ノ同ヲ奉ヌル

所ノ教ハ太ダ多キモノナリ、故ニ其相共ニ信奉スル所ノ教ヲ説キ、又深
 ク之ヲ尊奉セシムルモ何ソ曾テ異門ノ嫌疑ヲ憚ルコトアラナヤ、カト
 ヘバ上天ヲ敬シ、父母ノ意ヲ重シ、長者ヲ敬ヒ、不善不幸者ヲ憐ミ、兄弟
 姉妹ニ媿睦ナシ、朋友故舊ニ親切ナシ、以府ノ有司ニ從順ナシ、及ビ己ノ
 欲スル所ヲ推シテ人ニ及ヒ等ク、夫ノ天則ヨリ明白ニ分ル、邪正ノ大
 區別ノ如キ是レナリ、唯此最尾ノ一ヶ條ヲ確然信奉セシムル、モ尙學校
 道義ノ教ニ於テ闕ク可ラサル者ノ幹根枝葉ヲ含有スト謂フベシ、又學
 校ニ於テ聖書ヲ誦讀シ、或ハ他書ヲ讀テ聖書ヲ引用セルニ遣フコトア
 ラハ、丁寧ニ之ヲ説明スルモ、心アル父兄ハ何ソ之ヲ咎ムルコトアラシ
 ヤ、教師若シ忠實ノ意ヲ以テ、其舉タル所ノ箇條ヲ教ヘクランニハ、其宗
 派ヲ論セス、今日ノ情態ニ於テ、其箕ヲ所ハ畢竟此ニ外ナラス、深ク他人
 ヲ嫉妬シ、又異門ノ宗説ヲ憚カレ、心甚クシテ、竟ニ吾小學校ニ於テ、

盡ク徳誼ノ教ヲ磨スルニ至ルハ、之ヲ永遠ニ期スルモ豈其時アラシヤ、
 慣習風標ヲ正フシ、生徒ノ模範トナルベキ事、
 凡ソ人タル者幼少ノ時ハ、最モ他人ノ風ニ化シ易キモノニシテ、ソノ甚
 タ欲セサルベキ陋習ニ染ムハ、景慕スヘキ雅風ニ遷ルヨリモ又速ナリ、
 故ニ教師タル者、應對舉措ノ際、造次モ人倫ノ大道ヲ離ル、コトナク、確
 然トシテ之ヲ信奉スヘキヲ示スアラハ、ソノ道ヲ慕ヒ善ニ向フノ心ヲ
 培養スル、是ヨリ善キハナシ、ダトヘハ深ク過惡横逆ヲ惡ムノ心アリテ
 著シク容貌行爲ニ顯ハレ、又審ニ他人ノ權利ヲ察シテ只之ヲ侵サシコ
 トヲ恐レ、又常ニ寛仁温和ノ体度ヲ失ハサル等ノ雅風ニ薰陶セラレレ
 ハ、誰レカ善美ノ感化ヲ受ケサル者アラシヤ、凡ソ美惡共ニ風化ノ人ニ
 及ブハ、其能ク之ニ勝ツモノナク、又行ハレサル所ナシ、サレバ智愚邪正
 ヲ問ハズ、其常ニ接スル所ノモノ、爲メニ動かサレザル者ハ、未ク之レ

有ラザルナリ、

近頃、有名ノ一教師諸方ノ學校ヲ周覽セントテ、我カ西部ノ諸邦ヲ歴遊
 シ、偶一學校ニ至リシニ、其教師、頭ニ帽子ヲ着ケ、口ニ煙管ヲ嚙ミ、椅子ニ
 倚リテ生徒ノ暗誦ヲ聽キ居タリ、此人怪シテ之ヲ視レハ、煙ヲ其口ヨリ
 噴出スルノ景況ハ、恰モ四壁ノ内ニ過シルノ快事ナシト爲スモノ、
 如シ、ア、誰レカ之ヲ目シテ、喫煙ト無禮トテ教フルニ、最モ切要ナルノ
 教師ト曰ハサランヤ、夫レ實行此ノ如シ、縱令ニ口ニハ吹煙ノ不利不善
 ナルヲ唱フルモ、誰レカ肯テ其教訓ニ従フモノアラン、其行ノ訓言ヲ排
 スルコト實ニ雷霆ノ如クナルベシ、サレバ、生徒ノ間ニ如何ナル弊風惡
 習ノ行ハル、モ、自ラ先ツ之ヲ改メサルトキハ、何等ノ雄辨ヲ費ヤシテ
 之ヲ戒ムルモ、毫厘ノ効驗ヲ望ムベカラズ、實効ノ期スベキハ、惟言行ノ
 一致スルニ在ルノミ、

習慣ノ人ヲ制スルヤ、其力極メテ強シ、或云ク凡ソ少年ノ間ニ造リ成シタル慣習ハ、ソノ美惡ヲ論セス、生涯其身ニ纏繞シテ概テ脱シカタク者ナリト此言實ニ然リ、然ラハ教師ハ勿論總テ童子ニ關係アルモノハ、豈ニ熱心盡力シテ、夙シ純正愛スベキノ風習ヲ成サシメサルベケゾヤ、

専心勉強スベキ事

勉強ノ教師ニ至要ナルコトハ、其故一ナラス、音ニ勉強ニアラサレバ大功ヲナシ難キノミニアラス生徒ノ爲メニ勉強ノ模範ヲ置カザル可カラサレハナリ、蓋シ教師日ニ其職務ニ勉強シテ間斷ナキトキハ、自然生徒ノ心ヲ鼓舞ノ勉強ノ風ヲ振興スベシ、又此勤勞ニ由テ成就スル所ノ事業ノ利益モ亦大ナルベシ、且ツ有用ノ事業纂劇ナレハ人皆不善ヲ謀ルニ暇ナク、校内自カラ平穩ナルハ必然ナリ、拿破崙常ニ云ク、犬口ニ餌ヲ含ムトキハ人ヲ哮マズト、是ヲ以テ後日佛國皇帝ノ位ニ昇リシトキ

巴利士賤民ノ躁暴ナルヲ制センカ爲メニ大ニ土木ノ功ヲ興シ、常ニ其役ニ服シテ、竟ニ不軌ヲ謀ルノ間暇ヲ得サラシメタリト云フ、學士アルノエドハ此法ヲ用キテ、學校ヲ治メ學童ヲシテ寸刻モ手ヲ空フスルヲ得セシメス、蓋シ其間思想ヲ誘フヲ恐ル、ヤ、常ニ種々新奇ノ趣向ヲ設ケ時々生徒ヲシテ一層新鮮ノ英氣ヲ發セシメタリト案スルニ其方ノ絶妙ナルコト、老練ノ教師ハ皆之ヲ疑ハサルベシ、

第九節

清潔整齊ノ風アルベキ事

凡ソ兒童ノ教師クル者ハ、深ク其容貌動作ニ注意シ清潔整齊ナルヲ務メサルベカラズ、抑學童ハ朝暮大概教師ノ傍ニ在リテ、知ラズ識ラズ此容貌儀行爲ニ化セラル、ノ速カナル、實ニ驚クニ堪ヘタキ者アル、故ニ若シ衣服身体ヲ不潔ニスルノ風アルカ、或ハ其動作上ニ毫モ濫雜粗暴ノ

態ノルトキハ、生徒直チニ之ニ心酔シテ、専ラ此弊ヲ學フモノトナルヘシ、又其衣服身体及ヒ習慣ノ清潔善美ナルト、其動作言語ノ高尚端正ナルヲ見ルトキハ、忽チ其志操言行ノ上ニ於テ、大ナル効驗ヲ顯ハスベシ、且ツ其他百般ノ事ニ至ルマデ教師ヲ倣效スルノ速ナルハ皆然リ、則チ教師トシテ者、其子弟ヲ教フルニ特リ言語ヲ以テセズシテ、而シテ又其實行ヲ以テスルヲ思念セサル可カラズ、ア、幾回ノ訓誨ヲ累テタリトモ實行ヲ以テ之カ模範ヲ示サ、ル者ハ恰モ地上ニ瀉ケル水ノ如ク其能ク中ニ浸徹スルヲ見ス、且ツ凡ソ己ノ未タ能セサルモノヲ以テ、俄ニ生徒ノ此ニ進歩センコトヲ望ムモ、豈得ベケンヤ、

儀表ノ人ヲ默化スルノ利ナルヤ、其鋒殆ント當ルベカラズ、其施及スル所モ亦極メテ廣シ、是故ニヨク其動作ヲ慎ム者ニアラサレハ、以テ教師トナスベカラズ、凡テ教師ノ一失一癖モ、兒童ノ眼ヨリ之ヲ視レバ皆活

達ニモテ慕フベキ者ノ如ク、必之ニ倣ハント欲スルナリ、故ニ教師好シテ、烟ヲ喫セハ生徒モ亦之ヲ喫センコトヲ欲シ、若シ常ニ靴ヲ刮ルヲ怠レハ、生徒モ亦之ヲ刮ルモノ稀ナリ、其默應ノ疾ガナルコト恰モ形影ノ如クシテ、而シテ生徒ハ猶教師ノ寫真鏡ノ如シ、若シ別ニ其父兄ノ雅風ノ倣フベキ者アルコト非サレハ、教師ノ階級ニ止リテ之ニ超越スルコトナシ、今「クリスタアン」レジストル」ト云フ新聞紙中ヨリ、一ノ事迹ヲ舉ゲテ之ヲ證セン、某村ニ行狀方正ナル人アリケルカ、偶學校教師トナリ、始テ學校ヲ交付セラレテ、其生徒ノ行狀ヲ觀ルニ、甚タ亂雜ニシテ、雨天ニハ泥濘ノ靴ヲ被フヲモ顧ミスシテ室ニ入り、來リ、到處ニ其足迹ヲ印シ、甚シキハ痕ヲ各々ノ定席ニ留メ、其行坐ノ四方若干ノ地ヲ汚セリ、教師此景況ヲ見テ竊ニ謂ヘラク、是レ一日幾回室内ヲ灑掃スルモ所詮地板ノ清潔ナル日ハアルヘカラズ、况ヤ今日マデハ一週間僅ニ一度ナリト、

サレハ先ツ此風ヲ改革セント心ニ決シ、鑊箍ノ碎片ヲ得テ、其一端ヲ戸側ノ柱ニ釘シ、又一端ヲ杭頭ニ緊着セテ、一箇ノ靴刮ヲ造リ、乃チ諸生ニ告テ云凡ソ戸内ニ入ル者ハ必此ニ就テ、靴泥ヲ刮リ去ルベシト、是ニ於テ地板ヲ覆フタル泥濘モ、漸ク減薄シテ、往々眞地板ヲ見ルヲ得タリ、教師又謂ヘフク、最早靴拭ヲ設クルモ可ナラント、幸ニ一農家ノ婦人、其家ニ有合フ古キ靴拭ヲ與ヘン者アリ、乃チ又之ヲ用井シ、幾ハクモナクシテ、靴ヲ刮リ靴ヲ拭フハ、校中一般ノ常習トナリ、男童童女モ之ヲナサレハ、其本分ヲ怠リシト爲スニ至レリ、是ニ於テ教師時ノ可ナルヲ察シ、一土曜日ノ午後生徒ノ歸去ルヲ俟テ、自カラ箒ヲ執リ巾ヲ手ニシテ悉ク校中ノ地板ヲ洗滌セリ、既ニシテ月曜日ノ朝ニ至リ生徒ニテ常ノ如ク聚リ來レハ、校中ノ地板ハ白々輝キ生シテ一點ノ塵ナク、其木理鮮明ナルヲ見テ大ニ驚キ斯ル清潔ナル地ヲ汚サソコトヲ恐レ各相戒メ

テ靴ヲ刮リ且ツ拭フコト、平日ニ比スレバ更ニ丁寧ナリシト、凡ソ何事ニモラス、是ニ類スル者甚ダ多シ予モ亦嘗テ目撃セルコトアリ、或人烟艸ニ喫スルコトヲ好シテ、常ニ其頤ヲ動かスカ故ニ唾液頻ニ口中ニ湧出セリ、其人學校ニ在リテハ、顧慮スル所ナク地板上ニモ噴出スベキナレトモ、偶此室ニハ席氈ヲ鋪キタルヲ以テ、汚物ヲ遣ルニ處ナク、室中ニ彷徨シテ冷汗其背ニ浴チカリシ、是ニ由テ之ヲ觀レハ、清潔ハ能ク清潔ヲ生スルモノニシテ何ホト粗暴ナル人モ、清潔ナル室ニ入リテハ、其之ヲ汚サソコトヲ恐ル、ハ、人情ノ自然ナリ、抑右ノ教師ハ此ノ如ク賤陋ナル舊習ヲ改ムルニ漸チ以テシテ次第ニ進ミシカハ、鞭策ヲ用井サレモ、生徒ノ心意自カラ轉シテ之ニ向ヒ、終ニ之ニ背クヲ恥ルニ至レリ、且ツ其自ラ法ヲ守リテ之ヲ誘掖セシカ故ニ縱令ヒ法令或ハ嚴ナルモ、之ヲ以テ酷ナリトスル者ナク、密ナレモ以テ煩ナリトスル者ナカリシナ

リ其頃日々此學校ニ來レル生徒ノ中ニフレデーセリト云ヘル八歳ノ童子アリケルカ其家甚ダ貧シク、纔ニ其子女朝夕ノ食ヲ給スルノミニシテ、嘗テ其他ヲ顧ミルニ暇アラス而シテフレデーハ其子女五人中ノ長ニシテ、家ニ歸レハ常ニ其弟妹ヲ看護スルヲ以テ事ト爲セリ、一日フレデー學校ヨリ歸ルノ途ニシテ、偶鋏筵ノ碎片ヲ拾ヒ、大ニ喜ソテ家ニ到リ、日暮其父ノ未ク歸ラサルニ及ンテ、其戸傍ニ一箇ノ靴刮ヲ作レリ、間モナク其父歸リ來リケルカ其日ハ泥濘甚シカリシ故、生來未曾有ノ事ナレトモ、靴上ノ泥ヲ除キ去ラント、四邊ヲ顧ミルニ傍ニ靴刮ノ有ルヲ見テ、意中ニ怪ミツ、就テ其靴ヲ清メ、之ヲ問フテ其故ヲ知り、大ニフレデーノ穎敏ナルヲ感賞セリ、其後久シカラステ、近傍ニ一頭羊ノ犬ノ爲メニ囓ミ殺サレタルアリ、復タ一人ノ之ヲ顧ミル者ナカリシカフレデーハ、羊主ノ家ニ到リ謂テ曰ク、兒ニ其皮ヲ與ヘナハ兒請フ爺ノ

爲メニ其骸ヲ埋メント、時ニ其羊毛ノ未ダ齊長セサルヲ以テ、主人モ容易ニ之ヲ諾セリ、此ニ於テフレデー直チニ朋友ノ小刀ノ借り其皮ヲ剝キテ、家ニ歸リ其母ニ之ヲ戸内ニ舖カント乞ヒケレハ、母ハ唯兒子ノ意ヲ慰ルメシカ爲メニ、姑ク其意ニ任セケリ、然ルニフレデー勤勞ノ効能ク一家ノ風習ヲシテ漸ク日ニ新ナラシメタリ、是ヨリ前母恒言フ掃除ハ無益ナリト、今ハ則チ絶エテ其言ヲ聞カサルニ至レリ、一夕其父其母ニ謂テ云ク、吾家ノ地板ハ清淨ナルコト、却テ壁ヨリモ愈レリ、明日須ラク些ノ石灰ヲ得テ壁ヲ塗飾スベシ、アレ、フレデーノ靴刮實ニ其初ヲ爲セリト、日ナラズシテ、四壁燦爛トシテ室ヲ照セリ、又火爐ノ四邊ニ器皿ノ狼籍タルハ見ルニ堪ヘストテ、近隣ノ木匠ト相約シ、互ニ其勞ヲ易ヘテ、竟ク一雙ノ皮割ヲ作ラシメタリ、一日又其母地板ヲ洒掃セツ、獨リ自ラ潔ク素白ノ地板ハ必シモ見惡シキニアラサレトモ、之ニ漆セハ

拂拭モ甚ク容易ナルベシ敢テ觀美ヲ爲スニアラス、只一小農ノ家ニ相
 應スルノミナレバ、試ミニ自ラ之ヲ塗ラント、即チフレデーチ馬車匠ノ
 家ニ遣リテ油漆ノ價ヲ問ハシメタリ、匠人ハ常ニフレデーノ順良ナル
 チ知リ、懇ニ其室ノ廣狹ヲ問ヒケレバ、答テ云ク吾カ手ヲ以テ之ヲ度ル
 ニ、縦ニ五尋横ニ四尋ナリト、匠人乃チ尺度ヲ以テフレデーノ手ヲ度リ
 計算セテ云ク凡ソ半圓ナルベシ、且ツ誰レカ之ヲ塗ル者アリヤ云ク吾
 カ家固ヨリ貧ニシテ、阿母油漆ト工銀トノ兩者ヲ償フノ資金ナシ、故ニ
 自ラ之ヲ爲サント欲ス且ツ竊ニ兒ト相謀リ吾カ父ノ歸ヲサレニ及ン
 テ、事ヲ丁セシコトヲ冀フナリト、彼人又問フ汝ハ阿母ヲ愛スルヤ否ヤ
 云ク兒ハ固ヨリ母ヲ愛ス、母モ亦必ス兒ヲ愛スルナルベシ、何トナレハ
 兒先日學校ノ戸側ニ在ルカ如キ靴刮チ、吾カ家ノ戸側ニ作りシニ、母之
 チ賞シテ云ク若シ之ナカリセバ、今日爭テカ地板ヲ漆スルノ念ヲ起サ

シヤ、此功ヲ畢ラハ余ト汝ト暫ラク寢室或ハ戶外ニ於テ、其乾クテ俟ツ
 ベキトト、彼人之ヲ聽テ云ク、嗚呼予全ク汝ノ意ヲ領セリ、汝速ニ歸リテ
 母ニ告ケヨ、予直ニ汝ノ家ニ行キ、工銀ヲ需メズシテ之ヲ塗ラシ、既ニシ
 テ童子ハ大ニ喜ンデ將ニ辭シ去ラントスルヲキ、此人復ク思ヒケルハ、
 予今彼レカ爲ニ地板ヲ塗ルハ易クレドモ、彼レノ母婦人ニシテ、此ノ如
 キ業ヲモナサントスルハ甚ク好ミスベキナリ、且ツ彼レ婦人ノ手ヲ以
 テ、主人ノ他適中ニ之ヲ塗リシナラバ、其夫ノ喫驚モ亦一興ナルベシト、
 乃チ速ニ童子ヲ呼ンテ云ク、汝ノ母ハ幾許ノ金ヲ有スルヤ、童子云ク曩
 キニ吾カ母少許ノ糸ヲ買ヒ、之ヲ以テ稚子等ノ睡眠ノ間ヲ偷ンテ、三雙
 ノ美麗ナル襪子ヲ織リ、之ヲ賣リテ少許ノ金ヲ得クルナリト、彼人云ク
 茲ニ油漆アリ、汝カヨク母ヲ愛スルヲ以テ、今之ヲ汝ニ與ヘント、若干ノ
 油漆ヲ出シケレハ、フレデーハ母ヲ愛スルカ如キ易事ノ褒美ニ、斯ク許

多ノ油漆ヲ得タルヲ以テ大ニ驚キ、暫ク憮然タリシガ、歡喜ニ堪ヘヌ
 テ、雙眸ニ涙ヲ浮ヘツ、大聲シテ云ク、今ニシテ、吾母聖書ヲ買フコトヲ
 得ント、馬車匠ハ、童子ノ此舉動ニ心益動キ、又同フ、汝若シ聖書ヲ得ハ何
 チ爲サント欲ス、ヤ、各々云ク、兒カ先生ハ、毎朝毎暮ニ之ヲ誦讀セリ、兒
 モ亦之ニ効ハント欲ス、故ニ數々母ニ乞ヒケルナリト、云ク、予幸ニ一卷
 ノ聖書アリ、今應ニ汝ニ與フベシ、若シ能ク油漆ヲ傾瀉セサレハ併セテ
 攜ヘ去ルベシト、此時フレヂー容ヲ改メテ云フ、兒今一言アリ、兒固ヨリ
 翁ノ厚意ヲ感戴セリ、然ルニ吾カ母之ヲ何トカ謂ハシ、且ツ兒モ亦之ニ
 報スルノ道ナシ、曰ク、汝我カ爲メニ些事ヲ爲サバ足ラン、曰ク、是レ固ヨ
 リ命ノマヽナリ、特ニ如何セン、兒ノ身体猶孱弱ニシテ用ニ適スルニ足
 ラザルヲ曰ク、否々、予カ願フ所ハ此ノ如キ難事ニアラス、更ニ予カ爲ニ
 曩キコ汝ガ作りシ所ノ靴刮ヲ作ルヘシ、若シ能ク成ラバ此油漆ト書籍

トノ價トナシテ我レ之ヲ受クヘシト、フレヂー此言ヲ聽テ、雙臉紅チ潮
 シテ云ク、兒焉ソツ之ヲ善クセンヤ、曰ク、予固ヨリ華巧ナルヲ好ムコ
 アラズ、汝敢テ辭スルコト勿レ、汝速ニ此二品ヲ攜ヘ去ルベシ、他日若シ餘
 暇アリテ、靴刮ヲ作ラバ、復面晤スベシト、此ニ於テフレヂーハ趨リ出テ
 家ニ歸リケルガ、母ハ家ニ在リテフレヂーノ歸ルヲ俟チ居タリシニ、今
 其一卷ノ書ヲ腕下ニ挟ミ、一壺ノ油漆テ左右ノ手ニ捧ケ來ルヲ見テ、驚
 テ云ク、アヽ、フレヂーヨ、汝ハ何チカ爲セシヤ、阿母ハ唯油漆ノ價ヲ問ヒ
 來レト命シ、ノミ、フレヂー答テ曰ク、兒之ヲ知ラサルニ非ズ、然レトモ
 彼ノ人兒ト約束チ定メ、彼レノ戸側ニ一箇ノ靴刮ヲ作ラハ、此二品ヲ以
 テ汝ニ與ヘント云ヘルカ故ナリト、此後ノ種々ノ談ハ之ヲ畧ス、畢竟小
 學校ノ靴刮ハ、フレヂーカ齊家ノ基礎ト爲リ、其家風次第ニ一變シテ、陋
 室ノ中モ亦齊整清潔ナルノミナラズ、一家ノ幸福愈多クシテ、而シテ其

費用ハ却テ昔日ヨリ減スルニ至レリ。既コトテ不日右ノ靴刮モ其工ト畢ヘテ、之ヲ彼ノ馬車匠ニ贈リ、爾後屢來往シテ迭ニ親切ヲ盡セリトソ、フレザーハ長スハニ及ンテ、才學上達シテ豪富ノ農家トナリ、新ニ其家ヲ築造セシ後モ、尙其靴刮ヲ戸側ニ置キテ、舊ヲ忘レサルヲ示シタリ、又學校教師ナリシ人ハ名ヲハート稱シ、處々ヲ周歴シテ小兒ヲ教導セシガ、資質薄弱ニシテ早ク其健康ヲ傷害シ、某村ノ寺院ニ埋葬セラントリ、故ヲ以テ其播ク所ノ種子ノ結果ヲ見エコトヲ得ス、豈ニ惜ムベキナラズヤ、後數年ヲ歷テ、フレザー先師ノ墓ヲ探索セシカ、竟ニ其所在ヲ知ラス、是ニ於テ學校ノ側ニ一石碑ヲ建テ永ク之ヲ記念セリ、後復ヨ脩繕ヲ加ヘ、今ニ至ルマテ年々一村ノ小兒ヲ其下ニ聚メテ、靴刮ノ事ヲ説クト云フ。

愆怒ノ力ヲ養フベキ事

教師クル者ハ、卓然クル克己ノ力アルニアラサレハ、時ニ或ハ自カラ勵言ヲ禁シ暴舉ヲ慎ムコト能ハサルヲ免カレズ、ダトヘバ此ニ一人ノ生徒アリテ、大ナル惡事ヲナスカ、或ハ甚ダ惡ムヘキ過失アルトキハ、乍ラ之ヲ憤ルノ心ヲ生セサル者ナシ、而シテ一旦ハ能ク心ヲ按ヘテ、至當ノ所置ヲ錯ラズ、之ヲ罰スルニ怒ヲ以テセシテ、情ヲ以テスルモ、再三其怒ヲ激スルニ及ンテハ、竟ニ堪ヘカタクニ至ラン、其故ハ若シ父母ナルモノ之ヲ聞カバ、或ハ滿面ニ怒氣ヲ含ミ來テ其子ノ冤枉ヲ訴ヘ、甚シキハ、教師ヲ搏撃シテ其怨ヲ報セントス、是レ又絶無ノ事ト謂フ可カラズ、大ナル學校ニテハ往々此等ノ事ニ及フアリ、總テ兒童ハ家ニ歸リ其父母ニ訴フルニ、大ニ事實ヲ矯ムルヲ以テ、父母直チニ之ヲ偏信シテ、教師ヲ敵視スルニ至ルナリ、サテ右ノ如ク愆怒ノ色滿面ニ溢レ、教師ノ前ニ來テ、今將ニ爭鬪セントスルガ如キノ狀ヲ示サバ、教師モ大抵ハ必之ニ

誘ハレテ共ニ忿ヲ發スルコト至ラン然レトモ此等ノ時ニ當リテハ、自若トシテ和氣ヲ失ハズ、怒ヲ以テ怒ヲ激スルコトナカレ、古人言ヘルコトアリ、温言ハヨク忿怒ヲ消スト、又云、ヨク其忿ヲ制スルモノハ、其力一城壘ヲ拔クヨリモ勝レリト、故コトニ接スルニ温言ヲ以テシテ、懇々然其情實ヲ辨スレ、八十中ノ九ハ、彼レ必感服シテ恰モ夢ノ醒タルカ如ク、其過ヲ悟リテ家ニ歸ルベシ、是ニ於テ此人、教師ニ在テハ更ニ親厚ナル朋友トナリ、其子女ニ在テハ更ニ思慮アルノ雙親トナルニ至ラン、凡ソ此ノ如キノ際、常ニ克己ト誠實ノ二者ヲ懷キテ物ニ接スレハ、善美ノ功ヲ奏セサル者蓋シ鮮シ、

且ツ、教師自ラ此徳ヲ有スベキノミナラズ、亦生徒ヲシテ之ヲ養ハシメサルベカラズ、泰然物ニ移サレザルノ氣象ナキモノハ、遂ニ眞知眞勇ノ事業ヲ立ツルコト能ハザルナリ、

第十節

勵精氣力及ヒ熱心ヲ要スル事

凡ソ此世ニ生スル者、痴呆ヲ除クノ外ハ、皆誠實活潑ニシテ其職業ヲ勉勵スベキ義務アルヲ知ラサル者ナシ、當サニ斯ノ如クナルベキハ、即チ、人生天理ノ自ラ然ラザルヲ得ザル所ナリ、斯ル罪障深キ人間世界ニ生レ出タル、無知無識ノ我輩ナレバ、何事ヲ論セス、手ノ觸ル、所ニ隨ヒ、一身ノ全力ヲ盡サ、ルベカラズ苟モ善業ヲ認知シ、心身ヲ委テテ之ニ従事セズンバ、焉ソ能ク我カ一生ヲ有益ノ事ニ費シテ、以テ天恩ニ報イルノ志アルコトヲ證スルニ足ラザヤ、然ルニ今世ヲ通觀スルニ、眞ノ勵精ヲ以テ終身ノ大事業ト爲ス者ハ、其レ幾人カアル、世界萬民ノ願フ所ハ、皆只寸刻ノ間眠ヲ貪ルニ在ルノミ、是レ吁我カ心ノ悲ミニ堪ヘズ、何等ノ職業ニテモ、從事シテ十分ノ用ヲ成サント欲スレバ、心此ニ勉勵

凝着スルニ至ラサル可ラス。就中教授ノ事ハ特別ニシテ、若シ此心ヲ闕クトキハ、其害タルヤ他事ノ類ニ非ス。蓋シ教師タル者ハ、四面ニハ少年ノ生靈環列シテ、常ニ其坐作ヲ伺ヒ、一言一動一顧一視モ亦皆直ニ之ヲ心ニ感シテ、容易ニ善良高尚ニ趣クベク、其或ハ不磨ノ傷害ヲ被ムラシムルコト亦容易ニシテ、教師ノ一動スル毎ニ必生徒ノ心鏡ニ一點不磨ノ眞影ヲ生ス。是ヲ以テ教師タル者、果シテ能ク此貴重ナル職務ニ勝フルノ精神アラバ、ソノ大業ヲ成就スルコト、決シテ疑ヲ容レザルナリ。人ノ氣力ハ不測物ナリ、昨日ハ家ナキ童子モ、今日ハ華麗ナル宮室ニ住スルコトヲ得、現ニ路頭ニ彷徨スル小兒モ、來日ハ鬼神ヲシテ感泣セシムルニ至ルモ、皆氣力ノ致ス所ナリ。人タル者誰カ、氣力ノ人ヲ奮起セシムルコト、其盛ナル此ノ如キヲ知ラザルモノアテシヤ、此物ヤ或ハ能ク荒壁ヲ變シテ錦如ノ花園トナシ、或ハ能ク大海ヲ填メ、高山ヲ夷ニシ、或

ハ能ク天下ノ大道ニ鉄條ヲ鋪キ、或ハ能ク銅線ヲ空中ニ架シ、以テ人ノ心思ヲシテ、瞬間ニ万里ノ遠キニ達セシム、嗚呼氣力ノ効驗此ノ如シ、苟モ人コシテ氣力ナクバ何ゾ一塊ノ土壤ニ異ナラシヤ、

學士ハツドツク言ヘルコトアリ曰ク教師タル者ノ生質、持論、目的、慣習、容止、風標、及ヒ其常ニ玩弄スル所ノ物品ニ至ルマテ、ソノ生徒ノ氣風ヲ成立シ、及ヒ其將來ノ禍福ヲ定ムルコト、教師ノ自ラ授クル所ノ教訓ト、少シクモ異ナルコトナシ。蓋シ人タル者ニハ、天然其身ニ備具セル風格ト稱スルモノアリテ、其人一生ノ成敗禍福ハ、大抵之ヲ以テ預メトシ得ヘキモノナリ。此物ヤ其人ノ知見ニ非ス、言語ニ非ス、又徒ニ其行事上ニ屬セズ、右等ノ中ニ默存スル所ノ一種ノ體段模様ニシテ、其人ノ其人タルヲ認知スルニ足ル所以ノモノ即チ是ナリ。此模様果シテ善良信實ニシテ、懇切耐忍ノ質ヲ具シ、燦然映發、人ヲシテ爽快樂怡ノ念ヲ起サシメ、

之ニ加フルニ、理ヲ信シ善ヲ愛スルノ誠ヲ以テスルトキハ、是レ即チ幼
 童ノ心思ヲ培養スル一種ノ學校ニシテ、其德澤譬ヘハ猶清流ノ園地ヲ
 潤シテ、春草ノ花ヲ綻ハシムルカ如シ、斯ノ性質ヲ備具スル者ハ、又必夫
 ノ所謂熱心ナキモノヲ有ス、熱心一クビ發スルトキハ、恰モ天神ノ來リ
 テ其人ニ憑ルカ如ク、氣象秀逸ニシテ、眼ヲ高尙ノ地ニ着ケ何等ノ艱難
 ニ逢フモ聲色ヲ動カサスシテ、遂ニ其功ヲ奏ス、凡ソ何等ノ職業ヲ論セ
 ズ、此熱心ニ乏クシテ能ク大事業ヲ成シ得ル者ハ、未ダ之有ラザルナリ
 キリトキ、名神ノ机大學者ソクレエトス、一夜夢ニ白鶴アリ、機ノ前ヨリ飛ヒ來リテ、己カ膝下ニ集リ、少ラクアリテ、兩翼ヲ張リ飛揚セテ
 大空ニ冲リ、忽チ其影ヲ見ズ翌日ニ至リ、ソクレエトス、弟子ヲ集メテ、方
 ニ此夢ヲ談シ居タリシニ、適アリストナル者其子プラトヲ伴ヒ來レリ、
 ソクレエトス、其少年ノ額ノ廣クシテ且ツ高キト、眼中ノ清澄ナルトチ

熟視シテ、指シテ弟徒ニ呼ンテ曰ク、ア、汝等、我カ社中ノ白鶴ヲ見ヨト、
 此ニ於テソクレエトス乃チ其愛ト嚴トテ以テ、彼少年ヲ教育スルコト
 己カ子ノ如クナリシカバ、プラト果シテソノ鑒賞ニ愧チス、後遂ニ本國
 文學ノ精神トモ稱スベキ人物トナリ、耶穌教ノ行ハル、盛世ニ至ルマ
 テ、永ク其名ヲ轟カセシハ、蓋シ此人ノ右ニ出ル者ナシ、教師タル者少年
 ヲ教育スルニ於テ、其職業ニ熱心スルコト、能ク斯ノ如クナラバ、其價豈
 ニ管連城ノ寶ノミナランヤ、
 又或ハ教師タル者ヲシテ魯鈍矇昧ニシテ、少クモ日新ノ氣力ナカラ
 ノバ、之ニ從フ者モ亦皆其人品ノ如クニシテ成立スベシ、教師若シ熱心
 ヲ以テ、其子弟ヲ誘掖スルトキハ、生徒モ亦自ラ其業ヲ勉勵ス、古人曰ク
 學校ノ風ハ、教師ノ性質ニ從フモノナリト、此言實チ盡セリト謂フヘシ
 蓋シ教師ノ心ト生徒ノ心トハ、常ニ其趣ヲ同シクス、故ニ教師自ラ懇切

活潑ニシテ其職務ヲ勉勵スルトキハ生徒ヲシテ才徳ノ門ニ向ハシムルコト水ノ下キニ就クガ如クナルベシ魯鈍矇昧ノ教師ノ如キハ生徒ヲ幽暗ノ窮谷ニ陷ラシメ之ヲ救援セント欲スルモ復タ得可カラザルナリ

又教師其職ヲ重シシテ厚ク其業ヲ勉勵スレバ生徒并ニ其父母モ亦必之ニ化シテ其業ヲ勉勵スルニ至ルベシ苟モ教師兩親生徒共ニ勵精氣力ト眞ノ熱心トヲ以テ學問ニ從事セバ歲月ヲ費サズシテ十分ナル進歩ヲ見フコト我輩ノ疑ヲ容レザル所ナリ

職務ノ品位輕重ヲ正シク知リタル教師ハ必眞正ノ屬精ト熱心トノ氣象ヲ有スルモノナリ故ニ教師トナリテ其職務ヲ盡サント欲セハ宜ク先ツ其大小輕重ヲ知ルヲ要スベシ或人ノ言ニ曰ク教師ノ職ニ任スル者ハ其職務ノ大切要ナルコトヲ心ニ銘セサル可ラス蓋シ其依託ヲ

受クル者ハ則人心ナリ其教育スル所ノ者ハ則不死ノ生靈ナリ教師ノソノ靈魂ニ印スル所ノ者ハ不消不滅現今ノ天地一變シテ宇宙ノ事物盡ク崩解スルノ時來ルニ非サレバ千萬歳ヲ歷ルト雖モ依然トシテ存在スル者ナリ試ニ鑿磨セル銀鍔ヲ制シ教師毎ニ一枚ヲ附シテ各自ノ意思ヲ其面ニ刻セシメ之ヲ天下ノ人民天上ノ鬼神ニ示サントイハハ教師タル者皆其職務ノ重キヲ思ヒ惴々トシテ其意思ノ誠實賢明ナラフコトヲ望ムハ必然ナリ今教師ノ傍ニハ現ニ數枚ノ鍔アリ而シテ其品位又金銀ノ類ニ非ス金銀ハ貴重ト雖モ時アリテ朽敗ス少年生徒ノ不死ノ鍔ニ至テハ依然トシテ消滅スルコト無シ蓋シ平素教師ノ此鍔ニ刻スル所ノ意思心術ハタゞ現世衆人ノ爲メニ其批評ヲ受ルノミニ非ス他日又鬼神ヲ哀マシメ或ハ其欣賞ヲ得ル所以ノモノナリ

第十一節

事の臨ミ思慮決斷ナカレベカラザル事

教師事ヲ處スルニ臨ミ、其敏急ヲ要スルヲ以テ、之ヲ人ニ謀ル能ハザル
 コト往々之レ無キニシモ非ス、斯ノ如キノ際ニ當リ、十全ノ處置ヲ得ン
 ト期スルハ、實ニ難シト雖モ徒ニ思慮ナキ策ヲ施シテ以テ大敗ヲ取ル
 事至ラザルハ、亦企及ス可キ無キニ非ザルナリ、若シ其生徒中兇暴冥頑
 ニシテ、特ニ教師ノ注目ヲ要スル者アル時ノ如キハ、自ラ粗暴ナル言語
 ナ發シ或ハ思慮ナキ舉動ヲ爲シテ、反テ教育ノ本旨ニ悖ル可カラズ何
 事ヲ問ハス、其情實ヲ詳ニシ、可成の正理ニ近キ者ヲ擇ンテ之ヲ行ヒ、可
 成の適當ノ時ヲ計リテ言ヲ發スベシ、又教課ノ事モ同様ニシテ、生徒ノ
 才智ヲ察シテ、適宜ニ其課業ヲ定ムルニハ、巧妙ナル決斷ナカレ可カラ
 ズ、明斷深慮アル教師ハ、其開議ハ、格別俊逸ナラサルモ、種々ノ功ヲ奏ス
 ルニ足レリ、若シ明斷深慮ナキトキハ、假令其才能ハ卓越ナルモ、其業ヲ

遂クルコト能ハサルモノアリ、凡テ教師ノ身トナリテハ、敏ナル蛇ノ如
 ク、又無害ナル鶴ノ如キヲ要スル地位事情ニ際會スルコト往々之アル
 モノト心得ヘシ

教授ノ結構ヲ定メ、堅ク期限ヲ守ルベキ事

教師タル者、苟モ其勞ヲシテ効驗アラシメント欲セバ、先ツ其教場ニ於
 テ授クル所ノ、全体ノ課目ヲ總括シテ、之ガ結構ヲ定メ、規則ニ依テ之ヲ
 授クルヲ要ス、凡ソソノ結構ヲ定ムルノ知ト、之ヲ實地ニ施スノ巧トハ
 何等ノ事業ニ於テモ闕ク可ラザルノ大基本ニシテ、教授ノ事ニ於テハ
 殊ニ然リトス、教師タル者ノ、先ツ第一ニ爲スベキ事ハ、生徒ヲシテ何等
 ノ學科ヲ學ハシメバ、益ヲ得ルコト最モ多キヤ、各科ニ幾何ノ時間ヲ費
 サバ適當ナルヤ、而シテ一日ノ中ニ就テ、何時ヨリ何時マテノ時刻ニ、何
 等ノ教課ヲ授ケテ可ナルヤヲ量リ定ムルナリ、斯ノ如ク課業ヲ定メタ

後ニハ、又豫メ右ノ教課ヲ暗誦セシムルノ時間ヲ確定シテ、徒生ヲシ
 テ其準備ヲ爲スニ便ナラシムベシ、是レ校務ノ齊整進歩ニ必要ナル條
 件ニシテ、亦生徒ノ慣習ヲシテ、大ニ正カラシムルノ効驗アリ、
 開校、閉校、肄業、暗誦及ヒ休息等ノ事ニ至ルマテ、定限ヲ確守シテ、其期ヲ
 愆ラサルヲ要スベシ、此等ノ瑣事ニ於テ教師ニ寸過アルトキハ、生徒ニ
 ハ必尺害ヲ遺スモノナリ、生徒ヲシテ夙ニ敏捷方正ノ慣習ヲ成立セシ
 ムルハ、徒ニ在校中ノ益ニ非ス、又其終身ノ大幸ナリ、人トシテ敏捷方正
 ノ慣習ナクソバ、焉ソ能ク顯貴ノ地位ニ達シテ、益世ノ事業ヲ成スコ
 トヲ得ンヤ、苟モ此慣習ヲ成シ得テ之ヲ失ハザル者ハ、其進歩成功ノ極
 度、實ニ測リ知ル可カラズ、是故ニ少年者ノ教導ニ任スル者ハ、彼等ヲシ
 テ、每事精密ニ注意シテ敢テ或ハ怠ルコト無カラシメ、斷然ト彼ノ苟且因
 循ニテ光陰ヲ徒費スルノ風ヲ學バシムベカラズ、

或時、十人ノ者、商賣ノ要件ヲ談判スルカ爲メニ、時ヲ刻シテ集會セント
 ノ約ヲナセリ、其九人ハ堅ク約束ヲ守リテ、一分ノ遅延ナカリシガ、一人
 ハ約束ノ刻限十五分ヲ過キテ來リ、其遅延テ謝シケルニ一人ノ「グエツケ
 ル」進ミ出テ曰ク、君自ラ自身ノ時間ヲ費スハ、君カ隨意ナレトモ、他人ノ
 時間ヲ費スハ、君ノ權理外ナルベシ、君カ自己ノ十五分時ヲ失ヒシハ、自
 ラ好シテ天理ニ悖リシコトナレバ、余輩ノ敢テ關スル所ニ非スト、雖モ
 余輩九人ノ者ヲシテ、各十五分ノ光陰ヲ失ハシメタルハ、豈ニ不正ト謂
 ハサル可ケンヤト、ア、人トシテ守期ノ慣習ニ乏シケレハ、其害大抵斯
 ノ如シ、

獨立ノ見識ナカルベカラザル事

獨立ノ見識トハ、他人ノ意想ヲ顧ミザルノ性急粗暴者、或ハ自己ノ所見
 日ニ新ニシテ若落スル所ナク、昨日ノ起業、今日已ニ廢スルノ類ト意ヘ

ルハ大ナル誤ナリ、サリテ又彼ノ強顔無忌ノ氣風ナイフニモ非ス、性急無忌ノ人ハ、良性卓見或ハ少ナカラサルモ、自己ノ思慮ナキ所業、或ハ粗暴ナル言語等、其障碍ヲナシテ、反テ緊要ナル目的ヲ達シ得サルコト多ク、己カ偏見ニハ注意セス、苟モ他人ノ説己カ見ト異ナル所アレバ、ソノ之ヲ誹謗スルコト、恰モ一事ニシテ、兩説ノ生スルハ、理ニ於テコレ無シト云モノ、如キ斯ノ如キ人ハ、瑣小ノ費隙ヲ張大ニシ、往々親友ヲシテ讎敵トナラシムルコトアリ、以ハ事ニ就キ説ヲ立ツルニ當リ、其説ノ理ニ合フヲ欲スルコト切ナラザルニ非ザレトモ、其具ニ理ニ合フヤ否ヤヲ思慮スルノ至ラザルヲ以テ、己カ心ニ發スル所見ハ、容易ニ天理ニ合ヘリト傲シ、而シテ其所見甚シク理ニ悖リ、道ニ背キタルコトモ、亦常ニ多ク、

又此ニ一種ノ人物アリ、此種ノ人ハ、普通必要ノ方便ニ依頼セスシテ、事ヲ成シ得ルニ誇リ、之ヲ理外ノ力ノ爲ス所ナリトシテ、自ラ尊大ニシ、實ニ人ノ能ク及フ所ニ非ラスト爲スモノアリ、一無學ノ說法者、博識ノ僧ニ謂テ曰ク、君ハ必嘗テ大學校ニ在リ、又神學校ニモ入リシナラン、知識曰然、予幸ニ此等ノ學校ノ免許ヲ得タリ、無學者曰噫、忝ヒ哉、予ハ一丁字ヲ知ラスト、雖モ、幸ニ上帝ノ殊恩ニ依リテ我カ口唇自ラ開閉ス、曾大ニ笑テ曰、往古バラアムノ時ニハ、斯ニ奇事アリト聞ケリ、當今ノ世ニ至リテハ、實ニ珍事ナリト、今予カ此ニ論スル所ノモノハ、決シテ斯ル獨立ニ非ス人モ亦必其然フサルヲ察スベシ、

余カ此ニ表セシ題目ノ趣意ハ、深思熟慮ノ後、其奪フベカラザルノ通義特權ナリト認得スル者ヲ、斷然確守シテ、而シテ又懇切ノ意ヲ存スルヲ謂フノミ、抑我輩ノ起居勞苦スル所ノ此世界ハ、豈ニ眞ニ無常ノ域ナラスヤ、又想像ヲ以テ事ヲ爲ス世代ト號スルモ、當ラスト爲サス故ニ教育

ノ事務ニ於テモ、人々一トシテ着目ノ異ナラザル條件アルコトナシ、何
 人ヲ論セズ、自ラ教授ノ何事タルヲ知ラズトイフモノナシ、而シテ其考思
 スル所ノ事各相異ナリ、故ニ世人ヲ通觀スルニ皆教師ノ職務ヲ詳カニ
 知ス教師ヲシテ、任外ノ任ヲ負ハシメント要ス、而シテ敢テ之カ爲メニ
 力ヲ出シテ相助クルヲ欲セサル者多シ、斯ル地位ニ遭遇セハ、教師タル
 者堅志ト獨立ノ見識トヲ有シ、又眞ノ才智ト懇切ノ意ヲ存シ、諄々説諭、
 彼ヲシテ、早ク悔悟セシムルヲ要ス、然レドモ亦決シテ其持論ヲ抑制ス
 可カラザルナリ

第十二節

職業ノ爲メニ勉勵盡力スベキ事

世人常ニ言フ、學校教師ハ其力ヲ職務ニ盡スニ當リ、太ク偏僻ノ見ヲ懷
 ケリト、是レ必シモ其謂ナキニ非ス、教師ハ世人ノ己ヲ看倣スル如何ヲ

願ミスレテ、専ラ校内ノ事ニミ、勵情盡力シ、校外ノ事ハ其職務内ニ在
 ル所ト雖モ、舉ケテ皆之ヲ他業ノ人ニ讓ルノ風ヲナセリ、故テ以テ近來
 マデハ、教育ノ事ニ由リテ一舉動アル毎ニ、其主幹トナル者ハ必教授ヲ
 親ラスル者ニ非ス、特ニ局外ノ善員ニシテ熱心アル人、教師ガ當サニ爲
 スベキ職務上ニ、盡力奮發セザル所アリテ見テ、己ムヲ得ズシテ、爲メニ
 着手セシモノナリキ、

然リト雖モ、何等ノ職業ヲ論セズ、眞ニ勵精シテ之ガ利益ヲ謀リ、ソノ十
 分ノ功ヲ期スルハ、自ラ其職務ヲ以テ生業ト爲シ、銳意ニ盡力スル者ニ
 非ザレバ、能ハサルナリ、故ニ眞正ノ教師ハ、苟モ己ノ職業ニ益アリテ、其
 光ヲ増スニ足ルモノハ、一言一行モ心ヲ留メテ、ソノ職務ノ重キヲ天下
 ニ示サンコトヲ欲スベシ、内外出入常ニ進歩ヲ得ルニ汲々トシテ、假令
 瑣小ノ事ト雖モ、己カ專任スル所ノ職業ニ關スルモノハ、深ク之ニ注意

シ、或ハ其職業ノ利益ヲ謀ルガ爲メニ、出板ノ助力ヲ請フモノアラバ速ニ承諾シ、敢テ傲語ヲ以テ之ニ應ス可カラズ、又同業ノ教師相會スル時ハ、輒チ之ニ赴キ敢テ辭謝スルコト、己其業ニ達スルヲ以テ、更ニ研磨ヲ要セザルモノ、如クナル可カラズ、同業者ノ屢相會シテ彼此ノ益ヲ謀ルヲ得ルハ、亦職業上ノ一利ナリト思フコソ、反テ當然ナルベシ、右ノ如ク、教師ハ其職業ノ爲メニ盡力シ、又時機ニ逢フ毎ニ活潑勉勵ノ心ヲ以テ、其同業者ト力ヲ合ハスベシ、苟モ教師タル者、忠誠以テ公私ノ職分ヲ盡シ、眞ニ活潑人ト稱スルニ足ルノ地位ニ至ルヲ得ハ、全國ノ教育ハ、無益ノ空論ニ籠絡セラレズ、其進歩忽チ從前ニ幾倍センコト、期シテ待ツベキナリ、人敢テ孤立微力ナルヲ以テ、何事ヲモ成シ得可カラズト爲スコト勿レ、且ツ僅ニ一能アル者ト雖モ、其勤ムベキノ職分ニ至リテハ、十能アル者ト少シクモ、異ナルコトナシ之ヲ怠ルトキハ、共ニ

同罪ニ歸ス、豈ニ勉メザル可ケンヤ、

事業ニ意ヲ用キル深切ナル可キ事

教授者、余カ上ニ掲ケタル條目ヲ略シ、身ニ收メタリトモ、更ニ之ニ加フルニ眞實ニ其事業ニ意ヲ用キ、其子弟ヲ愛シテ、之ガ爲メニ善ヲ爲サント欲スルノ情意深切ナルニ非サレハ、未ダ有功有益ニシテ實ニ善美ヲ盡スノ、教師ト稱スルニ足ラズ、又前條ノ諸件ヲシテ實地ニ益ヲナサシメノコトハ、又此三者ヲ有タザル可ラズ、何等ノ職業ニ從事スル者モ、タトヒ十分ニ其任ニ勝フルノ才幹アルモ、其大小ノ事務ニ於テ深切ニ意ヲ用キルノ念ナキトキハ、其成就スル所意外ニ少ナキモノナリ、説法師ノ雄辨烈火ノ如キモ、ソノ説ク所ノ聖書ノ意ヲ体認シテ眞意ニ聽者ノ益ヲ思ハサルトキハ、其功德其勞ヲ償フニ足ラス、律學者、法律ノ諸書ヲ涉獵シ、其全旨ヲ看破シ得ルモ、懇切ニ訴人ノ情狀ヲ察シテ、理義ノ爲メニ

苦心スルノ誠ヲ參坐ニ示スニ非ザレバ其勝モ亦期ス可ラズ、
 ソレ教師モ亦然リ假令百科ノ學ニ達スルモ特リ之ヲ以テ其委託セラ
 レタル子弟ニ十分ノ益ヲ施スコト能ハズ或人曰ク嚴格ナルコトデ
 セコスノ如キモ道心堅固ナル隱者ト雖モ又高尚玄妙ナル理學者ト雖
 モ以テ教師トナスニ足ラズ惟稟性温和ニシテ容貌莊嚴動作閑雅ニシ
 テ自ラ禮節ニ合ヒ言語明朝ニシテ臨機ノ智アリ之ニ加フルニ其職業
 ヲ愛スルコト深クシテ善ヲ爲スノ志切ナル者以テ此任ニ當タル可シ
 ト世ノ教師苟モ其任ノ重キヲ知り其才能ヲシテ無用ニ屬セサラシメ
 ノト欲セハ深ク意ヲ用キテ其業ニ盡力シ君等ガ老後ニ及ソテ嘗テ子
 ノ如ク愛育セシ兒女ノ皆成長シテ有益有福ノ人トナリタルヲ見テ己
 ガ挿頭ノ花ト誇リ樂ムノ日アルヲ期スベシ果シテ人ヲバ彼ノ上帝モ
 亦君等ガ誠實ニ盡力セシニ感シテ福祚ヲ降シ衰老ノ日ニ當リテ快樂

ヲ賜ヒ且ツ永遠不死ノ期望ヲ起サシメ煌々クル光明ヲ放ツテ以テ墓
 門ノ先導ヲ爲スヤ必セリ

ダニエニエブストル嘗テ諸人大集會ヲナセシ時左ノ尊ムベキ意思ヲ
 述ヘタリ曰ク我レ人民ヲ教育シテ人心備フル所ノ尊道敬神ノ性ヲ研
 磨セシテ欲ス一言以テ之ヲイハバ猶工人ノ木石ヲ以テ彫斲ヲ爲ス
 ガ如ク我レ人心ヲ以テ彫斲ヲ爲サント欲ス人心ヲ彫斲スレバ人ノ智
 ヲ増シ其徳ヲ高尚ニスベシ而シテ不死不朽ノ物質ニ加フル所ノ彫斲
 ハ幾千萬年ヲ經ニモ依然トシテ存在スベキハ我輩ノ確知スル所ナリ
 今若シ大理石ヲ取テ之ニ雕刻ヲ加ヘハ年ヲ經ルニ從テ其腐蝕スレハ
 必然ナリ青銅ヲ以テスルモ亦然リ又高樓大厦ヲ起スモ遂ニ亦必塵土
 ニ歸スベシ然ルニ我レ人ノ精神ヲ彫斲シテ之ニ畏天敬人ノ道理ヲ含
 有セシメハ幾億年ノ久シキヲ經ルモ決シテ消滅スルコトナクシテ永

遠無量ノ來世ニ至ルマテ、光輝燦然タル雕刻ヲナシタリ。
 教師タル者、右ノ意思ヲ以テ實地ニ施サ、ル可カラズ、彼等忽チ此言ヲ
 聞カバ、其職務ノ重大ナルヲ懼レテ、敢テ企及シ難シトナス可シ、サレド
 モ亦誠實ニ之ヲ務メテ、永久至重ノ實効ヲ得ベキヲ思ハ、此言反テ其
 氣力ヲ増スニ足ラン、教師ハ顯榮ノ事ニ勞スルヲ以テ、終始忠實無妄ナ
 ルトキハ、亦必最モ顯榮ナル褒賞ヲ享クベシ。

第十三節

教師自ラ其業ヲ脩スルノ方法ヲ論ス

凡ソ人此世ニ生レテ、自己一人無事ニ生活スルヲ得ルヲ以テ、足レリト
 スル者アラシヤ、必世界ノ爲メニ、幾分ノ裨益ヲ爲サント欲スルハ、萬人
 同一ノ志ナルベシ、我輩ノ天ヨリ受クル所ノ才能ハ、人ニ因テ多少長短
 ノ、不同アレトモ、悉皆之ヲ用シ盡シテ、一モ不用ニ屬セシム可カラズ、而

シテ其平常盡スベキ義務ハ甚タ重大ニシテ、時ニ從テ變動スルコトナ
 シト雖モ、又別ニ一新地ヲ開クトキハ、更ニ一層ノ義務ヲ増スベシ、今人
 アリ、一種ノ職業ニ就テ、其職分ヲ盡シ、事ヲ決セバ、其人ノ事業増加シ、
 其任モ亦從テ更ニ重大ナラン、即チ其人世人ニ對スル平常ノ義務ハ、少
 シクモ減スルコトナリシテ、而シテ新ニ其職業ニ附屬スル所ノ義務ヲ
 負荷スルモノナリ、故ニ教育ノ業ニ従事スル人ハ、別ニ最大切要ノ義務、
 チ、其身ニ負荷シタルモノト謂フヘシ、善ク此義務ヲ盡ストキハ、身有功
 ノ林ニ列シ、遂ニ天ノ福祚ヲ享クルコト必セリ、是ニ因テ之ヲ視レバ、益
 其業ヲ修シ、愈其功ヲ大ニセントスルハ、豈ニ教師タル者當ニ欲スベキ
 ノ務ナラズヤ、常ニ其知識才能ヲ長シテ、職務ヲ盡スコト誠實有用ナラ
 シメントスルハ、豈ニ其願フベキノ目的ナラズヤ、其爲スベキノ業ハ、難
 シシテ重ク、而シテ其得ベキノ功ハ、饒ニシテ廣シト、謂フヘシ、余今教師

自ラ業ヲ修スルノ最上法ノ一二ヲ掲ケテ、簡要ニ之ヲ論ズルコト。左ノ如シ。

第一 健康ニ、身体ヲ保ツ事。

教師純真ノ精神ヲ有テ、又純全ノ身体ヲ有ツテ欲スルナリ。此二者兩全ナラザレバ、恰モ敗積ヲ以テ寶玉ヲ藏ムルガ如ク未ダ人ヲシテ感服セシムルニ足ラズ又十分ニ其用ヲ舒フルコト能ハズ。然ラハ則、教師如何シテ純全ノ身体ヲ以テ純真ノ精神ヲ藏スルヲ得ベキヤト問フ者アラバ、余之ニ答ヘテ曰ハシ、食慾及ヒ其他ノ情慾ヲ節シ、百事皆適度ノ定則ニ從フベシ。睡眠飲食ノ慣習ハ、嚴ニ方正ヲ守リ、決シテ攝生ノ教ニ背ク可カラズト、教師苟モ情慾ニ耽ルトキハ、獨リ其身ヲ傷害スルノミナラズ、其害必生徒ニ及ブベシ。教師ノ心情履行ハ、皆能ク生徒ニ薰染ス。蓋シ教授者ト受教者ノ間ニハ、同情相感スルノ理自然ニ存スルモノニシテ、

若シ教師情慾過度ノ爲メニ病ヲ得テ、精神衰耗スル事アレハ、生徒ノ氣風モ亦自カラ之ニ化スベシ。余輩往々學校ノ生徒、緩慢若シクハ激烈ノ性ニ移レル者アルヲ見ルハ、職ヲ之ニ由ルナリ。教師運動ヲ爲スニ當リ、其己レニ適スルノ品性ト、其度トヲ量定スルコト、極メテ精密ナルヲ要ス。サレドモ、永シ畫一ノ法ヲ定メント欲スルハ決シテ能ハサル所ナリ。凡ソ運動ノ適否ハ、ソノ天賦ノ性質ニ由ルノミナラス、又其時々ノ強弱ニ準スルモノナリ。故ニ教師ハ深ク之ニ注意シテ、其時々最モ身ニ適スル者ヲ撰取セサル可カラズ。之ヲ要スルニ、運動ハ全体中ニ適宜ノ勞動ヲ生スル者ヲ可トス。或ハ長ニ過キ、或ハ強ニ過キテ、非常ノ疲勞ヲ生スルトキハ、其害實ニ甚クシ。而シテ之ヲ爲スハ、規則ヲ正フシ其度ヲ失ハサルヲ要ス。一日ニ一週ノ運動ヲ兼テント欲スル如キハ、誠ニ無益ト爲ス。必須テク相當ノ日課ヲ分賦ス可シ。又運動中

ハ其神氣必快活ナルヲ要ス運動ヲ以テ難事ト做シ職務ノ意想ヲ以テ勉強シテ之ヲ爲スハ其効驗甚ク淺薄ナリ故ニ教師ノ目的トスル所ハ快活ノ心ヲ以テ肢體ヲ運動シ其慣習ヲシテ總テ節度定式アラシメ由テ其身体ヲ強壯ニシ其精神ヲ振作シ而シテ其氣力ヲ增益スルニ在リ先ツ此等ノ事ヲ能クセズシテ他ノ修業ニ從事スルモ其勞全ク無用ニ屬センノミ

第二 教育ニ關スルノ書籍及ビ新聞ヲ讀ム事

他人ノ經驗ヲ記シ或ハ理論ヲ載スル書ハ讀者ヲシテ猶益ヲ得セシム可シト雖モ盡ク其記スル所ニ倣ハントセハ反テ大害ヲ生スルコトアラシク確實ナル經驗ト雖モ之ヲ百般ノ事ニ施行セバ決シテ其十全ヲ保スルコト能ハス況ンヤ他人ノ理論ヲ以テ一モ謬誤ナシトスルハ豈危フカラズヤ是故ニ教師ハ博ク書ヲ讀ムモ詳ニ之ヲ理會シテ明ニ之ヲ

辨別シ時機ニ應ジテ取捨スル所ナカルベカラス之ニ熟讀シテ其智ヲ研キ其見ヲ開クヲ以テ主ト爲シ兼テ又自己ノ工夫ヲ以テ其得タル所ノ智識ヲ實地ノ形勢ニ參酌スルコトヲ習フヘシ都テ教育ニ關スルノ書ハ其著者ノ識見甚ク誤レル者ト雖モ其全部中ニハ必一二ノ切要ナル一章一節ヲ得ルモノナリ故ニ教師ハ博ク此等ノ書ニ涉獵シ熟讀玩味シテ是非ヲ甄別セハ大ニ益スル所アラシク然レトモ一時ニ多讀スルハ甚ク惡シ其之ヲ讀ムノ數詳ニ作者ノ意ヲ解シ得ルニ止リ讀ミ得タル紙數ト卷數ノ多キハ讀法ノ密ナルト其書ノ善良ナルコト如カズトノ教ヲ守ルベシ忽々一卷ノ書ヲ讀過スルノ利ハ反テ名家ノ書一葉ヲ熟讀スルノ益ニ及バザルコト遠シ

第三 常ニ其持論ヲ筆記スベキ事

人ノ其持論ヲ記述スルノ慣習ハ實ニ切要ナルモノトス博ク事理ニ通

シテ知識ヲ胸裏ニ畜積スルモ、人ヲシテ明白ニ之ヲ知ラシムルコト能ハサレバ、其益ヲナスヤ甚ダ鮮少ナリ。故コ教師タルモノハ、常ニ問題ヲ設ケテ己ノ識見ヲ陳シ、或ハ書中ニ讀ミ得ル所ノ事ヲ掲ケテ之ニ論説ヲ加ヘ、又其他教育ノ條件ニ就テ己ノ所見ヲ記述スベシ。此法ハ自己ニ益アルハ固ヨリ論スルナシ。若シ其文章議論果シテ確實ナラズ、又他人ノ益ヲ爲スベシ、即チ一舉シテ、二利アル者ナリ。談話ノ如キハ、タトヒ卓説ヲ發シ、奧理ヲ究ルモ、其益ヲ受クルノ人限アリ。之ヲ紙上ニ筆シテ世ニ公布スルニ至リテハ、其幾多ノ人ヲ利シ、幾年ノ長キヲ益スルヤ實ニ測ル可カラズ。故ニ常ニ文章ヲ作り、人ヲシテ容易ニ之ヲ解シ得ベカラシムルハ、豈ニ教師タル者ノ勉強スキキ所ナラズヤ。

第四 親友ヲ會シテ其忠告ヲ受ルヲ要ス事

教師往々不適ノ言語ヲ用ザルノ慣習ヲ得ルコトアリ、斯ノ時ニ當リ、能

ク深切ノ言ヲ以テ其誤ヲ斥シ、之ヲ諫ムル者アレハ、其効驗實ニ著明ナリ。凡ソ自己ノ事ハ、人ノ見ル所ト己ノ見ル所トハ、大ニ異ナルモノナレトモ、望ムラクハ之ヲ一様ニスベシ。今之ヲ一様ニセシムルハ、親友ノ助ヲ待タサル可カラス、又互ニ相親ム者ノ間ニハ、顧慮スル所ナク其持論思想ヲ相通ズベキヲ以テ、斯ル交際ニ於テハ、双方共ニ大利益ト大愉快トヲ得ルコト必セリ。特ニ其親友ヲシテ、同業ニ關スル人ナラシムルハ、更ニ妙ナリ。是故ニ教師ハ互ニ其慣習風儀、及ヒ言語ヲ討論シテ、隠ス所ナク、又快ク其言ヲ納レテ怒リ恨ムルコトナキノ、一二ノ親友無カル可ラズ。虚懐無邪ノ心ヲ以テ、相授受スル所ノ直切ナル批評ハ、大ニ利益ヲ得ルモノナリ。諺ニ曰、惟親友、汝ノ瑕瑾ヲ知ルト。

第五 會集ヲ爲シ、或ハ同社ヲ結ビ、彼我ノ益ヲ謀ルベキ事

同業者ノ共ニ相研磨スルカ爲メニ、屢會集ヲ爲スハ、甚ダ願欲スル所ナ

リ、頃年來教育ニ關スル者種々ノ社ヲ結ヒ會集ヲ起セシヨリ、教師ノ品行モ爲メニ高尚ニ趨キ、且ツ大ニ其業ヲ進メタリ、然レトモ斯ノ會集ヲ爲スモ只參坐スルノミニシテ、心ヲ留メザルトキハ、亦許多ノ益ヲ得ルコト能ハス、故ニ參坐スル者ノ主旨トスル所ハ、己ノ珍說ヲ以テ人ニ傳ヘ又耳孔ヲ穿テ他人ノ名說ヲ聽クニ在ルナリ、是ヲ以テ眞教師ト稱スベキ人物ハ、教師ノ社ニ入り或ハ其集會ニ與リテ、貴重ノ考思持論ヲ得ルコト必多シ、他人ノ經驗ヲ聞テ以テ其知ヲ研キ其說ヲ定メ、且ツ其勇氣ヲ加フベク、只理論ニ出ツル者ト雖モ、亦許多ノ益ヲ得ルニ足ル、之ニ加フルニ懇切親愛ノ情思ヲ養ヒ、職務ヲ重ズルノ念ヲシテ愈深カラシムベシ、夫レ同業者ノ屢相會シテ事ヲ談シ、互ニ相助クルノ言ヲ交換スルハ、豈樂シク且ツ利ナラズヤ、會散シテ各其校ニ返リ、益確手タル目的ト、愈明白ナル識見ト、斬新ナル英氣トヲ以テセハ、事ヲ執ルニ於テ何

カ有ラシ、語ニ曰、鏡ノ能ク鏡ヲ磨スルカ如ク、人モ亦其朋友ヲ切磋スト、斯ノ會集ニ在テ、誣テ人ノ爲シタル種々ノ經驗談ヲ聽クハ、因ヨリ善シト雖モ、ソノ之ヲ聞クニ當リテ用心頗ル密ナラサル可カラズ、同様ノ處方ニシテ、必スモ同様ノ結局ニ至ラサル者往々之レ有リ、蓋シ一人ハ此法ヲ用キテ遂ニ此功ヲ奏セリト云ヒ、又一人ハ全ク反對ノ法ニ由テ同一ノ功ヲ遂ケタリト云フノ類少ナカラス、此人ハ終始懇篤ヲ以テ、善ク難事ヲ鎮制セリト談シ、彼人ハ同事件ニ於テ懇篤ノ全ク驗ナキヲ知リ、嚴刻ノ罰ヲ加ヘテ最モ愉快ナル功ヲ奏セリト述ブルコトアラシ、斯ノ如ク衆說ノ不同ナルニ違ハ、青年陋劣ノ教師ハ、孰レノ處置ノ是ナルヤト、大ニ疑惑スル所アラシ、余之ヲ辨解シテ曰ハシ、其法、偏用スルコト勿レ、其生徒ノ性質ト其時ノ情態トニ因テ、甲法ノ適スルアリ又乙法ノ應スルアリ、是ヲ以テ聞クヲ得ベキノ談話ハ、盡ク心ヲ留メテ聽クベ

ト雖モ亦能ク之ヲ辨別チナシテ實ニ事情ニ適スル者ヲ除クノ外ハ、敢テ妄ニ實地ニ施行スベカラズ、タトヒ他人ノ經驗智能ヲ藉ルモ、敢テ自己ノ流派ヲ失フテ、恰モ他人ニ役セラル、者ノ如クナル可カラズ、長者ノ目的ト方法トニ由テ、己ノ目的方法ヲ改ムルハ可ナリト雖モ、自己ト其做フ所ノ人ノ品性ト、又其掌トル所ノ兩校ノ模範、全ク相類スルコト非ザレハ、必他ノ全局ヲ摸倣ス可ラザルナリ、又職務ノ上達ヲ謀ルガ爲メニ、同街同邑等一地方ノ教師互ニ相親交、或ハ時々會集シテ其事ヲ討論スベシ、斯等ノ會集ハ特ニ同業相助ケルノ懇情ヲ養ヒ、且ツ訓誨ヲ授受スルノ益アルモノナリ、凡ソ結社連合、テ彼我相助ケルハ、甚ダ良法ナリトスルヲ見レハ、教師ノ如キ切要ノ職務ニ従事スル者ニハ、更ニ幾許ノ利アルベキヤ、殆ント測ル可ラス、是故ニ己レカ知ル所ノ者ヲ舉ゲテ彼ニ告グ、又彼ノ己レニ與フルノ助ヲ受

ケテ以テ自他共ニ其職業ヲシテ、功益愈多ク面目益高キノ地位ニ至ラシムルヲ務ムヘシ、全力ヲ以テ弊害ヲ除キ、國家ノ光輝ヲ増フニ傾注シ、其職業ヲ極度ノ地ニ致スヘシ、果シテ然ラバ其恩澤ノ布ク所之カ限界ヲ爲ス能ハズ、其功德ノ高キコト之ニ齊等スベキモノナキニ至ラシ、此ヲ稱シテ能ク其職ヲ盡シ、其思世界ニ溢ル、モノト謂フ。

第六 他ノ學校ニ適キ、其教授練磨ノ法ヲ觀ルベキ事

他ノ學校ニ入リテ得ル所ノ益ハ、實ニ鮮少ナラザルモノナリ、凡ソ教師ノ生徒ヲ教授練磨スルノ法ハ、各自必同一ナラズシテ、而シテ又斯ノ如キハ、適ニ尤モ願フベシトナス、人各一二ノ所長アリト雖モ、一人ニシテ盡ク之ヲ兼テ十全ノ教師ト稱スベキ者ハ、觀フ罕レナル所ナリ、今他ノ學校ニ往テ、益ヲ得ント欲セハ、必其心ヲ虛フシテ、教ヲ受クルノ意ヲ表スベシ、敢テ傲慢ノ心ヲ懷キ、己レ既ニ十全ノ他位ニ達セリト爲ス可ラ

大衆人ノ助ニ由テ始テ、其地位ニ近ツクヲ得ベキモノト思フベシ。假令
 自ラ教師ニ切要ナル性質ヲ多ク其身ニ有セリト爲スモ、人モ亦之ヲ有
 シ或ハ反テ己ニ勝ルモノアルヲ忘ル可ラズ。巧妙熟練セル最上ノ教師
 ト雖モ、他ノ學校ニ在ルコト半日ナレハ一利益ヲ得サル者ハ鮮シ。萬一
 取テ模範トスルニ足ル者無シト雖モ、熟視ノ間必大ニ發明スル所アラ
 ソ、只之觀覽シテ、其誤謬ヲ見出スノミナルモ、全ク益ナシトセズ。蓋シ誤
 謬ナルモノハ、到處必有ルモノニシテ、自己ノ校中ニモ亦存セリ。但其生
 スルヤ、漸ク以テシテ、自ラ知ラサリシ所ノ者、今他ノ學校ニ入り、其位地
 ノ變シ事情ノ異ナルヲ以テ、始テ之ヲ覺知シ是ニ於テ、聳然トシテ自ラ
 省ミ、細心ニ自己ノ校務ヲ注目スルニ至ルコトアルベシ。然レトモ斯ク
 他ノ學校ヲ觀覽シテ利益アラシメシハ、十分ノ深切誠意ヲ盡サ、ル
 可ラス。若シ同輩ノ教師余カ校ニ來リ益ヲ得シコトヲ欲セハ、予ヲシテ

其平日爲ス所ノ事ヲ爲サシメ、彼ハ兀坐注視シテ其取ルベキモアラハ
 之ヲ取リ、戒ムベキモノハ以テ自ラ戒ムベシ。彼モ亦仁人ニシテ、己ノ益
 ヲ得ルヲ欲スルカ如ク又善ヲ以テ人ニ及ホサント欲スルノ誠意アラ
 ハ、忌ム所ナク余カ過誤ヲ指斥シテ之ヲ忠告スベシ。斯ノ如クニシテ、始
 テ主客共ニ利益ヲ交換セリト謂フベシ。

第七 世上ノ切要ナル進歩變革ヲ知ルベキ事

夫ノ教師タル者、眞ニ功ヲ遂ケ益ヲ成サント欲セハ、多ク諸般ノ事ヲ知
 ラザル可カラス。其切要ト稱スベキ事ニハ、皆熟考ヲ經タル己ノ定説ヲ
 立テ、人ノ諮問ニ逢フ毎ニ直ク之ニ答ヘ得サル可カス。故ニ詳ニ世界
 萬國ノ政治教法文學等ノ景況ヲ探リテ、之ニ通明シ、學術ノ進歩農業製
 作ノ變革及ヒ貿易上ノ要件ニ至ルマテ、自ラ其詳悉ヲ窮メ、又詳悉ニ人
 ニ告ゲ得ザルベカラズ。之ヲ約言セバ大功ヲ成サント欲スル者ハ、世上

一般ノ切要ナル事ヲ通知スベキナリ、此知識ヲ得レハ以テ、大ニ自己ヲ益スルニ足リ、亦以テ其德澤功用ヲ高大ニスベシ、予已ニ教師ノ自ラ研究セテ少年輩ノ有用ナル教授者ト爲リ得ベキノ方法ヲ至簡ニ説キ盡セリ、蓋シ其爲スベキノ事業ハ甚ダ切要ニシテ其任タルハ實ニ重シ、サレトモ貫クニ誠實ニ以テシテ或ハ敢テ放失セサルトキハ其享クル所ノ褒賞モ亦多ク且ツ貴カラルヘシ、故ニ十分ニ己レガ職業ヲ研磨シ、又人ヲ研磨スルノ砥礪ヲラシメテ願望シ、決シテ其志ヲ變スルコト勿レ、專心誠意以テ能ク其役ニ服セヨ、事業ノ大ナルヲ以テ成立ノ望ナシトスルコト勿レ、其全力ヲ盡シテ、祐助ヲ彼ノ蒼ニ仰カハ、天師モ亦福祚ヲ賜ヒ救援ヲ與フルヤ必セリ、ア、天師ノ救助ヲ得ルニ非スノハ、安ソシ能ク其業ヲ達スルヲ得ンヤ、

數年前教師集會ノ坐ニ在テ、博士エモラノド、其職業ヲ評論シテ左ノ演

説ヲ爲セリ、曰ク因テ以テ富ヲ得ル能ハサルモ、更ニ上等ノ賜ヲ享クベシ、即チ益人ノ特權ナリ、爲メニ浮雲ノ貴ヲ求ム可ラサルモ、別ニ良好ノ才ヲ得ベシ、他ナシ、實力ノ根基智力ヲナリ、夫レ精神ノ活用ヲ研磨スルモノハ、慈仁堅志以テ真正ノ教ヲ授クルモノニ若クハ無シ、ア、教師ノ職業ハ實ニ一種貴重ノ報賞ヲ有スルモノト謂フベシ、蓋シ人ノ爲メニ勉勞スルヲ以テ、自己ノ智力モ亦百倍シ、自己ノ才能モ亦發生シ、而シテ自己ノ情慾モ亦退縮シ、且ツ其教授スル所ノ數萬ノ少年皆成業シテ、其德輝ヲ世上ニ耀カシ、聖賢ノ流亞ト稱セラル、ト見ルトキハ、其樂タルヤ、何物カ之ニ若カソ、噫、何ノ業カ此報ヲ得ンヤト、

第十四節

教授ヲ論ス

凡ソ教師タル者、其德行文學ニ於テハ兼全シテ虧ルナシト雖モ、評ニ教

授ノ眞面目ヲ了解セサル者ハ、亦十分ノ功ヲ奏スルコト能ハス、世ノ教師、生徒ノ事業ヲ奪フテ自ラ之ヲ爲ス者多シ、是レ甚ク親切ナルニ似ク
 レトモ決シテ然ルニ非ス、其實ハ生徒ヲシテ之ヲ爲サシムルヨリハ、自
 ラ之ヲ爲スノ易々ダレバナリ、斯ノ如ク教授ハ教導ノ本旨ニ合ハサル
 チ以テ、眞ノ教授トナス可ラス之ヲ要スルニ生徒ヲシテ自己ノ心ヲ勞
 セシメ自己ノ力ニ由ラシムル、是レ眞實ノ利益ナルヘシ、故ニ教師ノ目
 的トシテ務ムル所ハ、生徒ヲ誘掖シテ自力ヲ憑信シ専心熟思スルノ慣
 習ヲ得セシムルニ在ルナリ、之ヲ概言セハ教師ハ生徒ノ學ヒ得ヘク之
 カ教授トナスヘキナリ、然レトモ生徒ハ少シクモ教師ノ助ヲ要セズト
 言フニ非ス、相當ノ教導ハ必ス闕ク可ラスト雖モ、過キタルノ害ハ不及
 ヲリモ反テ多キモノナリ、凡ソ事物ノ變遷スルハ、常ニ極度ヨリ極度ニ
 達スルモノニシテ、教育上ノ事ニ於テモ亦然リ、往昔教授ノ法ハ全ク教

授書ニ依リテ、教師ハ僅カニ其義ヲ説キ明カスコトモ稀ナリシガ、一
 ヒ此法ヲ以テ誤ト爲シ、口授ヲ以テ眞法ト爲シヨリ變更其度ヲ過キ
 テ又偏重ノ弊ヲ生セリ、附來教授書ハ全ク不用物ト看做シ、其甚シキニ
 至リテハ却テ以テ害アリト爲シ、教師口ヨリ辭ヲ吐ケハ生徒ハ只之ヲ
 耳ニ聽クノミ、是ニ於テ書籍ヲ用弗シテ教授ヲ爲シ得サル者、皆教師
 ノ職業ヲ失フ事トナレリ、獨リ我國ニテハ此口授ヲ偏用スルノ風未ダ
 徧カラサルニ當リテ、教師タル者早ク他ノ方法ニ着目スル者アルニ至
 リシハ眞ニ大幸ト謂フヘシ、然レトモ亦全ク口授ノ法ヲ廢センコトハ
 敢テ余輩ノ望ム所ニ非ス、賢良老功ノ教師ハ皆現ニ之ヲ用キル、故ニ今
 ノ急務ハ只之ヲ節スルニ在ルノミ、漫ニ喋々タル辨解ヲ加ヘ、生徒ノ業
 ヲ簡便ニシテ其勞ヲ輕クスルハ、却テ拙劣未熟ノ學者ヲ成立スルニ足
 ルノミ、教育ノ任ニ當ル者ノ眞職名ハ他無シ、生徒ニ代リテ事ヲ爲サス、

生徒ヲシテ自カラ其心思ヲ勞セシメ其精神ノ活用ヲ繰繰擴充シ以テ其思慮ヲ鋭敏ニシ其履行ヲ秀逸ニスルニ在リ然ルニ世人多クハ兒童ノ心ヲ以テ深淵ナル水桶ノ如クト爲シ知識ノ品性ヲ撰ハス又其分量ヲ度ラス明リニ之ヲ注入シテ已ムコトヲ知ラス管ニ之ヲシテ充溢セシムレハ則教育已ニ至レリト爲ス者ノ如シ不幸ナル哉斯ノ如クハテ貯フル所ノ知識ハ直ニ溢出シテ永ク存在セサルノミナラス遂ニ溢出ノ慣習ヲ生シテ永ク後患ヲ遺ス者ナリ其方法ヲ誤レルモ亦甚シト謂フヘシ

予ガ右ニ論セシ所ヲ以テ誤ナシトセハ教授ノ眞方ハ生徒ヲシテタゞ其教課ヲ暗記セシムルノミナラス又能ク其理ヲ解シ略々其用ニ適セシムルニ在リ教師ノ主トシテ意ヲ用弗ルヘキ所ハ其義ヲ擴充辨明シテ生徒ノ才智ヲ練磨シ且ツ之ヲ理會シ得テ疑フ所ナカラシムルニ在

リ而シテソノ之ヲ爲スノ方法ハ口授ヲ以テ最モ適切ナリトスレトモ若シ心ヲ生徒ノ獨見ヲ發揮シ其心意ノ活用ヲ發生セシムルニ用弗サルトキハ所謂口授ノ法モ亦一種ノ害ヲ生スヘシ教師太ニ其心ヲ勞シ生徒ヲシテ其説ク所ノ旨趣ヲ了解シ一時之ヲ其胸中ニ存スルヲ得セシムルモ生徒タル者モ亦之カ爲メニ興起セテ各自ノ思慮ヲ發動シ其理ヲ悟リ其用ヲ詳ニスルニ至ラサレハ徒ニ外來ノ力ニ因テ得ル所ノ者ハ忽チ消散シテ其跡ヲ存セサル者ナリ但シ斯ノ如ク生徒ノ自力ニ依頼スルヲ主トシテ適宜ニ之ヲ誘掖スルハ其作用甚ク難クシテ教師タルモノニ於テハ許多ノ練熟判決ヲ要セサレハ能クセサルナリ蓋シ徒ニ調護スヘキノ機ト方トヲ知ルノミナラス又能ク誘掖ス可ラサルノ時ト法トヲ辨シ且ツ少年輩ヲシテ知識ヲ得ルニ汲々クシムルノ念ヲ起シシメサル可ラス之ヲ約言スレハ人心ヲ練磨スル者ハ其之ヲ

受クルノ力ヲ長スルヲ欲シ、又其之ヲ生スルノ力ヲ發生セシムルヲ要スルナリ、蓋シ無量ノ知識ヲ受納スルト雖モ、其胸裏ヨリ之ヲ發生スルノ力ニ乏シケレハ、益世ノ實効眞ニ鮮少ナレハナリ、或曰人ノ生徒ノ爲メニ爲ス所ノ者ハ、眞ニ重ノス可キ者ニアラス、生徒ヲシテ自ラ爲スヲ得セシムル者即チ身世ノ大利ヲ生スル者ナリト、

果シテ生徒ヲシテ能ク自力ヲ發シテ以テ理ヲ究メシムレハ、其考思愈深キカ故ニ其得ル所ノ者モ亦隨テ貴ク、而シテ其精神モ亦益盛旺シ極メ、將來ノ難事ニ耐フルニ於テ大ニ易々タルヲ覺ユヘシ、

深ク諸人ノ愛惜スル所ト爲リシ、チヤンニシク氏教育ノ眞趣目的ヲ明論シテ之ヲ死後ニ傳ヘタリ、教師タル者必之ヲ讀記セサルヘカラス、今其言ヲ此ニ掲載ス、

凡ソ人ヲ教育スルハ、其諸般ノ能力ヲ成育シ就中其上等ナルモノヲ用

并得テ闕乏ヲ覺エシノサハニ在リ第一ニ其智力ヲ練磨シテ眞理ヲ愛重スルノ念ヲ長シ、又之ヲ認知スルノ方法ヲ教フヘシ、明斷以テ既往ヲ鑑ミ現今ヲ察シ、世上一般ノ覆轍ヲ踏マサラシムヘシ、知識ヲ渴望スルノ思想ヲ興起シ、之ヲ得テ以テ終身其能力ヲ用テ間斷スルコト無カラシムヘシ、物理ヲ知り人事ニ通シ以テ其職務ノ何物タルヲ知り、又日々其眼前ニ生スル所ノ顯像ヲ悟リ得ルヲ助クヘシ、而シテ又詳ニ其資性ヲ辨セシムヘシ、蓋シ人自己ノ品性ヲ知ラサレハ、其進歩ヲ欲スルニ由ナケレハナリ、

次ニ其真心ヲ練磨シ善惡ノ辨別ヲ穎敏ニシ、世間ノ事細大トナシ悉ク道ニ依ルヘキヲ教ヘ以テ終身不易ノ行爲ノ定規ヲ成立セシムルニ在リ、世ニ在テ天人ニ對スル地位ノ眞面目ヲ示シ、之ニ由リテ生スル所ノ道ル可ラサルノ義務アルヲ知ラシムヘシ、圓滿ノ意想ヲ生シ高尚ノ目

的ヲ定メシメ、凡ソ日常ノ事ヲ處スル、何如セハ此目的ヲ謬ラサルヲ得
 ヘキヤ而シテ、歩々何レニ向フテ進ムトキハ此圓滿ニ近ツクヲ得ヘキ
 ヤヲ訓導スヘキナリ、
 次ニ教育ノ主トスル所ハ、政治學ノ理ヲ知り本邦ノ歴史政体及ヒ法律
 ヲ辨シテ、善良ノ人民ト爲ラシムルニ在リ、而シテ國家ノ利害ノ存スル
 所ヲ告ケ、之ヲ消長スルノ方法ヲ示シ、赤心以テ之ニ任ス、ノ報國心ヲ
 シテ、深切ナラシムヘキノ義務アルヲ教フヘシ、
 此ヨリ以往ノ教育ハ、人ノ想像力及ヒ風韻ヲ養ヒ、自然ト人造トノ醜美
 ヲ甄別シ、古人ノ著作ヲ弄シテ文學技術ノ清潔高尚ナル真樂ヲ得セ
 ムヘシ、
 今更ニ之ニ加フヘキノ一條ハ、人ノ言語ノ力ヲ研磨シテ、明白銳利ニ其
 思考ヲ他人ニ通シ、以テ感化セシムル所アラシムルナリ、是レ蓋シ人類

自他ノ進歩ニ切要ナル者ニシテ、又其真快樂ノ根柢ナリ、
 余モ亦此ニ續テ一言ヲ加ヘン、凡ソ教師タル者精密ニ爲セシノ事ハ、
 小ナリト雖モ、大ニ粗漏ニ行フ所ノ多端ナルモノニ勝ルノ一言ヲ服膺
 シ、生徒ヲシテ其多キヲ貪ラシヨリハ、寧ロ精カラシコトヲ欲スルノ念
 ヲ生セシムヘシ、生徒ヲ誘掖スルハ、諸般ノ行爲皆完全ナラシムルヲ要
 ス、故ニ綴字算術等ノ如キ僅ニ頃刻ヲ費スノ業ト雖モ、其意ヲ用キル績
 密ニシテ明カニ其理ヲ理會セシムヘシ、是レ即チ行爲完全ヲ得ルノ楷
 梯トナルベキナリ、生徒ヲシテ事業ノ價值アラシムルハ、多クハ其之ヲ
 行フノ法ノ精密ナルニ由ルモノナリ、且ツ事ヲ爲スノ人ハ世ニ乏シカ
 ラスト雖モ、其善ク之ヲ行ヒシモノハ甚ク少ナク、其卓越ト稱スヘキハ
 特ニ勤ナキヲ悟ラシメ、教育ノ餘德ヲ以テ、生徒將來生長ノ日ニ及シテ、
 其職業ニ盡力シ、精密ニ其事務ヲ行フテ遺漏ナキノ地位ニ至ラシムヘ

シ、苟モ斯ノ如キヲ得サレハ、何ノ職業ニ從事スルトモ其功名利達ヲ得
 ソコト殆ント難シト爲ス、ボストンニ於テビルリイグレト云へル有
 名ノ富商アリキ、其人稍老年ニ及ヒシ後、一日工匠ノ事ヲ監セシ時、偶々
 其粗漏ヲ戒ムルコトアリシニ、此工匠ハビルリイグレエガ弱年ノ事ヲ
 能ク知リタル者ナリケレハ、其咎メヲレシテ怒リ之ニ謂テ曰、ビルリイ
 グレエ君何ヲ以テ余ヲ叱スルヲ得ンヤ、現今君ハ殷富ナレドモ、往日ハ
 夫ノ打鼓卒ナリシヲ余ハ知ラストナスヤト、グレエ答ヘテ曰、然レ
 トモ余ノ鼓ヲ打ツコト嘗テ精密ナラサリシヤ、余ハ打鼓ノ術ニ於テ嘗
 テ粗漏アリシヤト、

以上論セシ所ノ外、又教授上ニ於テ大ニ生徒ノ障害ヲ爲スモノアリ、他
 ナシ學科ノ種類多キニ過ルナリ、此患ノ生セシハ、事物ノ變遷必ス其定
 度ヲ超ユルノ常理ニ註誤セラレシモノナリ、往年學課ノ數ハ簡單ナル

ヲ以テ善シトスルノ風習ニシテ、我カ小學ニ於テモ、科業表中只習字讀
 方算術ノ三項ヲ看シノミ、此三者ハ固ヨリ切要ノ課ナレトモ、決シテ之
 ヲ以テ盡セリト爲ス可カラス、故ニ人皆其不足ヲ覺エ討論研究シテ更
 ニ數項ヲ増加セシハ、眞ニ好舉ト謂フヘシ、サレトモ此時一クヒ人心ノ
 動キシヨリ、變更適度ニ止マラス、遂ニ不足ノ患ヲ化シテ有餘ノ害ヲ生
 セリ、蓋シ生徒ノ精神ヲ昏迷スル者ハ、學科ノ多過ナルヨリ甚シキハナ
 シ、然レトモ適宜ノ變化アルハ甚ダ望ム所ナリ、夫レ終日一樣ノ業ニ全
 カチ費サシムルトキハ、分外ノ疲勞ヲ起シテ其氣鋒ヲ剗鈍ス、亦變化度
 ニ超ユレハ之ヲ消滅シテ、其心氣ヲ眩暈セシムルノ害アリ、是故ニ教師
 タル者ハ、生徒ニ之ヲ學ハシメテ最モ益アル所ノ課業ヲ撰ンテ其數ヲ
 定メ、而シテ固ク自己ノ定見ヲ守リ、生徒ノ一意ニ新奇高尙ノ學ニ移ラ
 ント欲スルノ念ヲ抑制スルコト甚ダ緊要ナリ、變化多キニ過キテ反テ

成業ノ完全ヲ失ハノコトヲ戒メ、又生徒ヲ勸誘シテ學業ノ上達ハ多ク
 高尚ノ科ヲ學ンテ得ヘキニ非ス、簡易ニシテ且切要ナルモノヲ得之ヲ
 貴重シテ唯其之ヲ失ハノコトヲ恐ル、ノ念生スルニ至ルヲ以テ、捷徑
 ト爲スノ義ヲ悟了セシムヘシ、
 兒女子クル者常ニ只多クノ詞ヲ聽クノミニシテ其義ヲ解セサルカ故
 ニ、何等ノ聲音ヲ聞カシメント欲スルモ、直ニ其心中ニ意思ヲ生スルモ
 ノ、外、其盡ク之ヲ忌ミ甚シク之ヲ嫌フニ至ルヤ必セリ、故ニ苟モ人心
 ノ傾注力ヲ養ハント欲セハ、必ス剩冗ノ語ヲ省カサル可ラス、數年前ノ
 事ナリシカ、ロンドンノ一士人二人ノ〔エスケモウ〕亞米利北地ヲ伴ヒ歸
 レリ、其意蓋シ此都府ノ廣大美麗ナルヲ示シテ、一ハ以テ其心ヲ樂マシ
 メ、一ハ以テ其目ヲ驚カサント欲スルニ在リ、是ニ於テ其衣服ヲ改メテ
 英人ノ粧ヲ爲シ、一日早朝ヨリ府下ノ諸街ヲ徘徊セリ、二人ハ游觀數時

ノ間一語ヲ發セス、其容ヲ察スルニ喜フ色ナク又感スル容モナカリシ
 カ、逆旅ニ歸ルニ及ンテ、大ニ愁歎ノ色ヲ顯ハシ、臂ヲ膝上ニ支ヘ、双手ヲ
 以テ其面ヲ掩ヒ悵然トシテ曰、喧噪多キニ過キ、家屋多キニ過キ、人類多
 キニ過キ、而シテ黒烟モ亦多キニ過キ、凡ソ諸般ノ事物皆多キニ過クト、
 學校ノ生徒ニ於テモ亦往々此ノ如キ者アリ、一時ニ多端ノ課業ヲ授ク
 レハ、一課モ十分ニ之ヲ會得スルコト能ハサルニ至ル、故ニ生徒ノ常ニ
 多キニ過ク太々多々堪ユル能ハストイフモ亦宜ナラスヤ、サテ余モ此
 一條ヲ斯ノ如ク詳論主張スルノ故ヲ問フ者アラハ、之ニ答フルニ法師
 ノ説ヲ以テセン、此ニ一法師アリ常ニ同一ノ教義ヲ説テ止マス、或其故
 ヲ問ヒケルニ答ヘテ曰、君能ク此教義ヲ躬行スルニ至ラハ、即チ止マン
 ノミト、教師モ亦然リ、能ク兒童ノ性質ニ注意シテ、余カ上ニ述ル所ノ見
 チ重スルニ至ラハ、則チ更ニ之ヲ説クヲ要セス、サレトモ此ニ至ルマテ

ハ時機ノアル毎ニ反駁丁寧之ヲ論セサルヲ得ス。
次ニ掲クル所ノ文章ハ、レレノド（澤ノ尊稱）ヲリアムベエツノ手ニ成リ、マ
サチユセツト、チイチヤル（新聞ニ刊行セルモノナリ）余カ持論ト合スル
ヲ以テ引テ證左ト爲ス。

教フル、學フノ二語ハ、双方ヨリ相對セル語ナレトモ、若シ之ヲシテ其地
位ヲ交換セシメハ、大ニ其義ヲ失フ可シ、其一アレハ亦其一ナキヲ得サ
ルノ詞ナレトモ其義ハ自ラ異ナリ、教フルモ一事ナリ、學フモ亦一事ナ
リ、双方互ニ關係スレトモ、自ラ別異ノ作用コシテ、別異ノ人ニ非サレ
ハ爲スコト能ハサルモノナリ、俗間往々學フトイフ動詞ヲ、教フルノ義
ニ用（「學フ」ノ原語「ロム」或ハ「教フル」ノ原語「チイチヤル」）有名ノ文章家モ亦或ハ實
ニ之ヲ評スモノアリ、是レ不當ノ甚シキ慣習ニシテ、口筆兩様ノ語中
リ、摘テ速ニ廢棄スベキモノナリ、教フルトハ知識ヲ授與スルコトナリ、

教訓ヲ授クルコトナリ、學フトハ知識ヲ受納スルコト、教訓ヲ受クルノ
義ナリ、教師之ヲ與フレハ學者ハ之ヲ取り、教師之ヲ授クレハ學者之ヲ
受ク、教師已ニ學ヒ得タル所ヲ傳フレハ、生徒傳ヘラル、者ヲ收メテ以
テ己ノ有ト爲ス、教師斯ノ如ク、己ノ心ニ藏スル所ノ者ヲ出シテ之ヲ傳
フルモ、其貯蓄ヲ減スルノ患ナクシテ、他ノ胸裏ノ蓄藏ヲ殖シ、却テ之ヲ
己ニ及ホス、此ニ由テ之ヲ觀ルトキハ、教師ハ只其當然ノ職掌ヲ踐ミ己
レノ心ヲ以テ己レノ行フ所ヲ行ヒ、敢テ他人ノ意ニ制セラル、コトナ
ク、學者モ亦斯ノ如ク自ラ自己ノ心ヲ勞シ、其辛勞氣力ニ稱フ所ノ知識
ヲ得ベキノミ。

事柄ニヨリテハ、或ハ自ラ教フルトイフ語ヲ用ヰルコトアリ、サレドモ
此語法ハ決シテ右ニ論スル所ノ教師學者ノ區別ヲ混スルコトナク、又
學フノ字義ヲ犯スノ患ナシ、前ニハ教フル者學フ者別異ナルヲ以テ論

ヲ立テタレトモ、自ラ教フルノ語ヲ用キルトキハ、則チ學者ニシテ又教師ヲ兼テタルモノト視做スヘキナリ、其自ラ取テ以テ知識ヲ得ルノ器具方法即チ其師ナリ、人造化ノ聲ヲ聽キ自然ノ色ヲ視、見聞經驗ニ因リテ學問ヲ爲スモノアリ、是レ即チ神ノ造立スル所ノ者ヲ以テ吾心中ニ定メテ之ヲ教師トナシ又一方ヨリハ之ニ對シテ生徒トナリ、之ニ問ヒ之ニ質シ、其教フル所ヲ受ケントシテ、自ラ手ヲ展シ種々ニ心ヲ勞シ、之ヲ得テ以テ後來ノ用ヲ爲サントスルモノナリ、

但シ右ノ論辨ハ、細カニ文法ノ理ヲ説カシカ爲メニ非ス、實地ノ事務ニ關スル教師ノ方向ヲ誤ラシコトヲ恐レ、條理ノ大體ヲ示シ、以テ其生徒ヲ教導スルノ眞法ヲ知ラシメント欲スルナリ、夫レ教授ノ際ニ於テ心ヲ勞シ力ヲ用キルハ、只教師ノミニ在リトセハ、學者ノ本分ハ徒然トシテ教師ノ言ヲ待ツノ外ナシト謂ハサルヲ得ス、生徒ハ自ラ興起シテ其

心思ヲ勞スルヲ須キストスレハ、自然柔弱懶惰ニ陥ラサルヲ得サル可シ、故ニ教授ノ事ニ於テ斯ノ如キ誤解ヲ生セハ、從テ生スルノ意見固ヨリ荒唐無稽ニ屬スルモ、其害ノ波及スル所實ニ廣大ニシテ、タトヒ文學ヲ覆滅スルニ至ラサルモ大ニ其進歩ヲ妨クルヤ必セリ、天下ノ人心若シ斯ノ如キ意見ニ染ムトキハ一般ノ教育ヲ進ムル爲メニ、外貌ハ利アル如クニシテ其實ハ大ニ害アリ、之ヲ要スルニ、世間文學ノ品位ヲ卑クシ、後世ノ心力ヲ腐爛シテ、遂ニ有名無實ノ學者ヲ成立スルノ惡法ヲ用キルニ至ラン、而シテ此意見生徒ニ在リテハ懶惰ノ氣ヲ生シ、教師ニ於テハ勉勵ノ氣ヲ阻シテ威權ヲ弄スルノ風ヲ起シ、父母及ヒ文學ニ志ス者ハ、皆誠實有用ナル真正ノ教師ヲ以テ不善ナリトシテ、之ヲ厭フノ念ヲ生スルヲ疑フ容レサル所ナリ、

是故ニ活潑ニ精神ヲ作用スルハ、偏ニ教師分上ニ屬スルモノニ非ズ、亦

生徒分上ニ属スルモノナルヲ知テ、常ニ之ヲ念頭ニ記スヘシ。若シ教育
 ナシテ最上ノ效驗アラシメント欲セハ、其之ヲ學フ者モ亦之ヲ教フル
 者ト同シク、活潑ニ其心ヲ作用セサル可ラス。智力ヲ教育スルカ如キニ
 至リテハ殊ニ然リ、故ニ我カ上ニ論セシ所ノ學フノ作用ハ、生徒ノ自ラ
 爲スヘキ其當然ノ職務ニシテ、他人ノ代リテ行フ能ハス、必ス自己ノ辛
 勞ヲ要スル者ナリ、眞實ニ其知識ヲ得ルニ意アル者ハ、必ス自力ヲ發奮
 シテ先ツ實學ノ門ヲ發見シ然シテ、後其室ニ入ルモ亦自力ヲ以テセサ
 ル可ラス。語ヲ換ヘテ之ヲ言ヘハ、善良ナル教授ノ全益ヲ得ント欲セハ、
 其心常ニ活潑穎敏ニシテ、外ヨリ來ルモノヲ吸収スルノ勢ナカル可ラ
 ス。生徒タル者苟モ此準備ト教師ノ教ニ隨テ之ニ應スルノ作用ナクシ
 ハ、教師ノ苦心ハ皆畫餅ニ属セン、生徒ノ眠レル如キ心中ニハ、教師授ク
 ル所ノ知識決シテ久住スルコト能ハス。教授ナシテ實ニ其人ヲ教育ス

ルノ功アラシメント欲セハ、其之ヲ受ル者モ亦之ヲ授クル者ノ如クナ
 ラサル可ラス。其容受ノ諸能力ヲ練磨研熟シ、且ツ之ヲ其能力中ニ編入
 シテ、直ニ實地ノ用ヲ爲スカ如クニ、之ヲ容受セサル可ラス。其容受ス
 ル所ノモノ即チ化シテ其心ノ私有物ト爲リ、徒ニ其記憶上ニ存スルノ
 賓客ニ非ス、其心裏ニ透徹シテ、殆ント之ト位チ同スルノ主トラシメサ
 ル可ラズ

上ニ論述セルカ如ク、學者モ亦活潑ニ其心ヲ作用スヘキノ説ヲ以テ定
 メテ理アリトセハ、其重大ニシテ實地ニ適切ナルコト論ヲ俟タス。シテ
 明カナリ、徒ニ教師ノミナラズ、生徒兩親及ヒ教育ヲ重シテ之ヲ張大セ
 シト欲スル者ニ於テモ亦甚タ切要ノ事ナリ、之ヲ見テ以テ發明スル所
 甚タ多ク、之ニ因テ當時ノ世情ニ通シ、我小學ノ状態ニ應スルノ教ヲ得
 ルモ亦多シト雖モ、此紙上限アリ、之ヲ明辨詳論スルコト能ハス、故ニ只

緊要ナルモノ數條ヲ舉ケテ、專ラ教授ノ職ニ任スル者ノ參考ニ供ス、其順序ノ如キハ今之ヲ正スニ暇アラズ、

第一、教師ハ常ニ兒童新奇ヲ好ムノ心ヲ挑撥シ、其氣力ヲ發起スルノ工夫ヲ運テサ、ル可ラス、

第二、次ニ生徒ノ心ヲシテ教授スル所ノ趣意ニ傾注シ、其氣力ヲ此ニ集合セシメル可ラス、

第三、弊害ヲ生セサル者ハ務メテ兒童ノ喜フ所ノ事ヲ交ヘ、其心ヲシテ之ヲ樂マシメ、定刻ニ至レハ快活ノ色アリテ競フテ席ニ就クノ場合ニ至ラシメサル可カラス、

第四、校中各生徒ノ學フヘキ相應ノ學科ヲ豫定シ、變化ノ種類多キニ過キテ其精神ヲ昏迷シ少ナキニ過キテ之ヲ疲勞セシムルノ弊ナキヲ要スヘシ、

第五、其之ヲ學ハントスルノ本旨ヲ遺レ、生徒ノ心ヲ散セシムルノ照

例ハ務メテ之ヲ用非カラシムコトヲ欲ス、

第六、教師幸ニ兒童新奇ヲ好ムノ心ヲ挑撥シ得ルモ、無用ノ助テ假シテ早ク其欲ヲ塞キ、其自ラ奮勵スルノ機會ヲ失ス可カラス、又己ニ其時ニ及フモ必要ノ教導ヲ與ヘ以テ其欲スル所ヲ得セシメスシテ、漫ニ退却セシメ其失望ヲ招ク可ラス、是故ニ教師タル者ハ、適宜ニ用書口授ノ兩法ヲ混用シテ此等ノ弊ニ陥ラサランコトヲ欲ス、

第七、教授書ヲ撰ムニ當リ、生徒ノ力ヲ量リテ、其心ヲ練磨シ其才智ヲ發生スルニ適當シテ、且ツ知識ヲ廣ムルニ便ナルモノヲ取ルヘシ、其用書ノ体タル、詳明ニ過クレハ生徒自ラ之ヲ輕易シ、簡潔ニ過クレハ困却シテ氣力ヲ失ヒ、其ニ生徒ノ精神ヲシテ怠惰ナラ

シム、教育ノ最モ緊要トスル所ハ、生徒ヲシテ快活ニ其精神ヲ作
用セシムルニ在リ、今書ヲ以テ其作用ヲ助クル多キニ過クレハ
氣力爲メニ自暢セス、少ナキニ過クレハ茫焉自失ス、是レ、兩失同
害ヲ生スルモノト謂フヘシ、

第八、教師ハ教授鞠育ノ事ニ於テ、常ニ其付與セラレタル職務ノ重大
ナル者ニ着目セサル可カス、蓋シ生徒ノ智力ヲ長發セシムルニ
ハ、其奇ヲ求メ隠ヲ探ルノ心ヲ興起シテ、永ク之ヲ保存セシメ、適
宜ニ精神ヲ養フノ良食即チ知識ヲ供シテ、其諸力ノ活動ヲシテ休憩
ノ時ナカラシムルコト最モ緊要ナリトス、以上ベエツ
ノ語ナリ

第十五節

控御ヲ論ス

控御ノ術タルヤ、教育ノ事務ニ在テ至重至大ノ一事ナリ、教師百科ノ學

術ニ達シ、之ニ加フルニ勉強耐忍ノ志アルモ、若シ其率キル所ノ生徒ヲ
制御スルノ才力ナケレハ、其成功モ亦期ス可ラス、或曰ク地球上ニ於テ、
唯一ノ齊整ヲ以テ細大輕重ノ法ヲ兼ヌルハ、教場ニ在リ、苟モ教場ニシ
テ齊整ノ法ニ乏シケレハ、生徒ノ進歩必ス見ル能ハサル所ナリト、故ニ
學校ヲ設立スルカ爲メニ許多ノ金ヲ費スモ、其聘スル所ノ教師、生徒ヲ
制御スルノ力ナキヲ以テ、徒費ニ屬スルコト世間往々少ナカラス、抑モ
國中ニ充滿スル狂暴不軌ノ弊風、其源ヲ尋ヌルトキハ、殆ント皆教場制
御ノ至サルニ因レリ、少年ヲシテ其家或ハ學校ニ在テ其欲スル所ニ任
シテ其情意ヲ逞フシ、敢テ他人ノ權義ヲ顧サラシメハ、他日泛ク世人ト
交接スルニ當リテ、豈復タ此ノ特權ヲ肆マ、ニセンコトヲ欲セサラン
ヤ、蓋シ放肆ノ情意ハ身体ノ成長ニ從フテ俱ニ長シ、其壯大ト共ニ壯大
ナシモノナリ、世ノ公明正大ノ國法ヲ以テ不正ト爲シ、猖狂自肆止ムコ

トチ知ラサル者ヲ見ユ、大概皆少年ノ時父母教師制御ノ力足ラスシテ法ヲ尊ヒ人ヲ敬スルノ道ヲ知ラサル者ナリ、是故ニ父母教師ノ其制御ノ宜キヲ得テ成立セシメタル從順恭敬ノ心ハ、徒ニ年少中ノ幸福タルノミナラス、其餘澤老大ノ日ニ及ンテ、眞ノ幸福榮利ヲ得ルノ基礎タルコト、決シテ疑ヲ容レザルナリ、

右ノ所論ヲ以テ定メテ是ナリトセバ、(而シテ誰カ之ヲ非トスルモノアラソヤ)此篇ノ題目ニ掲クル所ノ主意ハ、其重大ナルコト實ニ與ニ比スヘキ者ナシ、教師タル者我論說ヲ讀マハ必ス驚愕シテ、其委託セラレシ所ノ少年ヲ制御スルコト、何如ナル方法ヲ用ルハ最良ノ功ヲ奏スヘキヤト探蹙シテ焦思セン、是余カ常ニ渴望セン所ノ好機會ナリ、余乃チ此機ニ投シテ一二ノ教ヲ授ケントス

第一、教師先ツ今我カ制御ノ事ニ就テ論セシ所ヲ盡ク信セサル可ラ

ス、若シ之ヲ信スルコト能ハサレハ其成功固ヨリ期スルコト能ハザルナリ、凡ソ何事ヲ爲スモ、未ダ之ヲ行ハザル前ニ其大小品位ヲ知ルコト甚ク緊要ナリ、夫レ教師ノ取扱フヘキモノハ、恰モ數十ノ小家族集合シテ成リタル一大家族ノ如シ、其小家族ノ氣質才能固ヨリ同シカラス、其制御ノ種類ノ不同ナルモ亦其戸數ノ多キカ如シ、故ニ教師適宜ニ其區分ヲ爲シテ之ヲ制御教授シ、且其全体ニ及フノ利益最モ深ク且洽チキテ以テ目的トスヘシ、而シテ其懶惰ナル者ハ之ヲ勵マシ、自ラ小ニスル者ハ諄々説諭シテ之ヲ鼓舞シ、其過キタルハ之ヲ抑ヘ、其請求スルニ隨フテ教導矯正ヲ加ヘ、又奮然高上ノ地ニ着目スルヲ學ハシムヘシ、抑モ此一條ハ、過ク諸生徒ニ切要ナルモノニシテ、俊秀ノ教師ニ非サレハ能クセサス所ナリ、サテ右ニ論スル所ハ一々皆制御上ノ事務ナリ、教師タル者盡ク之ヲ行ヒ得テ而シテ後、生徒始ノテ其願フ所ノ制御ヲ受ケタ

リト謂フベシ
 第二、生徒ニ示スノ規約ハ甚ク簡ナルヲ善シトス、而シテ其餘目ノ公
 明正當ナルコト、幼稚ノ兒女モ猶能ク之ヲ了解シ、其之ヲ犯スノ際ニ當
 リ、彼ヲシテ知ラザルノ遁辭ヲ設クルヲ得セシメサルヲ要ス、
 細密ニ條目ヲ掲ケ事毎ニ規則ヲ守ラシメント欲スルノ教師ハ、徒ニ處
 置ノ穩當ヲ得ント欲シテ、常ニ辛苦ヲ免ル、能ハス、今世間普通ノ風習
 ナ去リ、繁苛ノ法豫備ノ罰則ヲ廢セテ、只左ノ如ク生徒ニ揭示シクラン
 ニハ、其效驗數倍ノ益ヲ加ヘン、我カ少年ノ朋友等ニ告ク我レ君等ヲ教
 フルノ任ヲ受ケテ此ニ來リ、君等ノ親友トナリテ我カ力ヲ盡サント欲
 ス、我等此ノ室ニ於テ日々共ニ教刻ノ光陰ヲ消スルヲ以テ、各心ヲ用キ
 テ此ヲ樂シキ場所ト爲スコト、且ノ爲メニ甚ク切要ノ事ナラスヤ、我カ
 日々ノ勞力ヲシテ樂シク且ツ益アラシメ以テ我カ快樂ヲ來タスハ、大

ニ君等ノ意中ニ在ルヘシ、我誓テ君等ノ爲ニ我ガ及ブ所ヲ盡シ、以テ必
 ズ多少ノ裨益ヲ爲サンコトヲ期ス、我不正ノ法ヲ廢シ冗雜ノ業ヲ省キ、
 務メテ君等ヲシテ無益ニ勞若セシメサランコトヲ欲ス我カ君等ニ求
 ムルノ箇條ハ只一ノミ、君等若シ能ク之ヲ守ラハ、我決シテ別ニ要求ス
 ル所ナシ我カ君等ニ求ムル所ノ者ハ他ナシ、只一ノ惡事ヲ爲サ、ル是
 ナリ、蓋シ一人ノ見テ以テ惡事ト爲ス所ノ者ハ、衆人皆以テ然リトス、學
 校ハ學問ヲ勉メ知識ヲ得ルノ地ナリ、故ニ十分閑靜快樂ナルヲ欲ス、之
 カ妨害ヲ爲ス者ノ如キハ悉皆之ヲ禁セサルヲ得ス、雜話哄笑遊戲等凡
 ソ之ニ類スルノ事、若シ定限ノ外ニ之ヲ爲スハ、學校ニ於テハ一切惡事
 ニ屬ス、君等モ亦此惡事タルヲ知ル、若シ之ヲ許スノ學校アラハ、君等モ
 亦大ニ之ヲ輕侮セン、是故ニ我等ノ社中クラン限リハ、君等モ敢テ之ヲ
 爲サ、ルハ我能ク之ヲ知ル、又我等此室ニ在リテ多少ノ月日ヲ閱セン

トスル者ナレハ其清淨ナルモ亦願フヘキノ甚キナラスヤ我諸君ノ此意ヲ達セント欲シ勉強シテ清淨ノ慣習ヲ成立セントスルヲ信ス諸君各自ニ清淨ノ慣習ヲ得ルニ注意スレハ滿室自ラ清淨ナルコト必セリ故ニ或ハ床上ニ唾シ或ハ物品ヲ投擲シ或ハ室ノ内外ヲ汚穢ニスルノ事ハ我カ督促ヲ待タズシテ諸君自ラ之ヲ禁スルハ決シテ我カ期望ニ背カサルヘシ怠惰ニシテ出校ノ定限ニ後ルコト勿レ朋輩相互ニ信義ヲ盡セ校中ニ在テハ學ヲ勉メ内外ニ於テ常ニ從順ヲ主トシ禮節ニ違フコト無クシテハ君等ノ進歩ハ疑ナク又君等ノ幸福ヲ致ス所以ノモノハ即チ我カ快樂ノ基ナリ君等ヲ導クハ我カ勉勵スル所我カ不屈ノ目的ハ君等真正ノ福祚ヲ求ムルニ在リ決シテ君等ヲシテ不正無益ノ勞ニ服セシメザランコトヲ欲ス我カ君等ニ要求スル所ハ惟ク快ク我カ欲スル所ニ從フニ在リ是レ他ナシ即チ我カ前ニ示セシ所ノ簡易

ノ一規則ヲ守ルニ在ルノミ、前ノ如キ揭示ヲ爲ストキハ其效驗實ニ著ク忽チ愉快ノ感化ヲ生スヘシ然レトモ決シテ之ヲ以テ其爲スヘキ所ヲ盡セリトス可カラス生徒中或ハ教師ノ意ヲ度リ何處マテ罰ヲ免レ得ヘキヤヲ試ミント欲スル者固ヨリ之無シトセス若シ斯ノ如キ者アラバ忽チ之ヲ抑遏シ適宜ノ方ヲ以テ嚴ニ法規ノ犯ス可ラサルヲ知ラシムヘシ蓋シ教師タル者ハ十全ノ懲怒力ト親切トヲ兼テ確乎タル決心ヲ示サハ可ラス制御ヲ行ハント欲スルニ粗暴苛刻ノ處置ニ據ルヲ要セス又必シモ鞭策ノ威ヲ假ルヲ須ササルナリ或ハ虛喝ノ高聲奮怒ヲ發スルモ少クモ其真威ヲ増スニ足ラス此ノ際ニ於テ望ム所ハ只判決敏捷目的確定處置一貫ニ在ルノミ法簡ナリト雖モ其漏ラサハルコト天網ノ如ク若シ好シテ之ヲ犯スモノハ其罰ノ及フコト天命ノ遺ル可ラサルガ如クナレ

凡ソ聲音ハ温和中ニ嚴肅ノ氣ヲ存スルヲ以テ、大ニ人心ヲ制御スルコ
 足ルモノアリ、其人ヲ威服スルコト、激烈ノ言語ノ遠ク及ハサル所ナリ、
 顔色モ亦然リ、故ニ教師其制御ノ宜ヲ得ント欲セハ、必自ラ粗暴ニ過ク
 可カラス、校中ノ整齊ヲ得ント欲シテ叱聲ヲ發スルノ繁キニ過クレハ、
 遂ニ盛怒ヲ發セサルヲ得サルニ至ルヘシ、況ンヤ叱吒ヲ費シテ得タル
 所ノ整齊ハ、其存在スルノ力モ亦久シカラサルヲヤ、又或ハ懲罰ヲ用井
 スレテ整齊ヲ保セント欲シ、無益ノ思慮ニ氣力ヲ費シテ其肺肝ヲ損ス
 ルニ至ル者アリ、是レ懲罰ヲ欲セサルノ良意ニ出ヅルト雖モ、亦行ハル
 一カラス、且ツ夫レ十全ノ整齊ハ最モ得易ク又保シ易キモノナレトモ、
 斯ノ如クニ事ヲ中間ニ爲スハ、其功舉ラサルノミナラス甚ク爲シ難キ
 所ナリ、

然ラハ則善良ノ制御方ヲ得ント欲スル如何ヲテ正ニ可ナルヤ、曰ク諸
 般ノ方法固ヨリ依頼セサル可ラス、懲罰モ亦之ヲ用井サルヲ得ス、然レ
 トモ先ツ其人ノ性質ヲ知り其事ノ情態ヲ察シテ、而シテ後斟酌シテ之
 ヲ用井ルヲ要スベシ、同一ノ方法ヲ以テ異様ノ事態ニ施シテ、一様ノ效
 能ヲ得サルノ理ハ特リ教育ノ事ノミニアラス、二種ノ草木其形相似タ
 ルヲ以テ一様ニ之ヲ培養セハ、其一ハ繁茂シ其一ハ枯凋スルヤ必セリ、
 動物界ニ於テモ亦然リ、少年ノ一醫生、英人ノ熱病ヲ疾メル者ヲ診シ、雞
 鶏ノ煎汁ヲ食スルヲ許シ幸ニシテ其病癒ユリ、是ニ於テ其手簿ニ記
 シテ曰雞鶏ノ煎汁能ク熱ヲ治スト、後久シカラステ佛人ノ同病ニ罹
 レルモノニ逢ヒ、前ノ處方ヲ施セバニ其人忽チ死セリ、乃チ又手簿ニ記
 シテ曰雞雞ノ煎汁能ク英人ノ熱ヲ醫ス、然レトモ佛人ヲシテ之ヲ飲マ
 シムレハ其死ヲ促カスト、噫此ガレンジノ弟子ハ事情ニ通セ

サル者ト謂フヘシ、
 凡ソ制御ノ術ハ、若シ之ヲシテ十分ニ行ハレシメント欲セハ、必ス威權
 ニ由ラサル可ラス、威權トハ、已ムテ得サルニ臨ンテハ、嚴刻ノ方法ヲ用
 事モ強迫スヘキ權義ヲ謂フナリ、教場ノ制御モ時トシテハ罰ヲ施ス
 ヲ要ス其罰タルヤ一ナラス、眼ヲ瞋ラスモ罰ナリ、叱責ノ語モ亦罰ナリ、
 肉身ノ罰ノ如キハ我輩ノ大ニ好マサル所ニシテ、已ムテ得サルニ非サ
 レハ之ヲ見サラシムテ欲ス、然レトモ之ヲ施スノ權ハ、尙教師ノ手ニ把
 握セサルヲ得ス、生徒ヲシテ只此權アルヲ知ラシムルノミコトモ、其畏
 服ノ益アルコト實ニ大ナリ、其事ハ異ナレトモ其說ハ之ニ同キ、シヤ
 コブ、アボウトノ明論ナリ、今之ヲ左ニ掲ク、
 合衆國ノ政府銃砲ヲ製造スル爲メニ、スプリングフィールド及ヒハアブ
 ス、フエリイニ於テ數百ノ職人ヲ使役ス、其成ル毎ニ檢官一々之ヲ閱

シ、再三火石ノ機關ヲ試ミ其閃光ノ適度ヲ以テ止ム、其他諸部一切完全
 スルニ至レハ、之ヲ箱中ニ納レテ永世無事ノ倉庫中ニ藏ス、實ニ此倉庫
 ノ恐ルベキハ恰モ煙ヲ蓄藏セル噴火山ノ如シ、然レトモ未ダ嘗テ其發
 火セシコトナキハ真ニ大幸ト謂フヘシ、當時政府ノ租稅ヲ催促スル者
 ハ敢テ銃砲ヲ攜ヘス、又兵士ヲ率キ、來テ禮ヲ盡シ敬ヲ致スコト尋常
 ノ人ニ異ナルコトナシ、サレトモ若シ頑民アリ其當サニ出スヘキ所ノ
 モノヲ與ヘスシテ、之ニ抵抗スルトキハ大軍陸續トシテ至リ數十萬ノ
 銃砲一時ニ轟發ス、國中ノ人皆能ク之ヲ知ル是レ其敢テ國法ヲ犯サ、
 ル所以ナリ、此ノ時ニ當リテハ合衆國ノ政府、恰モ不測ノ運動力ヲ以テ
 急轉スル所ノ大機關ノ如クナレドモ、其平生國民ニ接スル所ノ部分ハ、
 或ハ職人ノ活潑タル動作トナリ、或ハ徐ロニ動ク所ノ車輪トナリ、一モ
 其眞面目ヲ顯ハサス、之ニ從ヘハ平穩安樂ノ事ヲ爲シ、之ニ逆フ者アレ

ハ忽然激動破裂シテ塵粉スヘシ。
 教師モ亦斯ノ如キ權柄威力ナクシハアル可ラス、サレトモ尙ホ武庫ニ
 藏スル所ノ兵器ト同シク己ム可ラサルノ事アルニ非サレハ、永久之ヲ
 無用ニ屬セシムルヲ得ヘシ、蓋シ教師父母タル者少シク思慮判決ヲ用
 キ、己ノ言行齟齬スル所ナカラシメ、父親切ノ意ニ出テタル確然、不變ノ
 決意ヲ示シ、行フヘキノ事ハ嚴密敏捷ニ之ヲ行フノ風ヲ成サバ、其權柄
 威力ヲ過用スルヲ要セサルヘシ、
 自家ト學校トヲ論セズ、屢々叱責鞭笞ヲ用キレハ、頑惡ナル兒童ハ益々之ヲ
 惡ニ驅リ、善良ナル兒童モ之ニ狎レシムルニ至ルノミ、
 爰ニ一奇談アリ、一鍛工其子ニ己ノ工業ヲ教フルコト甚ク嚴ニシテ鞭
 笞屢加フ、一日鑽ヲ鍛ヘテ其欲スル所ノ度ニ至ルヲ得ス、其子偶々傍ニ行
 立シテ之ヲ見タリシカ、平生幸甚シテ實驗上ニ得タル知識ヲ以テ、父ニ

與ヘント欲シ親切ニ呼ハリ告テ曰ク阿爺宜シク一馬鞭ヲ加フヘシ、以
 テ效ナクシハ遂ニ望ム所ナシト、
 人ノ大ニ注目スル所ノ肉身懲罰ノ一事ハ、余カ持論ヲ誤解セサランコ
 トヲ欲ス、余思フニ是レ全ク廢スベキニ非ズ、亦屢々之ヲ用キル可キ者ニ
 アラス、余實ニ一ハ以テ學校ノ爲ニシ、一ハ以テ罪ヲ犯セル生徒ノ爲メ
 ニ謀リテ、其嚴科ヲ蒙ラシムヘキ地位アルヲ信ス、是レ當時ニ於テハ忍
 難キ所ナレトモ、苟モ之ヲ施ス其肯綮ニ當レハ其將來ヲ益スルヤ大
 ナリ、然リト雖モ鞭笞ヲ用キルハ決シテ粗暴忿怒ニ出ツ可ラス、世間往
 々少兒ノ微瑕ヲ以テ怒ヲ作シ、杖ヲ執ルノ教師並ニ父母アリ、此處置ノ
 惡シキ疑フヘキモノナシ、但シ此極度ヲ惡シトスルヲ以テ他ノ極度ヲ
 善シトスルコト勿レ、現今ノ事情ニ於テハ是レモ亦同等ノ弊害ヲ免レ
 サルナリ、

鞭答ハ、過失アル毎ニ輒ナ用サレ可ラサルハ勿論ナリ、而シテ罕レニ之ヲ用サレハ鞭答ノ效驗更ニ大ナリ、但シ教師之ヲ用サレアルトキハ、平氣和聲シテ、其場ノ景況之ヲ用サレ得サル所以ヲ説明セ、犯人及ヒ衆生徒ヲシテ、教師ノ此ニ至ルハ實ニ職分ノ己ムヲ得サルニ出ツルヲ知ラシムヘシ、斯ノ如ク之ヲ用サレ所以ヲ示シタル上ハ、嚴ニ相當ノ罰ヲ與ヘテ救ス所ナク、以テ罪人ヲ威服セシメ、法ヲ犯ス者ハ必苦楚ヲ受サレ得サルノ大義ヲ諸生ノ心裏ニ銘スヘシ、

教師右ノ如ク情意ノ切ナルヲ示シテ、生徒ヲ罰スルハ決シテ惡意ニ出テサレ得ラレメハ、其效驗大抵徒爾ニ屬セサルモノナリ、

整齊ノ實ヲ得ント欲セハ、自家學校ヲ論セス、生徒ヲシテ堅ク一定ノ規約ヲ守ラレメサル可ラス、而シテ務メテ溫和ナル方便ニ因テ之ヲ得ンコトヲ欲ス、而シテ(實際上大抵我カ欲スル所ヲ得ルヲ見ル)且ツ世常ニ

言フ鞭答ハ禽獸ヲ御スルノ法ニシテ、決シテ人ニ施スヘキ者ニ非スト、然レトモ万一已ムコトヲ得サルノ事情發スルニ於テハ、此等ノ説ニ籠絡セラル可ラス、童子若シ自己ノ情慾ニ役セラレテ當然ノ法則ヲ顧ミス、其行クヘキノ道ニ由ラスシテ却テ禽獸ノ行ニ陥ラハ、則我モ亦豈ニ之ニ應スル所ノ具ナカレ可ケンヤ

教場ノ穩靜ヲ欲スルモ、教師何ソツ自ラ屢々大聲ヲ喧シクスルヲ須サシ、生徒若シ騷擾シテ安着セサルコトアラハ、一時教授ヲ止メテ以テ一座ノ鎮靜ナルヲ待ツヘシ、若シ之カ爲メニ空シク時間ヲ費スヲ患ヘハ、少シク授業ノ時限ヲ延ヘテ可ナランノミ、サテ此待鎮法ハ其效時トシテハ人ヲ驚カスニ足ルモノアリ、スプリング、フギ、ド上等小學ノ教頭ニ任スル老練有名ノバリ君、此法ヲ論シテ曰ク、一時授業ヲ停メ未ク一分時間ヲ經スシテ、坐上忽チ時規廻旋ノ音ヲ聞クニ至ルハ、實ニ奇ト稱

スヘシ蓋シ生徒若シ斯ノ如キ經驗ヲ經ルニ非サレハ多クハ靜鎮ノ何物タルヲ知ラス又己ノ所爲ノ騷擾ナルヲ悟ラサルナリト、
 又教師其制御ノ法ニ於テ終始平均ナラザル可ラス今日ハ嚴ニシテ昨日ハ寬ニ先ニハ之ヲ咎メスシテ後ニハ之ヲ罰シ或ハ昨日ニ行フヘキ者ヲ今日ニ遲延スル等ノ一定ナラサル事アリテハ生徒焉クソゾ教師ノ判決ヲ信スルヲ得ンヤ、生徒ハ教師ノ教授若シクハ制御ニ於テ一ノ違例アルトキハ其之ヲ見出スコト甚ク敏捷ナリ故ニ不一定ノ處置ヲ爲スモ實際上少シクモ害アルコトナシトハ夢想ス可ラス、
 或人ワシントンノ母ニ如何シテ其子ノ良性ヲ成立シ得タルヤト問ヒシニ答テ曰ク他ナシ、幼少ヨリ從順勉強信義ノ三事ヲ教フルヲ勤メタルノミト夫レ彼ノ善良英邁ノワシントンヲ成育スルノ三事ナラハ今日ノ少年ヲ成育スルニ緊要ナル固ヨリ論ヲ須クス、ア、世ノ教師タル

者若シ先ツ兒女ヲシテ從順ナラザルメスンハ之ヲ教フルモ何ノ益アラシヤ、

シロセフ、ホウル曰ク凡ソ小年ノ上ニ立ツ者ハ彼ノ法外ノ自由ヲ欲シテ厭クコトナキノ念ハ早ク之ヲ禁セサル可ラス教師タル者ハ殊ニ然リ、夫レ他人ノ支配ヲ受クルコト能ハサル者ニシテ安ソゾ眞正自由ノ根脚タル、躬自ラ支配スルノ術ヲ能スルヲ得ヘンヤ兒童タル者其制御法ノ寬ニ狎レ何等ノ惡業ヲ行フモ力制セラル、ノ恐レナシトスルニ至リテハ成長ノ後放肆無厭ナル情慾ノ奴隸カラサルヲ欲スルモ得ヘカラサルナリ、是故ニ幼少ノ時ヨリ法則ヲ遵奉セシムルヲ甚ク切要ノ事トナス、教師タル者專ラ其良心ノ指揮ニ從ヒ眞學ノ理ニ基ツキテ、正シク其教フヘキモノヲ教ヘ、堅ク其制御スヘキ所ヲ制御シ、決シテ滔々タル世上ノ浮説ニ惑フコト勿レト、

余別ニ此旨趣ヲ長論セズシテ、教師ノ指南トナルヘキ數條ノ簡明ナル定則ヲ舉ゲテ、能ク此則ヲ守ル者ハ、苛酷ノ罰ニ據ラスシテ其目的ヲ達スルヲ得ヘシ、余此定則ノ作者ヲ知ラサレトモ、得ルニ從ヒ剛正ヲ加ヘスシテ、之ヲ掲載ス、但シ義ヲ害セサル一二ノ文字ノ變更ハ、例外ナリ、

教師ノ守ルヘキ定則

- 第一、 生徒ノ縁ヲ結ブノ初メヨリ、便チ生徒ヲシテ信順敬從ノ必要ナルヲ知ラシムヘシ、
- 第二、 嚴格ト寛裕トヲ兼チヨ、又常ニ言フ所ハ必ス之ヲ行フヲ示スヘシ、
- 第三、 能ク之ヲ踐ミ得ルノ定見アルニ非サレハ、決シテ約チ定ムルコト勿レ
- 第四、 生徒ノ之ヲ爲スヲ知ラサル事ヲ強ヒテ之ヲ爲サシムルコト勿レ

レ、又之ヲ爲スヲ教ヘテ之ヲ監スル能ハサル事ヲ勸ムルコト勿レ、

第五、 知リテ犯ス者ハ必ス之ヲ罰セヨ、然レトモ怒ニ乘シテ或ハ其當ヲ誤ルコト勿レ、又決シテ頭頂ヲ打擲スルコト勿レ、

第六、 生徒ノ故ヲ以テ怒ヲ作スアルモ、之ヲシテ其色ヲ見セシムルコト勿レ、又自ラ懲ラスノ力ヲ失フ可カラス、

第七、 生徒怒ヲ含ミ或ハ氣色ヲ變スルコトアラハ、其自省スルヲ待チ、而ル後ニ其行事宜キヲ失フヲ責ムヘシ、

第八、 生徒ノ大ニ怒リ、或ハ涙ヲ垂レテ、教師ヲ誑カントスルニ逢ハ、決シテ其罪ヲ假スコト勿レ、慈心無カル可ラサルモ亦其正キヲ失フ可ラス、

第九、 其或ハ罪ヲ犯ス者ハ、之ヲ威スニ汝再犯セハ重罰ニ處セント曰

フチ以テスルヨリ、目下輕法ヲ用キルノ功アルニ若カス、
第十、一タビハ之ヲ禁セシモノヲ、時ノ異ナルヲ以テ之ヲ赦スコトアル勿レ

第十一、聲譽ヲ世間ニ得ント欲セハ、眞ニ善良ノ道ヲ行フニ若クハ無キコトヲ教フヘシ、

第十二、儕輩ノ惡テ道ヲ禁スベシ、

第十三、生徒若シ教師ノ信用ニ負カハ、言語容止ノ際須ラシク其之ヲ失ヘルヲ知ラシムベシ、

第十四、眞ニ之ヲ悔悟スルヲ見ルトキハ、決シテ既往ノ過ヲ語ルコト勿レ、

第十五、其方法ヲ悉シテ、勉強、從順、耐忍、親切、寬裕、正直、信義、潔白、恭順ノ氣像ヲ勸奨セヨ、

第十六、謹ンテ粗暴ノ言ヲ用キル可ラス、常ニ温和ノ音調ヲ以テ告語ス可シ、教師或ハ言語ノ激烈ナルニ因リテ其目的ヲ誤ル者アレバナリ、

第十六節

生徒及ヒ雙親ヲシテ、意ヲ用キシムルノ方法ヲ論ス

教育ノ事務タルヤ、三種人ノ力ヲ集メテ之ヲ爲ス者ナリ、之ヲシテ眞ニ益ヲ得且ツ進歩アラシメント欲セハ、其之ニ關ル者皆協心戮力スルニ非サレハ能ハサルナリ、教師雙親及ヒ生徒ハ即チ此事業ニ關スルノ三種人ナリ、其主務タル各異ナリト雖モ、互ニ相親睦連結スルニ非サレハ、教育ノ功績焉ゾ能ク善美ヲ盡スコトヲ得ンヤ
故ニ教師タル者奮勵勉力、其階伴タル生徒ト雙親トヲシテ、適宜ニ意ヲ用キルニ至ラシメサル可ラス、予此篇ニ於テ、之ヲ關スルノ教ヲ授ケン

トス、前篇ニ掲クル所ノ條件ヲ以テ己ノ身ニ收メ、又之ヲ實事ニ施シ且ツ其職任ヲ重スルコト衷心ヨリスベシ、教師タル者其職務ニ切要ナル德行文學ヲ既ニ其身ニ收メ、而シテ又能ク人ヲ教授スルノ才力アルニ非サレハ、生徒及其雙親ヲシテ意ヲ教育ニ用井テ倦ム無カラシムルコト、固ヨリ期ス可ラサルナリ、況ンヤ教師ノ其職務ニ適スルノ德行文學ニ乏シク、或ハ之ニ應スルノ誠心ヲ闕クトキハ、共ニ相接スルノ人モ亦闕乏ノ患ヲ免ル、能ハサルヘシ、之ヲ譬フルニ教師ハ猶ホ湧泉ノ如クニシテ而シテ生徒ハ之ヲ汲ムノ人ナリ、若シ水或ハ枯渴シ或ハ汚濁スルコトアラハ、其之ヲ汲ム者豈ニ其患害ヲ蒙ラサランヤ、教師ハ先ツ其職務ノ何物タルヤヲ辨知セサル可ラス、日々生徒ト會シテ、其爲メニ爲スヘキ所ノモノハ、徒ニ己ノ博識ヲ以テ彼等ニ及ボスノ

ミニ止マラス、又善行ノ模範ヲ示シ身ヲ以テ之ヲ導ヒキ、深切温和親愛ニシテ確然ノ心ヲ備ヘ、其事ト時トヲ問ヘス、常ニ眞人ノ氣象アルヲ顯ハスヘシ、生徒ノ爲メニ利益ヲ謀ルコト懇切ニシテ、其欲スル所ヲ得セシメ、以テ其快樂ヲ進メントセハ、勇往力行敢テ後顧セサルヲ示スヘシ、然ラハ則之ヲ爲スコト何如シ、一、知ヲ究メ力ヲ盡シテ、意ヲ生徒ノ學業上ニ用井ル、教場ノ業ハ、從來樂ムベカラサル事ノミ多キモノナリ、故ニ前條ニ論セシ如ク、教師果シテ種々ニ心ヲ盡シ、之ヲシテ近ツキ易カラシムルモ、若シ生徒ニ耐忍勉強ノ力アルニ非サレハ、焉ンソ其成立ヲ期センヤ、教師ハ生徒ノ業ヲ助ケ之ヲ和ケテ以テ爲シ易クシ得ヘク、亦務メテ爲シ易クセサル可ラスト雖モ、生徒ニ代リテ其爲ス所ヲ爲スヲ得ス、當今世人ノ謬誤最モ甚シキハ、何等ノ學課ヲ論セス、十分簡易ニ爲シ得ヘシトスル

ニ在リ、學校ノ全業百課悉ク之ヲ簡易ニセント欲スルハ、理ニ於テ能ハ
 サル所ナリ、若シ必ス之ヲ遂ケント欲セハ、却テ其目的ヲ誤ルヘシ、尤モ
 教育ヲ達スルコトハ固ヨリ苦學熟思セサル可カラズ、故ニ生徒ヲシテ早
 ク此味ヲ知ラシムルコト甚ク緊要ナリ、生徒ハ只能ク之ヲ知ルノミナ
 ラズ、又須ラク之ヲ以テ歡樂ト爲スニ至ルヘシ、蓋シ困難ヲ冒シテ己レ
 ノ欲スル所ヲ得ント欲スルハ、樂亦自ラ其中ニ在リ、殊ニ其得ント欲ス
 ル所ノ者ノ貴重切要ナルコト、眼前ニ明瞭タラバ、其味更ニ深切ナリ、故
 ニ今教師ノ注目スヘキハ、生徒ヲシテ學業ノ目的ノ貴重切要ナルコト
 ヲ認知セシムルニ在リ、此ノ如クナレハ、生徒ハ之ヲ得ルノ樂在ルアル
 ヲ以テ、半途ノ困難ハ少シクモ以テ意トセサルニ至ルベシ、大人ノ事ヲ
 爲スニ於ケル皆斯ノ如シ、少年豈ニ亦然ラサルヲ得ンヤ、
 數年前我カ國ノ西陲ニ於テ、金銀鑛ヲ發見セシ報ノ至リシ時、諸人其確

説タルヲ聞キ、一朝故郷ヲ遠リテ、衣食ニ乏シキ僻地ヲ厭ハス、嶮山怒濤
 ノ危険ヲ冒シ、争フテ大平洋ノ海岸ニ趣ク者陸續トシテ雲ノ如ク、今ニ
 至ルマテ猶絶エス、是ヨリ以往モ彼地ニ黄金ノ出テソ限リハ、前人ノ履
 轍ヲ顧ミテ、ソノ骨ヲ踏ミ、其墓ヲ超ヘテ到ルモノ止ム時ナカラントス、
 夫レ損失消滅スル金銀ノ故ヲ以テステスノ如シ、况ンヤ「エルドラド」
 寶玉界ノト雖モ産スル能ハサル、永久不滅ノ至寶ヲ以テ、少年ノ前ニ置
 カハ、誰レカ之ヲ得ント欲シテ、自ラ勉強耐忍ノ慣習ヲ生セサル者アラ
 ノヤ、教師タル者宜シク勉勵シテ生徒ニ示スニ其爲スヘキ事業ノ盛大
 ナルヲ以テシテ、其得ヘキ目的ノ眞價ハ寶玉ニ勝ルヲ識ラシメ、又論ス
 ニ自力ノ憑信スルニ足ルヲ以テシテ、知識ヲ得ルカ爲メニ大ニ艱苦ス
 ルヲ、其樂トナスノ地位ニ至ラシメ、果シテ能ク其達スヘキ目的ノ實
 境ヲ把テ、生徒ノ目前ニ示サバ、生徒タル者誰カ狂奔シテ其地ニ至ルヲ

欲セサランヤ、但シ教師ハ更ニ平凡ノ課業誦讀ヲ脩飾シテ、多少ノ色澤ヲ着クヘシ、巧妙ナル釋明ヲ加ヘ、笑フ可クシテ味アル奇話ヲ交ヘハ、大ニ生徒ノ氣力ヲ振起シテ其心ヲ爽快ニスヘキナリ。

二、教場ヲシテ快活ナル樂土ヲラシム。

全校ノ生徒必ス教師ノ意向ニ歸ス、故ニ教場ニ於テハ生徒ヲシテ、何如ナル氣象ヲラシメント欲スルモ、皆教師ノ欲スル所ノマヽナリ、夫レ教師頓覺シテ學校ニ出入シ、其此ニ留ルノ間常ニ不平苛虐ノ意ヲ恣ニセハ、生徒モ亦必ス之ニ倣フテ、放肆邪侈ナラン、之ニ反シテ、教師快活ノ顔色ヲ作シ、寬裕樂怡ノ心ト、又之ニ副スルノ言語舉動ヲ以テセハ、生徒ハ自ラ穩當愉快ノ性ニ化シ、教場モ亦從フテ一ノ大樂土ト爲ルヘシ、此ニ由テ之ヲ觀レハ、教師タル者、其溫柔ノ氣性ヲ長シ、其懇切ノ心志ヲ養ヒ、以テ之ヲ言行ノ際ニ示スノ重要タル固ニ知ルヘキノミ、嗚呼教師タル

者謹シテ、生徒ハ教師ノ爲メ所ヲ爲スノ語ヲ忘ル、コト勿レ

三、生徒ノ操行ヲ正フスルニ勉勵セハ、教師以テ其協力ヲ得ヘシ。

世ニ處スルニ眞正愉快ノ道ニ由ラントスル者ハ、必ス先ツ人生大旨ノ在所ヲ知り、又能ク其分ヲ盡シ其任ニ堪ヘント欲スルノ志ナカレ可ラス、是ヲ以テ教師タル者、生徒ヲシテ其生々スル所以ノ目的ハ、甚ク大且ク重ナルヲ知ラシムル最モ緊要ナリ、務メテ人ノ人ニ對シテ天ニ對スルノ義務ト、又國民タルノ職分アルコトヲ辨明セヨ、而シテ眞善ト眞福トハ互ニ相離レサルモノニシテ、誠實ニ生徒ノ生徒タルノ道ヲ踐ミ、又其朋友父母及ヒ路人ト雖モ、之レカ爲メニ善事ヲ行ヘハ、其報應皆己レカ幸福ト益世ノ功トニ歸スルノ理ヲ悟ラシメヨ、又言語ヲ詳カニシ、踐行ヲ實ニシテ、信ヲ重シ直ヲ好ミ、心ヲ立ツル廉潔ニシテ、禮ニ從ヒ義ヲ守リ、行爲盡ク雅正ナルニ至ラシメヨ、教師苟モ其功ヲ奏シ、生徒ノ操行能

此ノ如クナルヲ得ハ、雙親生徒ヲシテ最上ノ協力ヲ爲サシムルニ於
 テ何ノ難キコトカ之アラソ、
 四、教師生徒ノ質朴ナル遊戯ヲ勸誘シ又示スニ一切ノ苦樂ヲ相共ニ
 スルノ意ヲ以セハ、學業上ニ於テモ亦大ニ奮勵力ヲ生スヘシ、
 人ノ心ハ常ニ活動ナルモノアリ、故ニ年少ノ時ハ、衣食ノ念職務ノ累等
 ノ之ヲ束縛スルモノ少ナキヲ以テ、動モスレハ遊戯ノ事ニ就キ易シ、少
 年ナル者ハ實ニ一種奇異ナル無心ヲ以テ戲嬉ニ耽ルモノナリ、此際ニ
 當リテハ、父母或ハ教師ノ之ヲ監スル者其爲サント欲スル所ヲ禁スル
 ハ甚ク難キノミナラス、又反テ害アリ、故ニ唯其善惡ヲ辨別シテ、其惡シ
 キニ陷ルモノヲ制スルノミ、其當時ニ害ナク又將來ノ弊ナキ者ハ、教師
 父母之ヲ勸誘シテ可ナリ、世人多クハ小童ノ遊戯ヲ以テ、無益ニシテ徒
 ニ大人ノ妨害タルノミトスルハ亦誤ンルノ甚シキ者ト謂ヘシ、教師ト

ナリテ生徒ノ愛慕ヲ得ント欲セハ、必ス目ヲ瞋ラシテ遊戯ノ場ニ臨ム
 コト勿レ、須ラク己レカ少年ノ時ヲ回顧スヘシ、亦今ノ生徒ノ如ク、課業
 餘間ヲ數分時無心ノ遊戯ニ費シナラスヤ、今之ヲ叱止センヨリハ寧ロ
 之ニ向フニ怡々ノ顔色ヲ以テシ、本來惡カラサル遊戯ハ盡ク之ヲ許ス
 ノ意ヲ示スヘシ、只其禁止スヘキハ、些少ナリトモ教ニ害アル等ノ惡キ
 方ニ偏スル者ト、又飽マテ遊戯ヲ貪ルノ念トノミ、之ヲ除クノ外ハ、教師
 モ亦生徒遊戯ノ友タルコト、猶其學業ニ於ルカ如クシ、教場ノ勉強ヲ助
 シルノミナラス、一切之ト苦樂ヲ共ニスヘシ、若シヨク、斯ノ如クナラハ、
 生徒ヲシテ教場ノ業ヲ勉メシムルコト甚ク易ク、從ツテ生徒ノ爲メニ
 スル所ノモノモ亦徒勞ニ屬セスヲ、大ニ其功ヲ奏シ、且ツ己モ亦心ニ
 慊キヲ覽ユルニ至ラン、
 予前條ニ於テ、教師其生徒ヲシテ意ヲ教育上ニ用井ルニ至ラシムルノ

方法ヲ論セリ、今又其雙親ヲ奮勵セシメテ、之ヲ扶持セシムルノ一二條ヲ舉ケントス、但シ先ツ一言スヘキ事アリ、總テ生徒ヲ奮勵セシムルモ、ノハ、雙親ニ於テモ亦大ニ效驗アリ、其實ハ雙親之ト共ニ振起セザレハ、生徒獨リ自ラ振起スルコト能ハス、是故ニ雙親ヲシテ奮勵セシムルモノハ亦必ス能ク生徒ヲシテ奮勵セシム、是ヲ以テ之ヲ論スレハ、兩者ノ中其一ヲ勵マヌハ、即チ其兩者ヲ勵マス者ト謂フテ可ナリ、サテ真正無妄ノ教師ハ、教育ノ任ニ臨ミ必ス自ラ問ハントシ、曰ク我今何ヲ以テ我カ生徒ノ父母ノ愛顧ヲ受ケ、其レヲシテ、事務ニ協心セシムルヲ得ベキヤト、則余將ニ能ク往テ之ニ告ケントス、

一、教師ト雙親トノ際ニ於テ、互ニ盡スヘキ職掌ヲ談ヌルカタメ、閑宵ニテ約シテ教場ニ相會スヘシ、

教師タル者ハ須ラク早ク其意思所見ヲ把テ生徒ノ父母ニ通スヘキヲ

欲ス、若シ能ク斯ノ如クナレハ、往々學區中ニ存スル猜疑不平ノ基ト爲ル者、多クハ速ニ除去スルヲ得ヘシ、雙方ノ其志願所見ヲ交々相通スルトキハ、困難ノ事殆ント皆消散スルニ至ラン、而シテ其父母ニ昵近スルノ最モ容易ニシテ且便宜ナル方法ハ、今此ニ掲クル所ノ者ニ若クハナシ、教師少シク意ヲ用キルトキハ、數ヲ盡シテ父兄ヲ會同シ、之ニ重要ナル説論ヲ加フルノ機會ニ逢フテ得ルモ亦難キニ非サルナリ、教師此會席ニ親切明亮ナル言語ヲ以テ己ノ職分ノ在ル所ト其努力ノ限界トヲ論シ、必ス父兄タル者ノ同心協力ヲ要スル由縁ヲ説明スヘシ、臨校ノ時聞テ誤ラサルノ真ニ重要ノコトタルヲ懇々説論シテ、度々闕席スルトキハ、子弟ノ進歩大ニ期スヘカラサルヲ恐ル、ニ至ラシムヘシ、眞實ニ職任ヲ思フノ教師ハ、其生徒ヲシテ有益尊敬快樂ノ地位ニ上ラシメントスルノ大業ニ當リテ、其父兄ノ爲メニ、其父兄ト共ニ勞苦シテ厭ハサ

ルノ志ヲ示スコト甚ク難カラス、蓋シ此業タルヤ、雙親教師相共ニ志行
 チ一コシテ始メテ能ク成ルモノナリ、彼ノ分裂セル家屋ハ倒レサルヲ
 得ス、トイヘルカ如ク、教師ト雙親ト相和セサルトキハ、學校ノ顛覆モ亦
 免ル可ラス、故ニ教師タル者ハ宜シク其雙親ニ請フテ、生徒在校中ノ處
 事ヨリ以テ外他人ニ接スルニ、恭順懇切眞善ヲ以テスルヲ訓フル等ニ
 至ルマテ、皆其無二ノ協力ヲ受ケサレ可ラス、僅ニ一時間ヲ費シテ説示
 スルコト、教場ノ職務ヲ辨シ、雙親ノ教師ニ對シテ切要ナル助力ヲ爲シ得
 ルノ條件ヲ以セハ、其效ヲ得ル大ナルコト實ニ疑フヘキ者ナシ、果シテ
 然ラハ、父兄タル者殆ソト皆願ル所アリテ大ニ奮發勉勵シ、新鮮ノ英氣
 ヲ以テ事ヲ執ルニ至ラン、又教師善ク其生徒ヲ教訓控制セント欲セハ、
 先ツ其人ト爲リテ察シ、且ツ其身ノ形狀ヲ審カコセサル可ラス、二人ノ
 生徒固ヨリ其性質ヲ一ニセス、其家ニ在リテ雙親ニ對スルノ狀モ亦同

是故ニ明ニ其性質ヲ知リ、又其父兄控制ノ方ヲ詳ニスルコトノ重大ナ
 ル論ヲ待タズシテ、明ナリ、今之ヲ知ラント欲セハ、其父兄ニ親接スルヲ
 善クニ如クハホシ、夫レ霎時相會シテ爐頭ニテ語ヲ交フルモ、太ニ益ス
 ルノ事ヲ知り得ベク、又互ニ相勵ムノ念ヲ生スルニ足ラン、然レトモ其
 相告語ニ於テ者マシテ、雙方ニ利スル所最モ多カラシメヨシハ、在校中生
 徒ノ行狀並ニ其進歩ヲ公談セテ、少シクモ忌憚スル所アル可ラス、其臨
 校懈怠ナク慣習正直コシテ、耐忍勉力ヲ旨トナシ、誦誦誤謬少ナキ者ハ、
 之ヲ稱揚シテ隱サレハ、益之ヲ勵マシテ、其憑信ヲ深クスルニ足ルヘ
 ン、若シ其闕席遅刻甚ク多ク、不敬粗暴ノ慣習ニ征レ、而シテ又學業ヲ勉
 勵セズ、惡質ナル者ハ、亦之ヲ公言シテ此ノ所アル勿レ、正直懇切ノ意
 ヲ以テ告タレ所ノ眞事ヲ、必ス善ク遂クルニ足ルモノナリ、且ツ生徒モ

亦其雙親ノ教師ト展相會シ共ニ己レ等カ事ヲ談スルヲ聞カハ各自ラ
 警戒スル所アリテ其令名ヲ父兄朋友間ニ達セシト欲セサル者ハ蓋シ
 幾希ナリ

二、父兄ヲシテ時々學校ヲ訪ハシメハ之ニ關係スル諸人ヲ奮勵セシ
 教師少シク勞ヲ費サハ雙親ヲ教場ニ誘引シテ親シク生徒ノ誦讀勤怠
 ヲ見聞セシムルコト亦難キニ非サルナリ斯ノ如キハ大ニ生徒ノ心ヲ
 引キ立テ教師ヲ勵マシ且ツ之ニ關係スル者ヲシテ奮起セシム生徒ヲ
 勵者其父兄ノ來リテ己レノ誦讀ヲ聽クアリト思ハシ豈ニ特別ニ勉強
 シテ學業ヲ勤メ以テ眼前ニ耻辱ヲ被ラサルコトヲ願ハサル者アリシ
 ヤ然ラハ則一舉ニ能ク三類ノ人ヲ勵マスノミナラス又父兄ヲシテ
 學校并ニ其事務ノ何物ヲモヤチ了知セシムルモノハ實ニ此ノ法ニ若

人或ハ曰ハシ予於以上論述セル所ハ教師ヲシテ分外ノ任ヲ荷ハシム
 職者ナリ然レモ教師ノ此局ニ當ルハ實地上己ムヲ得サル者アリ
 蓋シ其事タルヤ特ニ善ク教育事務ノ情實ヲ明ニシ得ベキヲ以テ教師
 先導ノ任ニ當リ然レモ亦其宜シキヲ得ルコト非スヤ若シ父兄子弟ノ學ニ
 志スル篤カラサルカ或ハ之ヲ誤見スルトキハ之ヲ鼓舞辨明スル固ヨ
 ク教師ノ任ニ在ルノミ今然ラズシテ徒ニ其懈怠謬誤ヲ訴フルハ益ナ
 キノミナラス却テ之ヲ害スルコト譬ヘハ猶其既ニ欽傾スルモノヲ助
 ケテ之ヲ顛覆スルリ至ラシムルナリ是故ニ賢良誠實ノ教師ハ眼下ノ
 實景ヲ度リ之ニ應スルノ最良方ヲ施シ又務メテ其害ヲ去リ其弊ヲ除
 ケ我々トシテ雙親生徒ノ益ヲ謀リ難事ニ逢フテ愈屈セサルノ氣勢アリ
 若シ我々力悉ク之ヲ爲ス能ハサルヲ知ラハ務メテ之ニ近ツカフコ

トテ欲シ其職分已ニ盡ク胸中爽快ナルニ至リテ而シテ後ニ止ミ以テ無量ノ報酬ヲ受クヘキノミ善ク事ヲ爲セント欲シテ倦ムコト勿レ我輩果シテ挽ムナキヲ得バ其時至テ應ニ報ヲ收ムヘキナリ其時第十七節

第十七節 道德ニ關スル教訓ヲ論ス

世人道德ノ教ヲ重ニスルノ心今ニ至ルニ猶未ク深カラザルハ豈ニ危殆ノ甚キ者ナラスヤタトヒ教場ニ在リテ幾卷ノ書ヲ讀マシムルモ之ト共ニ人ノ良心ヲ養ハサレハ其因テ得ル所ノモノ徒ニ其幸福ニ益ナキノミナラズ却テ其災害ノ基トナレハ夫レ身体壯強ヲ極メ才知俊秀ヲ究ムルモ若シ緊要ノ一ヲ闕クトキハ此盛大ニ力悉ク皆禍害ニ歸スヘキナリ其壯強ナルモノハ却テ暴虐ヲ助クルノ具トナリ其俊秀ナルモノモ亦善ニ抗シ惡ヲ謀ルノ用クラン是故ニ人ノ善性ヲ養ヒ

成セシメハ教育ノ業未ダ其功ヲ終ヘタリト爲ス可ラス蓋シ身体知力ノ教育ハ唯能ク其器具ヲ成スノニ故ニ之ヲ管理スルノ良心ヲ研磨セサレハ器具ノ歸スル所未ダ其禍福ヲ知ル可クナリ

忠實ノ教師ハ皆生徒ノ惡ヲ惡ミ善ヲ善ニスルノ意思ヲ養ヒ懇切人情ヲ發スルヲ以テ己ノ職務ト爲シ又以テ其特權ト爲ス而シテ其居所ノ地位モ亦大ニ其志ヲ成スニ便ナルヲ以テ若其任ヲ盡サント欲セハ好機會ヲ得ルヲ亦必ス多カラソ然レドモ教師或ハ生徒ニ授クルニ道徳ノ教ヲ以テセントモ嚴格ニ過クモ若シカラス之ヲ稱シテ苛刻ノ法ヲ用キルト謂フモ可ナリ其爲ス所ヲ熟觀スルニ其事情ヲ同ハス必時限ヲ定メテ日々若干ノ事ヲ行フヲ要スルト爲スモノ如キ故ニ放校ノ際ニ臨ニ脩身口授ノ課ヲ設クモノアリ蓋其不適ナルコト亦甚ク蓋シ兒童終日ノ業ニ倦ミ寸刻モ早ク教場ヲ退カント欲スルニ

當リ焉シテ斯ノ如キ講義ヲ聽クノ耳ヲランヤ、
 教師若シ道德ノ教ヲ授ケ、以テ生徒ノ善心ヲ振起セシト欲セバ、其教ヲ
 撰ムコト宜キコト合ヒ、又之ヲ授ケル其時ヲ得サレ可カラズ、真コ意ヲ用
 事ルノ教師ハ、毎日毎刻中ニ其時アルヲ見シ、輒チ此時ニ乘リテ其真コ
 愛スベク好ミスベキ事ノ何タルヤヲ示シ、又種々ノ惡事ノ懼ルベキ所
 以テ論スベシ、乃チ其訓誨ヲシテ心底ニ徹セシムルコトハ、適宜ノ時ヲ撰
 ムコト最モ緊要ナリ、其レ之ヲ忽ニスルコト勿レ、
 左ニ舉ケル所ノ諸例ハ、右ニ陳述セル趣意ヲ發明スルニ足ルモノナリ、
 其第一ハ、サレドモコト多年教師ヲ任シシオリベシ、君トイヘル人ノ善
 ク其職ニ堪ヘタル時ノ談話ニシテ、此話ハ同人ノ親ク傳ヘタル所ナレ
 ハ、其偽チキコト知ルヘキナリ、
 少年人ノ過誤多キヤ、概チ其思慮ナキコト因リテ生スルモノコトナリ、意

然ルニハ非ラス其道ニ違フヤ之ニ背クヲ欲スルニ非ズ、多クハ知
 ラス識ラズシテ之ニ背クニ至ルナリ、夫ノ長老ノ挂念ヲ顧ミス、動スレ
 ハ其陋癡ヲ嘲侮シ、或ハ其羸弱ヲ笑フカ、如キニ至リテハ、兒童ノ所爲ト
 雖モ、恕ス可カラザル者アリ、蓋シ此モ亦戯論シテ一時ノ快ヲ取リ、興
 乘シテ自ラ善惡ノ分界ヲ失フニ至ルナルヘシ、然レトモ先賢ノ語ニ、少
 年者ノ貴フ所ハ其強壯ナリ、老人ノ美トスル所ノモノハ其白頭ナリト
 イヘリ、則チ豈ニ少年ノ強壯ヲ以テ、老人ノ美ヲ保護セサル可クゾヤ、
 白頭ノ老翁ハ其外形ノ何如ニ關セズ、當ニ尊ムベキモノトナス、之ヲ侮
 レ可カラズ之ヲ笑フ可カラズ、其衰老セル形狀ハ、即チ多年辛勞ノ餘休
 ヲ保ツモノナレト思念スベシ、
 次ニ掲ケル所ノ眞話ハ、今述ブル所ノ實例ナリ、且ツ以テ思慮ナク犯ス
 所ノ過誤モ、其報ノ來ルハ意外ニ速ナルノ義ヲ曉ラシム、嗟世ノ諺ニ「不

正人ノ眠ヲ覺マヌトハ此等ノ話ノ謂ヘルナルベシ
 今ヲ去ル未ダ久シカラサル事ナルガ新英吉利中最モ人口多キ一都邑
 ニ於テ一日學童相集リテ乘雪車ノ大會ヲ催セリ之ニ與カルモノ凡ソ
 三十人計ニシテ其乘リ所ノ巨大ノ雪車ハ壯悍ナル六匹ノ馬ニ駕セ
 リ幸ニ此日ノ午後ハ天氣清朗ニシテ人皆最上ノ娛樂ヲ得タリ蓋シ斯
 遊戯ハ本校ノ常例ニシテ教師モ之ヲ偕ニスヘキヲ本日ハ已ムヲ得サ
 ル事故アリテ其社中ニ入ラサリキ翌日ニ至リ教師學校ニ出席シテ生
 徒等カ暖爐ノ邊ニ集リテ愉快ニ昨日遊戯ノ樂ヲ談スルヲ見タリ教師
 暫ク默シテ之ヲ聽キ居タリ俄カ尙仔細ニ其狀ヲ尋テシカハ一人ノ少
 年顔色麗ク容止淡雅ニシテ英邁ノ氣アル者進ミ出テ其詳細ヲ語り
 種々ノ奇事ニ至ルマデ一モ遺ヌ所ナシ蓋シ此少年モ其志操ハ正シカ
 ラズ雖モ遊戯好ムトモ度ニ過キ時トシテハ邪路ニ陥ルコトアリ

トイフ

彼ノ少年談話ノ將ニ終ラントスルトキ又端ヲ更メテ告テ曰「ア、先生
 尙話ス可キ一小件アリ小子殆ソド之ヲ忘レタリ既ニシテ日モ漸ク暮
 ニ近ツキケレバ馬頭ヲ廻ラシテ歸路ニ向ヒケルニ遙ニ異形ノモノア
 リテ途上ニ横ハルヲ見タリ我等皆其何物タルヲ確知スルコト能ハス
 只以テ怪物ト爲シ次第ニ近ツキテ之ヲ諦視スレバ緩行セル架屋馬車
 ノ後ニ敝陋ナル雪事ヲ繫縛シタルモノナリ其主人ハ公道ノ妨ヲ爲
 ツ、少シモ我輩ヲ避クルコト爲サズ是ニ於テ我輩一同ニ之ニ向フテ
 雪圍ヲ連抛シ大聲ヲ發シテ之ヲ恐嚇センコトヲ決意セリ
 己ニシテ我輩皆競フテ之ヲ爲シ、カバ意外ノ效驗ヲ奏シ麻瘦骨立ノ
 小馬ハ蓋地ニ跳躍シ半壞ノ車ヲ路傍ノ雪中ニ陷没セリ我輩直ニ其
 側ヲ過キリ一人ノ鞭ヲ携フルモノヲシテ彼ノ見苦シキ老馬ヲ痛ク打

タシムルニ其馬更ニ疾ク馳セシニ乗シテ又其前面ヨリ雪ヲ抛テ三タ
 ビ凱歌ヲ奏シテ直チニ超乗ス時ニ彼ノ馬車中ニ古ルキ帽子ト汚レタ
 ル上衣ヲ着ケタル老老者ハ、纒繩ヲ失ヒ怒リ呼ンテ曰君等何ノ故ヲ以
 テ我が馬ヲ恐嚇スルヤ何故ニ道ヲ避ケザルヤト是ニ於テ我輩又凱歌
 ヲ奏スルコト三ツビ、彼ノ馬又大ニ驚キ山ノ如クニ物ヲ積ミタル牛車
 ノ方ニ向ツテ疾馳セリ我輩ハ遂ニ其地ヲ去リタレバ其後ノ狀ヲ知ラ
 スト雖モ彼ノ老人ノ乘リシ馬車ハ思フコト牛車ノ爲メニ傾覆セラレシ
 ナラン、

教師ハ耳ヲ傾ケテ之ヲ聞キ終リテ曰善シ是レ眞ニ偶然ノ事ニ君等且ツ
 座ニ着ケ禮拜終ラハ我モ亦乘雪車ノ一話ヲ君等ニ語ラント、
 是ニ於テ聖經ノ一篇ヲ讀誦シ又一同上帝ノ祈請終リケレバ教師乃チ
 學生ニ語ツテ曰、

昨日午後ノ事ナリシカ最モ殊勝ナル老僧ノ其子ノ家ニ適キテ此殘冬
 チ過サントホストンヨリサレエムニ向フテ行ク者アリ其人春時ニ至
 リナハ適意ノ旅行ヲセントノ用意アリテ自ラ馬車ニ打乘リ雪中使用
 スル所ノ雪車ハ之ヲ其後邊ニ繋ケリ此法師年最モ老イテ身体最モ衰
 へ頭上數莖ノ殘髮ハ恰モ雪ヲ欺キ耳目共ニ頽齡ニ隨テ意ノ如クナラ
 ス車ニ駕セル馬モ主人ト一様ニ老衰セシ者ニテ特ニ緩々地ニ前ミ去
 レリ老人ハ路スカラ往事ヲ追憶シ或ハ若年ノ時國ノ自由ヲ失ハセシ
 トテ身ヲ抛テ戰ニ赴キシ事又ハ學校ニ在リテ親シク相交ハリシニ、
 今ハ過半既ニ鬼錄ニ上リシ朋友ノ事ヲ思ヒ或ハ天神ノ教ヲ廣メント
 テ國民ノ爲メ又僻地ノ蕃夷ノ爲メニ辛苦セシ事又ハ齡モ稍傾キテ身
 体モ次第ニ衰弱ニ赴ク時ノ景況中ニ就テ一家ノ柱石ト依頼セシ配偶
 ノ己レモ遠カラズニテ參拜スル極樂世界ニ先登上途セシヲ考ヘ一タ

ビハ悲ミ一タビハ畏レ實ニ慨嘆ニ堪ヘサリケリ、
 斯テ種々ノ追憶ニ殆ント我ヲ忘レシニ、不圖後ヨリ大聲ヲ發シ雪彈ヲ
 抛テテ老人ノ幽懷ヲ破ル者アリ、老人ハ驚愕ノ際、誤リテ繩ヲ逸セシ
 ガ、兩手固ヨリ衰弱シタル上ニ又凍寒シテ自在ナラサレテ以テ、再ヒ之
 ヲ執ルコト能ハスシテ其馬遂ニ驚逸セリ、此時ニ乘シテ、突然後方ヨリ
 六馬ノ大雪車馳セ來リ其側ヲ過キツ、車中ノ群童子皆呼ンテ曰ク避
 ケヨ々々老奴道ヲ讓レ老童子、隨叟凍鼻漢ト、聲々罵詈ヲ極メ、老人乃
 チ云フ我カ馬ヲ恐嚇スルコト勿レ、今道ヲ避ケント、群童子ハ又畏ル可
 キ大聲ヲ發シテ雪ヲ抛チ或ハ長鞭ヲ以テ老人ノ馬若クハ車ヲ打チタ
 リ、是ニ於テ老人馬ト共ニ益恐怖シ、馬ハ蒼地ニ奔馳シテ老人ノ命モ殆
 ノド危ク見エケルガ、此間僅ニ繩ヲ執リ、幸ニシテ未タ牛車ニ衝突セ
 スシテ馬ヲ止ムルコトヲ得タリ、サテ老人ハ本道ニ歸リ、再ヒサレエム

ニ向ヒケルニ、偶同處ノ方ニ前行スル一人ノ壯士ニ逢ヒ、之ニ同車ヲ勸
 メテ種々ノ談話ヲ爲シ、遂ニ前キノ雪車ノ事ニ及ビシカハ、老人之ニ乘
 リタルハ何人ナルヤト問ヒケルコト、壯士答ヘテ云、彼等ハ某學校ノ生徒
 ニシテ皆頑童ノ撰ナリト、老人笑テ曰ク、然リヤ、然ラハ其學校ノ先
 生ハ我が熟知ノ人ニシテ、今我が適カント欲スル所ハ即チ此人ノ家ニ到
 リ、我彼家ニ到ラハ、此事ノ曲折ヲ細話スヘシト、己ニシテ其子ノ家ニ到
 リ、シカバ、老馬ハ之ヲ適意ノ底中ニ繫キテ、十分ニ芻秣ヲ與ヘ、其身モ不
 自由ナキ接待ヲ受ケタリ、且ツ諸生ニ告ク其老人ノ子ハ即チ君等ノ師
 ナリ、彼ノ君等ガ老奴ヨ老童子ヨ、陋叟ヨ凍鼻漢ヨト罵シリ、嚮キニハ
 君等ヲ避ケサリシカ、若シ君等ノ言通シナハ、喜テ道ヲ讓リタラン、瘦羸
 セル老翁ハ、即チ君等ノ先生ノ父ナリ、
 此教師カ童子等ノ談ヲ模寫シ、其趣ヲ新ニシテ以テ訓誨ト爲スノ善ク

生徒ニ感通セシ景況ハ筆ニモ盡シ難ク、又想像スルコト能ハサルナリ。諸生等或ハ頭ヲ机下ニ没シ、或ハ聲ヲ放ツテ喚フ者アリ、或ハ相見テ一言ヲ發セザル者アリ、遂ニ教師ノ膝下ニ稽首シテ、宥恕ヲ哀求シ懺悔ヲ爲ス者モ亦少ナカラズ、教師皆赦シテ其罪ヲ責メス、唯將來ヲ戒メ諭シテ曰ク、旅客ヲ遇スルニ懇篤ヲ以テシ、老人ハ之ヲ尊敬スヘシト。夫レ白駒ノ隙ヲ過クルハ、矢ニヨリモ疾クシテ、當時ノ少年今ハ皆壯者トナリ、其中早ク此世ニ去リシモノモアリテ、彼ノ進ミ出テ、此談話ヲ爲セシ英邁ナル童子ハ不幸ニシテ大洋ノ魚腹ニ葬リタリ、然レドモ尙此世ニ存在スル者ハ、當時ノ景況ヲ記シテ恰モ目ニ在ルカ如ク、我輩ノ相共ニ久ク樂キ時日ヲ送リシ教場ノ模様并ニ當時ノ親友タリシエツチ、ケエ、オリベルノ事ヲモ、時トシテハ思ヒ出スナラン、以上第一話

深キ感觸ヲ生スル方法ノ第二例ハ左ノ如シ、是ハ故ノデ、イ、ビ、イ、ペ、エ、シ

ト曰ヘル有名教師ノ著セル「セオリイ、エンド、プラクテス、オフ、チイ、チン」ト名ツクニ書中ヨリ鈔出スル所ナリ、因テ云フ此卷ハ高見卓識殊ニ多ク、教師及ビ教育ノ事ニ關スル者ノ書籠中ニハ、必一部ヲ備フベキモノナリ

我等ハ平生天父ノ保護ニ依頼スルモノナリトイヘル教訓ヲ、幼年ノ時嘗テ我が童心ニ印セシハ、我決シテ之ヲ忘ル、コト能ハス、假令能ク之ヲ忘ル、モ我敢テ之ヲ忘レス、

一日盛夏ノ午後ナリシガ質素ナル一村學校ニテ我ヲ數ヘテ凡ソ二十五人ノ兒女、教師ノ周圍ニ環坐セリ、我等モ其時ハ遊戲ニ耽ルコト山野ニ群レル羊兒ニ異ナラサリキ、サテ其時爲セシ事ハ、學業カ游戲カ、今之ヲ確記セサレトモ、我等皆無心ニナリケル故、雷霆ノ遠方ニ轟クチ少シモ知ラザリシニ、乍チ電光ノ眼ヲ眩スルアリテ、黒雲日光ヲ覆ヒ、閻室ノ

人ノ顔色モ之ガ爲メニ黯々タリ、是ニ於テ生徒中年長ノ女子ハ其資性ノ遠慮心ヲ發シ、驟雨ノ來ラサル前ニ、弟妹ヲ挈ヘテ親ノ許ニ歸リ得ヘキヤ否ヤヲ知ラントシ、校中一時ニ騷擾セリ、此時教師ハ遽ニ軒端ニ歩ミ出テ、西空ヲ熟視セ、トテモ家ニ歸ヘルベキノ間隙ナキコトヲ兒女ニ諭セリ然ルニ田舎兒ノ常態ニテ大ニ電光ノ閃クヲ恐怖シ、就中幼稚者ハ其兄姉ニ抱着シ、兄姉ノナキモノハ其畏懼更ニ甚クシク、太息啼泣セテ、其情狀亦大ニ憐ムヘキニ足ル者アリ、

其間ニ教師ハ少シクモ狼狽ノ色ナク窓戸ヲ閉テ終リ、最モ幼稚ナル生徒ノ側ニ坐テ占メ、悠然トシテ風雨ノ來ルヲ待テ居タリ、時ニ滿空墨ヲ翻シ、暗慘中ヨリ閃發ス。電光ト共ニ、一響ノ大雷ハ天神ノ聲ヲ發スルニ似タリ、加之一陳ノ烈風颯然トシテ吹キ來リ、庭樹ノ枝ヲ撓メテ將ニ之ヲ抜キ去ラントスルノ勢アリ、或ハ我等ノ潜ミ屋ヲニ矮小ノ校舎ヲ

衝突シ、煙筒ノ孔穴ヨリ吹キ入リテ硝子ヲ破リ、又西方ノ破窓ヲ崩壞セシトス、電光ノ激射益急猛ニシテ、滿空恰モ火ニ化スルガ如ク、霹靂ハ愈烈シクシテ我等ノ頭上ニ轟ケリ、室内ノ人々、教師ヲ除クノ外ハ一人モ生色アル者ナシ、須臾ニシテ忽然ト風止ミ、宇宙寥々トシテ殆ント後變ヲ告クルニ似タリ、是レ暴雨ノ將ニ來ラントスルノ時ナリ、

室内ハ氣味慘憺トシテ、諸人皆心胸ノ安キ者ナク其驚愕ノ色顔面ニ顯ハレタリ、此時教師ハ沈着湛靜ニシテ穩ナル音調ヲ以テ、少年生徒ノ心裏ニ一大道理ヲ印着セリ、其語ニ云兒女等必ス恐ル、コト勿レ、此風雷ヲ起スモ、亦朝日涼風ヲ來スモ皆我天父ノ爲ス所ナリ、君等ノ朝來存在セシモ亦目下存在スルヲ得ルモ皆天父ノ力ニ頼リテナリ、天父今朝君等ニ飲食ヲ給シ生命ヲ與ヘテ、常ニ君等ノ側ニ在マセリ、サレドモ其時君等ハ目ニ天父ヲ見ルコト能ハセリ、コトハ、今ヲ異ナルコトナシ、然

ラハ天父今豈ニ君等ヲ保護スルコト能ハザランヤ。若シ其保護スルコトナクハ、一羽ノ雀モ能ク地ニ下ルヲ得可ラズ。夫レ天父ハ此風雷ヲ支配スルモノナリ、此烈風ノ翼ニ駕スルモノナリ、天父ハ何如ナル艱難ノ中ニモ常ニ我等ヲ救ヒ出スノ力アルモノナリ、我等決シテ之ヲ疑フ可カラズ、神ハ今モ此ニ在リテ我等ヲ援クルモノナリト、其語未ダ全ク終ラサルニ、雨滴點々降り須臾ニシテ沛然滂沱恰モ傾注スルガ如ク乾涸ノ地乍チ十分ノ潤澤ヲ受ケタリ、已ニシテ雷霆ノ音モ雲ノ散スルニ隨フテ漸ク遠サカリ、晃日再ヒ睚然タル光華ヲ放チ草上ノ露點ハ之ニ映シテ輝發シ、杪頭ノ禽鳥ハ又其咏歌ヲ奏シ、而シテ虹霓モ亦東山ノ上ニ現ハレタリ是ニ於テ我等ノ心モ善人ノ機會ヲ得タル教導ヲ受ケテ、我等ガ殊ニ天父ノ恩ヲ感佩スルノ誠意ヲ發セリ、
 斯テ此日ノ午後ハ愉快ニ過キ去リ課業ノ時限モ已ニ終リケレハ我等

皆戶外ニ走リ出テ、新鮮ノ空氣ヲ呼吸シ、共ニ爽快ノ天氣ヲ弄セントセシ時、教師机上ノ聖經ヲ播キ、暫ク我等ヲ止メテ其數節ヲ讀ムヲ聽カシム、其數節ハ即チ詩篇六十五章ノ中ニシテ、左ノ如シ救我憐之神歟、地與海之万方、即極遠者所賴、爾將由公義施威嚴之事以應我兮、神以己力而堅山、又爲權能所束兮、彼息海之濤聲及其狂瀾之聲、乃息衆民之喧囂兮。時居於極遠者、畏爾之休徵、夕與朝之出處、爾將使之謳歌兮。爾已臨地面澆其田疇、平其土壤、以微雨潤之、而祝其萌芽兮。爾以己之恩、冠冕全年、爾步則膏滴兮、即莖之草地乃滴之、諸小山乃束以樂兮、草地爲羊群所蔽、其谷乃衣以禾、將歡然而呼、又將謳歌兮、
以上聖書漢譯
 文ヲ舉ク
 教師讀ミ終リテ曰ク去レ、兒童今ニシテ始メテ此ノ語ノ實ナルヲ悟レ、今日ノ天恩ノ忝キコ由リテ旭光ヲ照シ微風ヲ送ルトキハ、亦風雨ヲ下シテ其威力ヲ示ストキモ、常ニ上帝ノ信スベキヲ知レト、是ニ於テ我等

皆思ヲ謝シ相慶シテ學校ヲ出テ果シテ夕ニ出デ、謳歌スル者、「草地羊
 群ノ蔽フ所トナリ」諸小山東スルニ樂チ以テスル」ヲ見タリ、我等又諸人
 ノ皆慶祝謳歌スルヲ聞ケリ、又我等神ハ我等ガ父我等ガ親友、我等ヲ救
 フノ神ナルコトヲ認知スルノ深キハ、未ダ嘗テ有ラザル所ナリ、此感ハ
 永ク他ノ生徒ノ心裏ニ存セシヤ否ハ、我之ヲ知ラサレトモ、我カ心裏ノ
 事ハ我善ク之ヲ知レリ、爾後今日ニ至ルマテ、風雨天災ノ恐怖スヘキニ
 逢ヒ、或ハ疾病ノ煩惱ヲ受クル毎ニ、必ス此時ノ教ヲ追憶シテ自ラ我心
 チ鎮メ、未ダ嘗テ至全至仁ノ我ガ側ニ在マスヲ信セサルハアラザルナ
 リ、蓋シ生命ヲ與ヘテ存在セシムル所ノ上帝ヲ信スルノ念ヲ、我等ノ心
 ニ發スルノ、斯ノ如ク早クシテ且ツ巧ミナル、彼ノ誠實ノ教師ノ恩ヲ謝
 スルモ、亦其幾度ニ及ビシヲ知ラサルナリ、以上エシ
 或ハ教師、一日其學校ニ至ル途中、己レノ生徒數人街上ニ在リテ、癡狂ノ

老人ヲ圍ミ、無情ニ之ヲ愚弄シテ樂ト爲シ、其在ヲシテ益劇ナラシムル
 チ見タリ、教師ハ衆人ノ如ク亦留リテ之ヲ制止セズ、徐ロニ其場ヲ過キ
 テ學校ニ至リ、直ニ常例ノ號報ヲ以テ諸生ヲ呼ビ集メタリ、已ニシテ開
 業ノ後以爲ラク今ヤ好機會ナリト、乃チ生徒ニ向ツテ殊ニ威儀ヲ正フ
 シテ左ノ辭ヲ述ヘタリ、但シ此ハ其概畧ヲ記セシ者ナリ、我ガ少カキ朋
 友ヨ、我今路上ニ於テ一群ノ童子、不幸ナル老人ヲ以テ玩弄物ト爲スチ
 見テ、大ニ心ヲ痛メタリ、斯ノ如キ景況ハ、之ヲ見ル毎ニ甚ク傷ハシキモ
 ノナルガ、今日ハ特ニ其傷マシキヲ覺エタリ、其故ハ此惡戯ヲ爲セシ者
 ハ我ガ學ノ校人ニシテ、皆我カ大ニ望チ屬スル所ノ常ニ善性美質アル
 人々ナルヲ以テナリ、彼ノ老人今ハ彼ノ如クニ體ハ衰ヘ心モ亂レタレ、
 昔ハ其父母朋友ノ掌中ノ玉ト愛セラレテ、愉快ニ存々セル學童ナリキ、
 後次第ニ生長シテ大人ト成リ、多年ノ間正直有徳ニシテ、人ニハ敬マハ